



久喜市

令和5年度

教育委員会の事務に関する点検・評価報告書
(令和4年度対象)

【素案】



防災教育講座D I G（災害図上訓練）



まなびすと久喜 開会式

令和5年 月

久喜市教育委員会

目 次

I はじめに

1 点検・評価の趣旨	1
2 点検・評価の対象及び方法	1
3 点検・評価結果の構成	2

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成	4
2 教育委員会会議の開催状況	4
3 総合教育会議の開催状況	10
4 教育委員会委員の教育施設訪問状況	10

III 点検・評価の結果

基本目標 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実	12
基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実	26
基本目標 3 信頼される学校づくりの推進	68
基本目標 4 人権を尊重した教育の推進	90
基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進	100
基本目標 6 歴史・文化の継承と活用	134
基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実	152

I はじめに

1 点検・評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、久喜市教育委員会が行った点検評価の結果をまとめたものです。

《 参 考 》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象及び方法

①点検・評価の対象

平成30（2018）年度から令和4（2022）年度までを計画期間とする「第2期久喜市教育振興基本計画」では、各基本目標及び施策において数値目標を設定しています。

また、久喜市教育委員会では、毎年、「第2期久喜市教育振興基本計画」に定められた基本目標及び施策を達成するため、「第2期久喜市教育振興基本計画実施計画」を定めています。これは、久喜市総合振興計画の教育分野の大綱である『心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にすまち』の実現のために策定した『未来をひらく 心豊かな久喜の人づくり』を基本理念とする「第2期久喜市教育振興基本計画」について、当該年度における具体的な取り組み内容を示すことにより、教育行政の効果的な推進を目指すために、策定したものです。

このことから、久喜市教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検・評価を行うにあたり、「第2期久喜市教育振興基本計画」で設

定した数値目標と、「令和4年度第2期久喜市教育振興基本計画実施計画」で示した取組みを対象とすることとしました。

なお、令和4年度から、スポーツに関する事務は教育委員会から市長部局に移管されておりますが、参考として市長部局において点検・評価を行ったものを報告書に掲載しています。

②点検・評価の方法

「第2期久喜市教育振興基本計画」で設定した数値目標は、目標値に対する到達度合いを数値化することで、達成率による点検・評価を実施しました。

「令和4年度第2期久喜市教育振興基本計画実施計画」で示した取組みは、教育委員会が自ら成果や課題を再確認することで、今後の事務の管理及び執行を改善するとともに、より効果的な教育行政の推進に資することを目的とし、自己により点検し評価することを基本に実施しました。

なお、この点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用しました。

【学識経験者氏名及び経歴】

田村 俊一（たむら しゅんいち）氏	元久喜市立久喜小学校長 東京学芸大学教職大学院特命教授
関 泰彦（せき やすひこ）氏	元久喜市立久喜中学校長 平成国際大学特任教授

3 点検・評価結果の構成

（１）基本目標の概要等について

基本目標ごとに、その概要とそれに係る施策及び担当課等を記載し、達成度の集計を一覧にまとめました。

（２）教育委員会の自己点検・評価について

「第2期久喜市教育振興基本計画」で設定した数値目標は、個々に『実績値』を明確にし、計画策定時に定められた目標値に対する到達度合いを割合＝『達成率』で示し、『達成度』を明らかにする形で、評価しました。

「令和4年度第2期久喜市教育振興基本計画実施計画」で示した取組みは、個々に『取組み内容』と、自己点検・評価としての『成果』と『課題』を分析し、『達成度』を明らかにした上で、『今後の方向性』を示す形で、一覧にまとめました。

なお、それぞれの「点検・評価調書」の見方は、次ページのとおりです。

（３）学識経験者の意見について

自己点検・評価を基に、学識経験者の方より助言をいただき、その意見を基本目標ごとに箇条書きでまとめました。

【点検・評価調書について】

基本目標ごとに、下記に示す「点検・評価調書」を作成し、教育委員会の点検・評価を行っています。
それぞれの「点検・評価調書」の見方は、下記のとおりです。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 基本目標の番号と目標名を記載しています

施策 施策の番号と施策名を記載しています

具体的施策 具体的施策の番号と施策名を記載しています

数値目標名	数値目標名(指標の内容)を記載しています	担当課	数値目標を所管する担当課を記載しています
単位	単位を記載しています	達成率	目標値に対する到達率を割合(%)で記載しています
平成28年度 現状値 (計画策定時 数値)	計画策定時に定められた平成28年度の現状値を記載しています	達成度	達成率を踏まえ達成度を4段階評価により記載しています(※評価指標は下記のとおりです)
平成30年度 実績値	対象年度の実績値を記載しています		
令和元年度 実績値	対象年度の実績値を記載しています	推移グラフ	数値目標の年度毎の推移をグラフにより掲載しています
令和2年度 実績値	対象年度の実績値を記載しています		
令和3年度 実績値	今後の点検・評価時に記載します		
令和4年度 実績値	今後の点検・評価時に記載します		
令和4年度 目標値 (計画策定時 数値)	計画策定時に定められた令和4年度の目標値を記載しています		

※【達成度評価の段階指標】

A・・・達成率100%以上

B・・・達成率90%以上100%未満

C・・・達成率80%以上90%未満

D・・・達成率80%未満

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける点検・評価調書

基本目標 基本目標の番号と目標名を記載しています

施策 施策の番号と施策名を記載しています

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容	自己点検・評価		達成度	今後の方向性
						成果	課題		
具体的施策の番号と施策名を記載しています	通し番号を記載しています	実施計画に掲載の取組み名及び取組みの目標年度又は継続的取組みの別を記載しています	新規取組みについて「○」を記載しています	取組みを所管する担当課を記載しています	当該年度に実施した取組み内容を記載しています 出来る限り数値化し、よりわかりやすく記載しています	取組みの成果を記載しています	取組みにおける課題を記載しています	達成度を4段階評価により記載しています(※評価指標は下記のとおりです)	成果と課題を洗い出した上で今後の方向性を記載しています

※【達成度評価の段階指標】

継続的取組みの場合

4・・・業務を遂行し想定を超える成果が出た

3・・・予定どおりに業務を遂行できた

2・・・予定を下回る取組み結果となった

1・・・予定していた業務を遂行できなかった

目標年度が設定された取組みの場合

A・・・計画を上回っている

B・・・概ね計画どおりである

C・・・計画より遅れている

D・・・計画倒れ・中止となった

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成

久喜市教育委員会は、平成27年4月1日の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正にあわせて新制度に移行し、教育長と4人の教育委員をあわせた5人により構成されています。なお、教育長の任期は3年、教育委員の任期は4年です。

【教育委員会構成員の一覧（令和4年度）】

職 名	氏 名	任 期	備 考
教育長	かきぬま みつお	自 令和 3年 4月 1日	再任
	柿沼 光夫	至 令和 6年 3月 31日	
教育長職務 代理者	もろはし みつこ	自 令和 3年 5月 21日	再任
	諸橋 美津子	至 令和 7年 5月 20日	保護者たる委員
委員	やまなか だいご	自 令和 元年 5月 21日	保護者たる委員
	山中 大吾	至 令和 5年 5月 20日	
委員	おのだ まゆみ	自 令和 2年 5月 21日	
	小野田 真弓	至 令和 6年 5月 20日	
委員	しぶや かつみ	自 令和 4年 5月 21日	
	渋谷 克美	至 令和 8年 5月 20日	

※令和4年度は5月20日まで委員1名欠員。

2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回の「定例会」と、必要に応じて「臨時会」を開催し、付議議案の審議及び教育長報告事項の報告など、教育行政の方針等を決定しています。なお、教育委員会会議は、会議開催日の1週間前に告示を行うとともに、市ホームページに掲載し、お知らせしています。

令和4年度は、「定例会」を計12回開催し、議案61件、教育長報告58件、協議事項3件について審議等を行いました。

また、既に開催された教育委員会会議の会議録は、市ホームページに掲載しています。その他、市役所公文書館の閲覧コーナーでもご覧いただけます。

【教育委員会会議開催一覧（令和４年度）】

会議名	久喜市教育委員会令和４年４月定例会
開催日	令和４年４月２１日（木）
議案	議案第２８号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について 議案第２９号 久喜市立上内小学校の小規模化に伴う統廃合等の方針（案）について 議案第３０号 久喜市立小・中学校学区等審議会への諮問について 議案第３１号 久喜市英語検定受験料補助金交付要綱の一部を改正する告示について
教育長報告	ア 第３期久喜市教育振興基本計画（案）の策定状況について イ 久喜市立菖蒲中学校（統合による新校）の設置に係る検討結果について ウ 久喜市立小・中学校学区等審議会からの答申について エ 令和４・５年度久喜市教育委員会研究委嘱について オ 久喜市教育委員会事務局職員の人事について カ 久喜市教育委員会表彰について キ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について ク 久喜市立小・中学校学校運営協議会委員の委嘱又は任命について ケ 久喜市共同オンライン分教室の中核校及び室長、副室長の指定について

会議名	久喜市教育委員会令和４年５月定例会
開催日	令和４年５月２３日（月）
議案	議案第３２号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について 議案第３３号 久喜市教育委員会表彰について 議案第３４号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第３５号 久喜市社会教育委員の委嘱又は任命について
教育長報告	ア 第３期久喜市教育振興基本計画（案）の策定状況について イ 教育財産の取得の申出について ウ 久喜市教育委員会表彰について エ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について オ 久喜市立小・中学校学校運営協議会委員の委嘱について カ 令和４年度久喜市一般会計補正予算（第４号）（案）に係る意見聴取について

会議名	久喜市教育委員会令和４年６月定例会
開催日	令和４年６月２８日（火）
教育長報告	ア 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について イ 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について ウ 第３期久喜市教育振興基本計画（案）の策定状況について

協議事項	ア 公民館のコミュニティセンター化について
------	-----------------------

会議名	久喜市教育委員会令和4年7月定例会
開催日	令和4年7月22日（金）
議案	議案第36号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱又は任命について 議案第37号 久喜市特別支援教育就学奨励費支給規則について 議案第38号 久喜市障がい児就学支援委員会への諮問について 議案第39号 令和5年度使用久喜市立小・中学校特別支援学級用教科用図書の採 択について
教育長報告	ア 令和4年度久喜市一般会計補正予算（第5号）（案）に係る意見聴取について イ 久喜市議会令和4年6月定例会議市政に対する質問（教育委員会関係）について ウ 久喜市議会令和4年6月定例会議提出議案・議決結果（教育委員会関係）につい て エ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について

会議名	久喜市教育委員会令和4年8月定例会
開催日	令和4年8月23日（火）
議案	議案第40号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第41号 久喜市教育委員会表彰について 議案第42号 久喜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針の改訂に ついて
教育長報告	ア 第3期久喜市教育振興基本計画（案）の策定状況について イ 久喜市立小・中学校学区等審議会からの答申について ウ 令和4年度久喜市一般会計補正予算（第6号）（案）に係る意見聴取について エ 久喜市教育委員会事務局職員の人事について オ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について カ 久喜市教育委員会臨時的任用職員の人事について

会議名	久喜市教育委員会令和4年9月定例会
開催日	令和4年9月28日（水）
議案	議案第43号 久喜市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則につ いて 議案第44号 令和5年度当初教職員人事異動方針（案）について
教育長報告	ア 久喜市立小・中学校学区等審議会からの答申について イ 久喜市立小・中学校大型提示装置整備計画の改訂について

会議名	久喜市教育委員会令和4年10月定例会
開催日	令和4年10月24日（月）
議案	議案第45号 第3期久喜市教育振興基本計画（案）について 議案第46号 久喜市立上内小学校の小規模化に伴う統廃合等の方針の一部変更について 議案第47号 鷲宮西中学校区における義務教育学校の施設整備方針（案）について 議案第48号 久喜市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例に係る意見聴取について
教育長報告	ア 久喜市議会令和4年9月定例会議市政に対する質問（教育委員会関係）について イ 久喜市議会令和4年9月定例会議提出議案・議決結果（教育委員会関係）について ウ 久喜市教育振興基本計画策定委員会の答申について エ 令和4・5年度久喜市教育委員会研究委嘱の追加について オ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について カ 令和4年度久喜市一般会計補正予算（第8号）（案）に係る意見聴取について

会議名	久喜市教育委員会令和4年11月定例会
開催日	令和4年11月21日（月）
議案	議案第49号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第50号 令和4年度教育委員会の事務に関する点検・評価（令和3年度対象）について
教育長報告	ア 久喜市成人式に係る開催方針の改定について イ 久喜市教育委員会事務局職員の人事について ウ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について エ 久喜市武道外部指導者の委嘱について オ 令和4年度久喜市一般会計補正予算（第9号）（案）に係る意見聴取について

会議名	久喜市教育委員会令和4年12月定例会
開催日	令和4年12月22日（木）
議案	議案第51号 久喜市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について 議案第52号 久喜市生徒指導推進委員の委嘱について
教育長報告	ア 久喜市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について（「久喜市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正」部分） イ 久喜市一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について（「久喜市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する条例の一部改正」部分）

	ウ 令和4年度久喜市一般会計補正予算（第10号）（案）に係る意見聴取について
--	--

会議名	久喜市教育委員会令和5年1月定例会
開催日	令和5年1月20日（金）
議案	議案第1号 久喜市公民館条例施行規則を廃止する規則について 議案第2号 久喜市公民館事業運営委員の勤務条件等に関する規程について 議案第3号 久喜市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 議案第4号 令和5年度久喜市一般会計予算（案）に係る意見聴取について 議案第5号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱について
教育長報告	ア 久喜市議会令和4年11月定例会議市政に対する質問（教育委員会関係）について イ 久喜市議会令和4年11月定例会議提出議案・議決結果（教育委員会関係）について
協議事項	ア 第3期久喜市教育振興基本計画実施計画（素案）について

会議名	久喜市教育委員会令和5年2月定例会
開催日	令和5年2月24日（金）
議案	議案第6号 久喜市立小・中学校県費負担教職員の人事に関する内申について 議案第7号 教育財産の取得の申出について 議案第8号 第3期久喜市教育振興基本計画実施計画（案）について 議案第9号 久喜市教育委員会事務局組織規則及び久喜市教育委員会事務局等の職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則について 議案第10号 久喜市教育委員会事務専決規程等の一部を改正する訓令について 議案第11号 久喜市入学準備金・奨学金貸付条例施行規則の一部を改正する規則について 議案第12号 久喜市児童生徒安全対策推進本部会議要綱の一部を改正する告示について 議案第13号 久喜市生涯学習推進会議幹事会規則の一部を改正する規則について 議案第14号 久喜市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則及び久喜市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について 議案第15号 久喜市立図書館事務取扱要綱及び久喜市立図書館における複写サービス取扱要綱の一部を改正する告示について 議案第16号 久喜市公民館連絡協議会規程の一部を改正する訓令について 議案第17号 久喜市立学校備品管理規程の一部を改正する訓令について

教育長報告	ア 令和4年度久喜市一般会計補正予算（第12号）（案）に係る意見聴取について イ 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について
協議事項	ア 学校体育施設開放事業における休校時の学校の取扱いについて

会議名	久喜市教育委員会令和5年3月定例会
開催日	令和5年3月22日（水）
議案	議案第18号 久喜市教育委員会が保有する個人情報の保護に関する規則の一部を改正する規則について 議案第19号 久喜市立学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の一部を改正する規則について 議案第20号 教育財産の用途廃止について（久喜市中央公民館） 議案第21号 教育財産の用途廃止について（久喜市東公民館） 議案第22号 教育財産の用途廃止について（久喜市青葉公民館） 議案第23号 教育財産の用途廃止について（久喜市清久コミュニティセンター・西公民館） 議案第24号 教育財産の用途廃止について（久喜市森下公民館） 議案第25号 教育財産の用途廃止について（久喜市栗橋公民館） 議案第26号 教育財産の用途廃止について（久喜市鷺宮公民館） 議案第27号 久喜市教育委員会表彰について 議案第28号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第29号 久喜市教育委員会臨時的任用職員の人事について 議案第30号 久喜市教育委員会所管の委員等の委嘱について 議案第31号 久喜市共同学校事務室の室長及び副室長並びに久喜市共同学校事務室全体連絡会議の責任者及び副責任者の指名について 議案第32号 久喜市教育委員会事務局職員の人事について 議案第33号 久喜市教育委員会会計年度任用職員の採用について 議案第34号 久喜市いじめ問題調査委員会委員の委嘱又は任命について 議案第35号 久喜市教育支援センターに関する規則について 議案第36号 久喜市適応指導教室の管理運営に関する要綱を廃止する告示について
教育長報告	ア 令和4年度教職員人事評価結果について イ 久喜市障がい児就学支援委員会の答申について ウ 学習者用タブレット端末（Chromebook）の取扱いについて エ 令和4年度久喜市立中学校卒業生の進路状況について オ 久喜市部設置条例の一部を改正する条例について（「久喜市いじめの防止等のための組織に関する条例の一部改正」部分）

カ	第2次久喜市生涯学習推進計画（久喜市まなびすとプラン2）の策定について
キ	久喜市部落差別を解消するための同和教育の基本方針の改定について
ク	久喜市会計年度任用職員の報酬等に関する規則の一部を改正する規則について
ケ	久喜市の組織改正に伴う関係規則の整理に関する規則について（「久喜市会計年度任用職員の報酬等に関する規則の一部改正」部分）
コ	久喜市いじめ問題発生報告について

3 総合教育会議の開催状況

久喜市総合教育会議は、平成27年4月の教育委員会制度改正に伴い、地方公共団体の長である市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るために設置されたものです。

令和4年度は、下記のとおり2回開催しました。

【総合教育会議開催一覧（令和4年度）】

会議名	令和4年度第1回久喜市総合教育会議
開催日	令和4年7月13日（水）
協議・調整事項	・第2次久喜市総合振興計画における教育分野に関すること ・久喜市教育大綱について ・その他

会議名	令和4年度第2回久喜市総合教育会議
開催日	令和5年1月25日（水）
協議・調整事項	・久喜市教育大綱について ・小・中学校の適正規模・適正配置について ・その他

4 教育委員会委員の教育施設訪問状況

久喜市教育委員会では、教育委員が、児童生徒の日頃の様子を観察したり、校内状況を視察したりし、学校の状況を把握することで、また、公民館や図書館といった社会教育施設を巡視し、施設の運営状況や活動状況を把握することで、今後の教育施策に生かすことを目的に、定期的に教育施設訪問を行っています。

令和4年度は、教育委員会定例会にあわせ、計2回の教育施設訪問を実施しました。

【教育施設訪問実施一覧（令和４年度）】

訪問場所	訪問月日	訪問内容
久喜市立鷺宮中学校	令和５年１月２０日（金）	校内視察、授業参観
久喜市立学校給食センター	令和５年２月２４日（金）	施設内視察、給食試食

Ⅲ 点検・評価の結果

基本目標1

人間形成の基礎を培う幼児教育の充実

基本目標の概要

幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎をつくること、「生きる力」を培うことを重視して進める必要があります。そのため、幼稚園・家庭・小学校・地域が相互に連携を深めるとともに、教育環境の整備を図り、幼児期に最もふさわしい教育の充実を図ります。

施策

- 1 子どもたちの人間形成の基礎づくりの支援
- 2 小学校との連携
- 3 教員の資質・能力の向上
- 4 保護者への支援体制の充実
- 5 幼稚園と保育所の連携
- 6 特別支援教育の充実

6つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 1 4 ○数値目標 2 ○取組み 2 5

担当課

○学務課 ○指導課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全2件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	0	0.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	2	100.0%

継続的 取組み (全25件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	1	4.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	24	96.0%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%
	—	評価できない	0	0.0%

目標年度が 設定された 取組み (全0件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	0	0.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

※連番22については、令和3年度をもって取組みを終了したため、件数から除いています。

学識経験者の意見

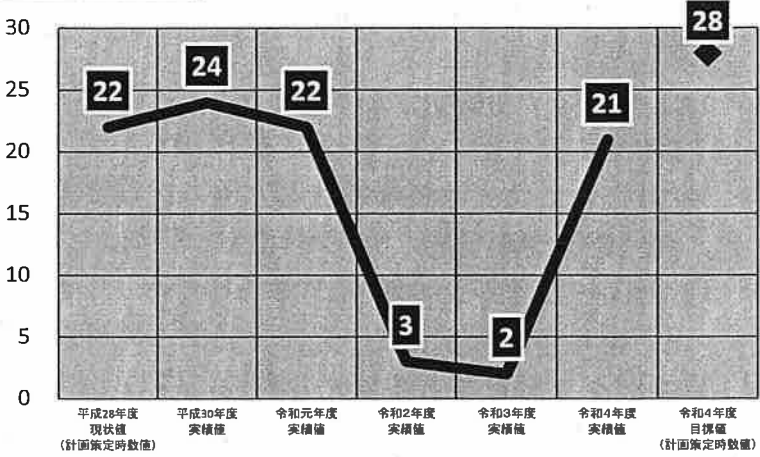
- 偏りのない食生活や基本的な生活習慣の習得のための家庭との連携、言葉の指導や集団生活のルールなど根気強く取組みがなされている。より成果をあげるためには、保護者の理解と協力が重要である。
- 幼稚園教育の質的な充実を図るためには、教員の指導技量や対応力の向上を常に図ることが必要不可欠であるため、これからの教員に求められる資質・能力を共通理解して、引き続き工夫して研修に取り組んでいただきたい。
- 特別な支援を要する幼児の特性に応じた指導法の推進では、特別支援会議、療育施設職員との連絡会などを開催し、一人ひとりに応じた支援を行うために努力し、成果をあげている。この施策を進めるためには、保護者との連携が不可欠であるため、今後も引き続き保護者との関係を大切にしながら進めていただきたい。
- 家庭生活状況の把握に関して、共通認識の基盤は、立場が違うことで互いの見方が違うということを理解し合うことが出発点である。幼稚園と家庭が、ともに育てるという共通認識をもって取り組んでいくことが大切である。
- 食育の推進はとても素晴らしい取組みである。植物の一連の世話をさせ、元気に育ったり、枯れてしまったりといったことを実体験することで、命の大切さの教育にも繋がっている。また、栄養士の食育指導については、保護者にも一緒に聞いてもらう機会があると、食育に対する理解が家庭にも持ち込まれ実践されることになり、生活習慣の改善に繋がると考える。
- コミュニケーションは、言葉の伝達ではなく意思の伝達である。「主体的・対話的で深い学び」の根幹であることから、コミュニケーション能力や自立心の育成は大切な取組みであり、引き続き進めていっていただきたい。
- 特別支援教育の充実について、特別な支援を必要とする幼児の指導にきめ細かな措置がとられているので、小学校への接続も含めて、継続的な指導によりその子の自立と社会参加によって自己実現できるよう、引き続き取り組んでいただきたい。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実

施策 2 小学校との連携

具体的施策 1 子どもの交流活動の推進

数値目標名	幼稚園と小学校の交流活動	担当課	学務課															
単位	回	達成率	75.0%															
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	22	達成度	D															
平成30年度 実績値	24	推移グラフ																
令和元年度 実績値	※1 22	 推移グラフのデータ: <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 (現状値)</td><td>22</td></tr><tr><td>平成30年度 (実績値)</td><td>24</td></tr><tr><td>令和元年度 (実績値)</td><td>22</td></tr><tr><td>令和2年度 (実績値)</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年度 (実績値)</td><td>2</td></tr><tr><td>令和4年度 (実績値)</td><td>21</td></tr><tr><td>令和4年度 (目標値)</td><td>28</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 (現状値)	22	平成30年度 (実績値)	24	令和元年度 (実績値)	22	令和2年度 (実績値)	3	令和3年度 (実績値)	2	令和4年度 (実績値)	21	令和4年度 (目標値)	28
年度	数値																	
平成28年度 (現状値)	22																	
平成30年度 (実績値)	24																	
令和元年度 (実績値)	22																	
令和2年度 (実績値)	3																	
令和3年度 (実績値)	2																	
令和4年度 (実績値)	21																	
令和4年度 (目標値)	28																	
令和2年度 実績値	※2 3																	
令和3年度 実績値	※2 2																	
令和4年度 実績値	21																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	28																	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響及び天候不良により、交流活動の一部を中止したため、実績値が減少しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、交流活動の一部を中止したため、実績値が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- 基本目標 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実
 施策 4 保護者への支援体制の充実
 具体的施策 1 保護者が参加できる幼稚園行事や保育活動等の充実

具体的施策				保護者が参加できる幼稚園行事や保育活動等の充実																											
数値目標名	保護者の保育参加の機会		担当課	学務課																											
単位	回		達成率	56.3%																											
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	16		達成度	D																											
平成30年度 実績値	16		推移グラフ	推移グラフのデータ: <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th><th>種類</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度</td><td>16</td><td>現状値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>16</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>16</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>0</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>0</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>9</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>16</td><td>目標値 (計画策定時数値)</td></tr></tbody></table>				年度	数値	種類	平成28年度	16	現状値 (計画策定時数値)	平成30年度	16	実績値	令和元年度	16	実績値	令和2年度	0	実績値	令和3年度	0	実績値	令和4年度	9	実績値	令和4年度	16	目標値 (計画策定時数値)
年度	数値	種類																													
平成28年度	16	現状値 (計画策定時数値)																													
平成30年度	16	実績値																													
令和元年度	16	実績値																													
令和2年度	0	実績値																													
令和3年度	0	実績値																													
令和4年度	9	実績値																													
令和4年度	16	目標値 (計画策定時数値)																													
令和元年度 実績値	16																														
令和2年度 実績値	※ 0																														
令和3年度 実績値	※ 0																														
令和4年度 実績値	9																														
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	16																														

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての保育参加の活動を中止したため、実績値が減少しました。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実
 施策 1 子どもたちの人間形成の基礎づくりの支援

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 基本的な生活習慣の習得に向けた指導	1	家庭生活状況の把握 (継続的取組み)		学務課	・家庭での生活リズムや排泄の自立等を把握するため、「家庭状況調査票」の記入を各家庭にお願いしました。それを基に担任と保護者で面談を行い、一人ひとりの状況を把握し、それぞれに応じた対応を行いました。
	2	基本的な生活習慣習得のための指導 (継続的取組み)		学務課	・年齢や個人差を踏まえながら、家庭と連携を図り、生活習慣を習得することの大切さを伝え、公立幼稚園と家庭双方とで丁寧に取り組めました。
2 食育の推進	3	野菜の栽培や収穫体験の実施 (継続的取組み)		学務課	・幼児にとって身近な野菜を育て、収穫し、食べる経験を通して、食べ物への興味や関心を高めていきました。(中央幼稚園5種類、栗橋幼稚園6種類) ・中央幼稚園は久喜南中学校との交流により、栗橋幼稚園は園内の畑において、じゃが芋掘りを行い、収穫を体験できました。
	4	栄養士による食育指導 (継続的取組み)		学務課	・市内の給食の栄養士に依頼をし、幼児向けにわかりやすく食事の大切さについて話をしてもらいました。 (中央幼稚園2回/年、栗橋幼稚園1回/年)
	5	友だちと一緒に食事をとる機会の設定 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園では、通常は家庭から弁当を持参していますが、年に数回、共通食を提供し、皆で同じ食事をする機会を設定しました。 (中央幼稚園13回、栗橋幼稚園5回)
3 コミュニケーション能力の育成や自立心の育成	6	あいさつや生活に必要な言葉の習得に向けての指導 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園において、言語表現を教育計画の中に位置づけ、登園時のあいさつや生活の中での具体的なやりとりを教員が見本となって指導しました。
	7	幼児の主体的な生活の実現 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園において、幼稚園教育要領に基づき、教育課程、年間指導計画、月案、週案を学年ごとに作成し、発達年齢、季節感等を考慮し、幼児に興味関心をもたせることで、主体的な学びを大切にしました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・幼稚園と家庭が、幼児とともに育てるという共通の認識をもって課題や注意点などに配慮することで、効果的な指導につなげることができました。	・保護者との信頼関係を築くことが重要であり、個々の家庭状況によっては、継続した保護者への寄り添いや関わりが必要です。	3	・今後も、一人ひとりに応じた指導やきめ細かな寄り添い方が重要です。そのためには、家庭状況を把握することにより、効果的な指導につなげていくことを目指します。
・毎日の生活の積み重ねにより、幼児が自分でできることが増えてきました。卒園するまでには、基本的な生活習慣が身に付くようになりました。	・排泄自立に関しては、個人差が大きく幼稚園で取り組んでいても、家庭では、おむつをはかせてしまっていたりして、自立するまで時間を要しました。	3	・生活習慣の習得の大切さを啓発しながら、今後も一人ひとりの発達や成長に応じて、家庭との連携を大切にしていくことで、基本的な生活習慣の定着を図っていきます。
・自分たちで、水やりや成長の様子を観察を行い、また収穫し、食べることで、野菜や食事への興味関心を高めることができました。	・栽培のための土について、必要な質・量を確保できるよう工夫する必要があります。	3	・幼児にとって身近な野菜との出会いを大切にし、栽培や収穫などの直接体験の機会を確保していきます。
・専門職の方の話は幼児にとっても、わかりやすく、楽しく学ぶことができました。	・幼稚園で意識啓発を行っても、家庭での食生活の改善につながりにくいことが課題です。	3	・毎日の食事の大切さについては、継続して指導していく必要があります。 ・特に保護者に向けては、折に触れて具体的に意識啓発を行っていきます。
・食わず嫌いの傾向のある幼児には、様々な食材に触れる良い機会となり、友達と一緒に同じ物を食べる喜びを味わうことができました。	・共通食のメニューは、根菜などの煮物や魚などを提供しています。保護者へレシピ等を提供していますが、家庭から持参する弁当に根菜の煮物・魚が追加されていることが少なく、日常的に様々な食材に触れる機会を確保することが課題です。	3	・保護者によっては、回数をもっと増やしてほしいという要望もありますが、弁当だけでよいというアンケート結果もあります。今後も教育的な効果を十分に検証していく必要があります。
・初めは、促されてあいさつをしていた幼児が、毎日の積み重ねによって、自分からできるようになりました。そのことを認められたことで、自信をもち遊びにも主体的に取り組めるようになりました。	・日々のあいさつについては、家庭との連携も重要であり、言葉でのやりとりの重要性について、意識啓発する必要があります。	3	・幼児自らがあいさつや言葉での表現の大切さに気づき、進んでできるようになるまで根気よく継続した取り組みを行っていきます。
・幼児それぞれの興味関心に合わせた教育環境を整えることで幼児の心身両面での育ちにつながりました。自分で考えて遊ぶ力、生活しようとする姿がみられるようになりました。	・幼児の主体的な生活を実現するために、バランスのとれた教育指導計画が必要です。個人差が大きい幼児や特別な支援を要する幼児の場合、個に合わせた支援プランを作成する必要があり、全体への指導とのバランスが難しい点もありました。	3	・幼児の主体的な生活の実現は、短期間で身に付くものではないことから、幼児が卒園していくまでの3年間をかけ、長期的に継続して指導していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 2 小学校との連携			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 子どもの交流活動の推進	8	幼児と小学生が触れ合う交流会や見学会の実施 (継続的取組み)		学務課	・久喜市内の小学校と交流事業を行いました。(公立幼稚園3回、私立幼稚園3回) ・公立幼稚園では授業の見学や体験、給食体験を行い、小学校の雰囲気味わうことができました。
2 教員間の連携強化	9	幼稚園・小学校連絡会の実施 (継続的取組み)		指導課 学務課	・公立幼稚園において、就学先の小学校と就学のための個別の連絡会などを行いました。 ・幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のため、各小学校と幼稚園で3学期に、就学児一人ひとりの情報交換を実施しました。
	10	久喜市幼保小連絡協議会の開催 (継続的取組み)		指導課	・幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のため、久喜市幼保小連絡協議会として講演会を実施しました。
	11	幼稚園と小学校の教員間における交流活動や授業参観等の実施 (継続的取組み)		学務課	・連番9の「幼稚園・小学校連絡会」とは別に、公立幼稚園教員と小学校教員との情報共有のための連絡会を実施しました。 (中央幼稚園 1校) (栗橋幼稚園 5校) ・コロナ感染対策のため、授業参観・保育参観は実施できませんでした。
基本目標 施策		1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実 3 教員の資質・能力の向上			
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 教員研修の充実	12	園内研修の実施 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園全体の教員の指導力の向上を目指し、研究課題を設定し、計画的に研修を実施しました。 (中央幼稚園:3回実施、参加者数延べ55人) (栗橋幼稚園:10回実施、参加者数延べ50人)
	13	園外研修等への参加機会の設定 (継続的取組み)		学務課	・幼児教育に関する様々な情報に触れられるよう、県主催の幼児理解研修、幼稚園教育研究協議会に参加する機会を設けました。 (中央幼稚園3人、栗橋幼稚園3人)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・幼児は初め緊張した様子がみられましたが、体育の授業を見学したり遊具で遊んだりすることで、小学校に親しみを感じ、就学への不安を和らげることができました。	・小学校教諭と幼稚園教諭とで業務形態が異なる中でも、交流会準備の打ち合わせ等の機会をしっかりと確保する必要があります。 ・交流内容が深まるよう検討する必要があります。	3	・就学を控えた幼児にとって、適切な時期に様々な交流機会を作ることが大切です。就学に対する不安を和らげ、小学校入学の段差を乗り越えることができるよう、事業を継続していきます。
・幼児それぞれの実態を伝えることで、小学校入学後の指導体制との連携が図られました。 ・就学児一人ひとりの情報交換を実施したことで、小学校入学当初から個に応じた支援ができました。	・年度ごとに教員の異動があり、教育カリキュラムも変更が生じることから、連絡会を維持していくことが課題です。 ・小学校入学後も、必要に応じて連携を図ることで、新入学児が円滑に学校生活を送れるよう配慮する必要があります。	3	・今後も幼小の接続を円滑にいくために、連絡会を継続して実施していきます。
・幼稚園内で、アプローチカリキュラムの見直しを行い、小学校就学に向け準備できることを抽出し、保育指導を行いました。年長組の園児に対しては、就学への期待を高めることができました。	・接続期プログラムについて、幼稚園と保育園、認定子ども園の取り組みの共通点を明らかにし、小学校への接続の段差を減らすよう改善を図る必要があります。	3	・公開保育、公開授業の機会を設け、接続期プログラムの見直し・改善を図る研修を充実していきます。
・小学校教員との連絡会を通し、幼児教育と小学校教育との違いなど、現状や課題について、共通理解を図ることができました。	・主に年長組の担任が参加しており、実施後に園全体の課題を共有し、指導の改善につなげていくことが課題です。	3	・今後も小学校との連携を図りながら交流活動を継続していきます。また、園内でも情報を共有し、長期的な視点をもちながら幼児の成長につながる指導を工夫していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・学期ごとに研修会を行い、反省・評価について教員全体で振り返りを行うことができました。	・若手の教員が増えてきていることに鑑みて、個々のスキルアップのための研修を継続していくことや実践的な研修の機会をどう確保していくかが課題です。	4	・様々な課題について職員全体で共有することや、意識を高めていくために今後も園内研修の取り組みを継続していきます。
・研究課題をもとに、レポートを作成し、協議する研修に参加しました。研修回数は減りましたが、幼児理解や、指導の在り方について、理解を深めることができました。	・研修で得ることができた知識や情報を職員全体で共有し、個々のスキルアップにつなげていくことが必要です。 ・新型コロナウイルス感染防止のため外部研修の機会が減ったことから、より効果的な研修の受講機会を設定する必要があります。	3	・園外研修の機会をできるだけ設け、教員の指導力の向上を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実
 施策 3 教員の資質・能力の向上

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	14	研究保育の実施及び外部指導者を招いての研修 (継続的取組み)		学務課	・指導課及び学務課の指導主事訪問指導において、教育要領の趣旨を踏まえ、教育課程に基づいた指導についての研修を受けました(栗橋幼稚園1回 中央幼稚園は新型コロナウイルス感染防止のため0回)。 ・外部指導者を招いての研修として、公立幼稚園2園合同により、園の環境構成に関する研修を行い、園職員の知識を深めました。

基本目標 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実
 施策 4 保護者への支援体制の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 保護者が参加できる幼稚園行事や保育活動等の充実	15	保護者間でコミュニケーションを図る機会となるような園行事の実施 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園では、保護者間のコミュニケーションが図れる行事(運動会・遠足・懇談会・保育参観)を計画し、実施しました。 ・行事を実施する際、園だより、学年だより等を通して取組みの過程を保護者に伝え、幼児の育ちの具体的な点について共通理解をしていただきました。
	16	保護者の「保育参加」の機会の設定 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園では、保護者の方が選べるよう年間数種類の保育参加を計画しました。 ・中央幼稚園では新型コロナウイルス感染防止のため実施しませんが、栗橋幼稚園では感染対策を行いながら絵本の読み聞かせ、園庭遊びなどを9回行いました。
2 教育時間外の保護者支援	17	預かり保育の実施 (継続的取組み)		学務課	・中央幼稚園では、年間179日実施し、1,558人の利用がありました。 ・栗橋幼稚園では、年間225日実施し、394人の利用がありました。
3 子育てについての相談の場の提供	18	保護者が教員に相談できる体制の充実や、講演会の実施 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園において、担任教員との個別面談や、いつでも相談できるよう時間と場所を確保し、保護者が不安なく活用できるようにしました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・指導主事の指導の下に、園内の職員で指導方法についての研修を実施し、その結果について評価、反省を行いました。 ・「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」について、幼稚園教育要領解説からの読み取り方を学び、指導に活かすことができました。	・教員の視点を広げるため、公立幼稚園全体として掲げた共通の課題を確認し、指導方法を継続的に改善していく必要があります。 ・自園のみの事例研究では不十分のため、外部指導者による継続的な研修、指導が必要です。	3	・幼稚園職員間の協議を深めながら幼児教育の質を向上させるため、今後も幼稚園職員に継続して研修の機会を設けていきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・保護者間でのコミュニケーションを図ることにより、保護者が抱える子育ての悩みや不安を軽減することができました。 ・クラス懇談会では、子育ての悩みを参加者全員で話し合える場を設定し、悩みの解消につなげました。	・保護者間の受け止めに多少の意識の差があることから、幼稚園として趣旨を理解していただくことが課題です。	3	・保護者間のコミュニケーションを図ることで、保護者がより主体的に子育てに取り組み、子育てへの意欲や喜びにつながることを期待できるため、今後も継続して取り組んでいきます。
・幼稚園の教諭とともに、保護者も一緒に園における保育に参加していただくことにより、自分の子どもと同年代の幼児と関わることで保護者の子育ての視野を広げることができました。	・保護者にも個人差があり、保育参加の意義を理解していただくこと、積極的な子育てへの意欲につなげていくことが課題です。	3	・保育参加の意義を保護者に分かりやすく伝えるなど工夫しながら、今後も参加機会を設けていきます。
・仕事をもつ保護者や不意の用事ができたときなども、安心して預けられる場所を提供することができました。	・日によって利用人数にばらつきがあったため、保育の内容については、臨機応変な対応が必要であり、幼児、保護者共に安心して利用できるようにすることが課題です。	3	・今後も、保護者を支援するため、預かり保育の充実を図ります。
・保護者と教員同士のコミュニケーションがスムーズになることで相互関係が良好になり、幼児への指導も効果的に取り組むことができました。	・保護者が相談しやすいよう話を聞く環境を整えるだけでなく、園としての取組みを保護者にご理解いただけるよう伝えていくことが課題です。	3	・子育てへの悩みや不安をかかえる保護者も増えていることから、しっかりと保護者をサポートできるような相談体制を整えていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実

施策 4 保護者への支援体制の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
4 「3つのめばえ」の活用	19	「3つのめばえ」の共通理解と、家庭と連携して取り組む体制の構築 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園で実施したクラス懇談会の際に、家庭教育の重要性について、「3つのめばえ」をもとに説明を行い、園や家庭での様子について共通理解を図るなど、園と家庭の連携について保護者に理解を求めました。
6 幼児教育無償化の実施	20	私立幼稚園の施設等利用に係る給付 (継続的取組み)		学務課	・子育てのための施設等利用給付の認定をした幼児が通う私立幼稚園に対し、施設等利用給付費を支給しました。
	21	私立幼稚園の実費徴収に係る補足給付 (継続的取組み)		学務課	・低所得世帯又は第3子以降の園児の保護者に対し、給食費の一部を支給しました。

基本目標 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実

施策 5 幼稚園と保育所の連携

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 幼保一体化事業の充実	22	連絡会議の開催 (継続的取組み)		指導課 学務課	・中央保育園分園が令和4年3月31日をもって閉園したため、取組みを終了しました。

基本目標 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実

施策 6 特別支援教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 特別な支援を要する幼児の特性に応じた指導方法の推進	23	一人ひとりの特性に応じた教育の推進 (継続的取組み)		学務課	・公立幼稚園において、特別支援会議を行い、職員全体の共通理解を図りました。その結果を個人面談等で保護者に周知し、より良い支援につなげました。 ・幼児が通う療育施設職員との連絡会において、協議を行いました。 ・保健センターを通して、発達が気になる幼児の情報共有を行いました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・就学前までに育てたい幼児の姿のめやすを具体的に伝えることができました。また、園と家庭が連携することの大切さを伝えることができました。	・保護者にとり、クラス懇談会での説明だけでは、一過性になりがちなため、個人面談など個別の機会にも「3つのめばえ」の意識の定着を図っていくことが課題です。	3	・健やかな幼児の成長につなげるために、家庭教育の大切さを保護者に向けて啓発することを継続していきます。
・幼児教育に係る保護者の経済的負担が軽減され、私立幼稚園における教育機会の確保に寄与することができました。	・園児の異動については、教育委員会で把握することができないため、異動の際は保護者から連絡いただくよう、さらに周知を図る必要があります。	3	・引き続き、私立幼稚園に対する施設等利用給付費を適正に給付します。
・私立幼稚園に通う幼児の保護者の、給食費に係る負担を軽減することができました。	・低所得世帯の課税状況については、教育委員会では把握することができないため、市民税課と連絡を密に進めていく必要があります。	3	・引き続き、私立幼稚園に通う幼児の保護者に対する、実費徴収に係る補足給付費を適正に給付します。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・一人ひとりの幼児の教育的ニーズについて長期的、計画的に指導に取り組むことができ、集団生活での個々の成長を促すことができました。同時にクラス全体の思いやりの気持ちなどの成長もみられるようになりました。	・一人ひとりに応じた支援を行うため、幼児の特性などについて保護者と共通認識を持つことが必要ですが、保護者によってはそれが難しい場合があります。そうした場合には、支援の方向性を決定するため、時間をかけて保護者との信頼関係を築く必要があります。	3	・今後も、それぞれの幼児の状況に寄り添った支援ができるよう工夫しながら、本事業を継続していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 1 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実

施策 6 特別支援教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
2 支援体制の強化	24	教員の指導力の向上 (継続的取組み)		学務課	・特別な支援を必要とする幼児についての専門的な研修の機会を設けました。 (中央幼稚園:2回実施、参加者数20人) (栗橋幼稚園:2回実施、参加者数12人)
	25	個別の支援計画・指導計画の作成やサポート手帳の活用 (継続的取組み)		学務課	・一人ひとりの幼児の発達課題を明確にするために個別の支援プランを作成し、園全体で共有しました。 (作成件数:中央幼稚園24件、栗橋幼稚園8件)
	26	補助教員の配置 (継続的取組み)		学務課	・特別な支援を要する幼児の実態に合わせた指導や支援ができるよう、補助教員を配置しました。 (中央幼稚園6人配置、栗橋幼稚園4人配置)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・専門機関の心理士等から、より課題に沿った研修を受けることができ、教員の資質・能力の向上につながりました。	・課題について園全体で評価・反省をする機会を設け、職員間で共有することで、次年度以降の指導計画にも反映させていく必要があります。	3	・多様化する支援児に対する具体的な指導方法について常に研修を継続し、個々の教員の資質向上を図ります。
・一人ひとりの発達課題について職員全体で把握することができ、一貫した指導につなげることができました。	・特別な支援を要する幼児が増え、個々の発達課題も多様化していることから、個々の幼児の課題について指導方法を工夫する必要があります。	3	・発達課題が多様化していることから、子どもたちに丁寧に関わり、個の育ちを促していくために、今後も継続して取り組んでいきます。
・多様化する特別な支援を要する幼児一人ひとりに応じた指導や支援を行うことで、安定した園生活を送ることができ、個々の成長を促すことができました。	・学級内に複数の支援が必要な幼児がおり、更なる補助教員の配置が必要です。	3	・特別な支援が必要な幼児が増える傾向にあることから、今後も職員間で連携を図り、個々に応じた指導や支援に努めます。

基本目標2

「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

基本目標の概要

確かな学力、豊かな人間性や健やかな体（生きる力）、他者を尊重し助け合おうとする共助の意欲（絆）、知性や感性（情操）の「総合的な人間力」をはぐくむ学校教育の充実を図ります。

施策

- 1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実
- 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実
- 3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実
- 4 学校における人権教育の充実
- 5 自立する力をはぐくむ教育の充実
- 6 安全教育の充実

6つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 33 ○数値目標 18 ○取組み 89

担当課

○指導課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全18件)	達成度		件数	割合
	A	達成率100%以上	0	0.0%
	B	達成率90%以上100%未満	4	22.2%
	C	達成率80%以上90%未満	8	44.5%
	D	達成率80%未満	6	33.3%
	—	※成果指標としている調査が出来なかった	0	0.0%

継続的 取組み (全88件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	1	1.1%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	85	96.6%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%
	—	評価できない	2	2.3%

目標年度が 設定された 取組み (全1件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	1	100.0%
	B	概ね計画どおりである	0	0.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

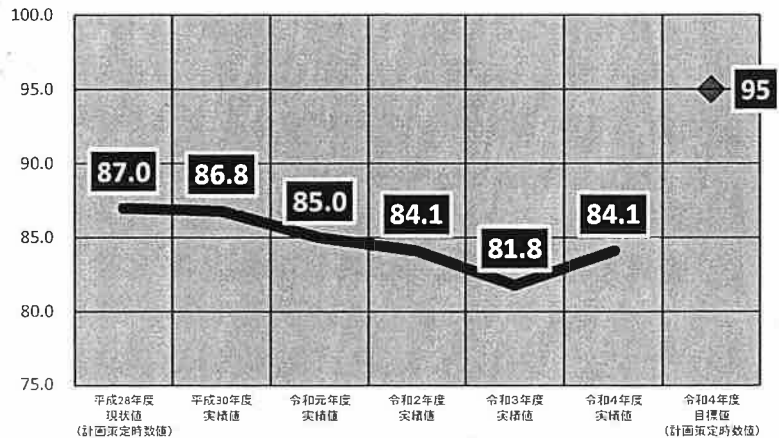
学識経験者の意見

- 読書環境に関して、1日1回読書をしている児童生徒の割合は、令和4年度において、計画策定時の平成28年度現状値より小・中学校ともに低い数値となっている。インターネットなどで情報の収集が容易にでき、読書離れしている児童生徒も多いと思うが、短時間でも読書する習慣を身につけることは重要であるため、読書に親しむ働きかけの継続をお願いしたい。
- 食育の推進に関して、毎日朝食を食べている児童生徒の実績値が、年々低下し、令和4年度は最も低い数値となっている。朝食に関しては、家庭の協力が不可欠であるため、その重要性について保護者や児童生徒へ理解していただくように働きかけることが大切である。
- 不登校の防止対策の推進に関して、小・中学校ともに、令和4年度が不登校児童生徒数が最も多くなっている。全国的に不登校が増加している状況にあるが、引き続き教育相談などを充実し、児童生徒一人ひとりに寄り添った対応を進めていただきたい。
- くき本樹塾の取組みについて、非常に良い取組みであるが、学校側がどう捉えているかは考えていかなければならない。本樹塾は学校の授業のフォローをしてくれているものなので、学校はその生徒のことを一緒になって考えていく必要がある。
- 教員の兼務発令の実施について、小・中一貫教育の推進のため、中学校の先生が小学校で授業を行うのは良いことであるが、対象者はきちんと審査し、小中連携にふさわしい先生に発令することが大切である。
- SDGs 実現に向けたESDの推進について、今後の方向性の中で、「学校が地域や企業と連携したプロジェクト型学習を実施できるように支援していく」とあるが、企業のねらいと学校教育のねらいがずれている場合があるため、学校が主体性を持って取り組んでいく必要がある。
- 教育相談や不登校対策について、教育相談部会が報告会になってしまっているのが問題である。報告ではなく、いつまでに、誰が、何を行うのかといった対策を考える会でなければならない。また、担任と教育相談員で役割分担をするのではなく、お互いの立場が違うことを踏まえたうえで、担任が主体となって解決策を考えていく必要がある。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調査

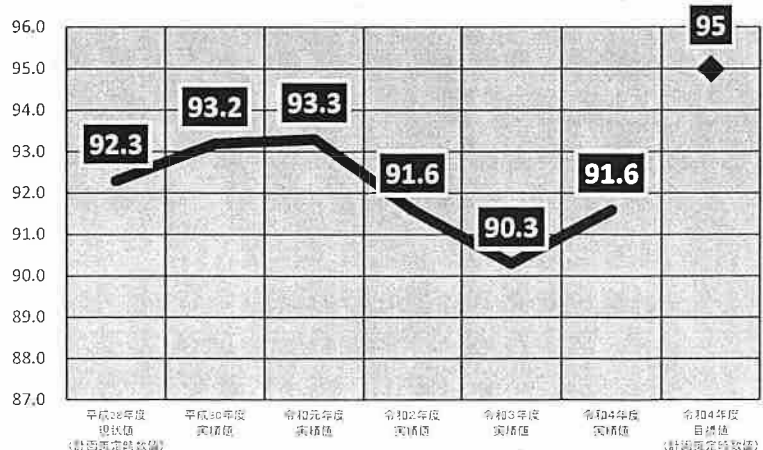
- 基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実
 具体的施策 3 規律ある態度の育成

数値目標名	「靴そろえ」の達成率 【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	88.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	87.0	達成度	C
平成30年度 実績値	86.8	推移グラフ	
令和元年度 実績値	85.0		
令和2年度 実績値	84.1		
令和3年度 実績値	81.8		
令和4年度 実績値	84.1		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	95.0		



具体的施策 3 規律ある態度の育成

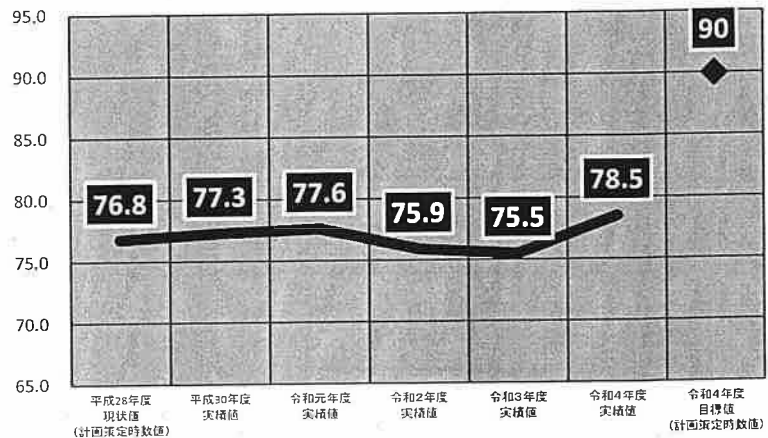
数値目標名	「靴そろえ」の達成率 【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	96.4%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	92.3	達成度	B
平成30年度 実績値	93.2	推移グラフ	
令和元年度 実績値	93.3		
令和2年度 実績値	91.6		
令和3年度 実績値	90.3		
令和4年度 実績値	91.6		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	95.0		



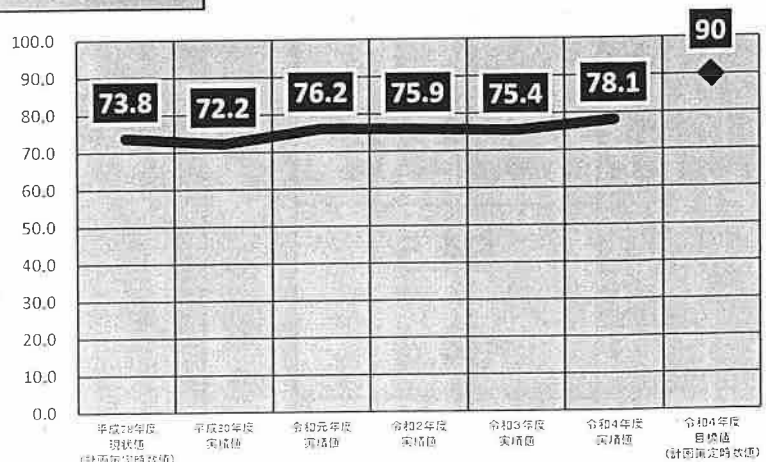
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- 基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実
 具体的施策 3 規律ある態度の育成

数値目標名	「話を聞き発表する」の達成率【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	87.2%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	76.8	達成度	C
平成30年度 実績値	77.3	推移グラフ	
令和元年度 実績値	77.6		
令和2年度 実績値	75.9		
令和3年度 実績値	75.5		
令和4年度 実績値	78.5		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		



具体的施策	3 規律ある態度の育成		
数値目標名	「話を聞き発表する」の達成率【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	86.8%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	73.8	達成度	C
平成30年度 実績値	72.2	推移グラフ	
令和元年度 実績値	76.2		
令和2年度 実績値	75.9		
令和3年度 実績値	75.4		
令和4年度 実績値	78.1		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		



第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- 基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実
 具体的施策 4 読書環境の充実と読書活動の推進

数値目標名	1日1回は読書をして いる児童生徒の割合 【小学校】	担当課	指導課																
単位	%	達成率	83.1%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	83.1	達成度	C																
平成30年度 実績値	86.5	推移グラフ	推移グラフのデータ: <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>83.1</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>86.5</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>※1 —</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>※2 78.6</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>76.8</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>78.9</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>95.0</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	83.1	平成30年度 実績値	86.5	令和元年度 実績値	※1 —	令和2年度 実績値	※2 78.6	令和3年度 実績値	76.8	令和4年度 実績値	78.9	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	95.0
年度	数値																		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	83.1																		
平成30年度 実績値	86.5																		
令和元年度 実績値	※1 —																		
令和2年度 実績値	※2 78.6																		
令和3年度 実績値	76.8																		
令和4年度 実績値	78.9																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	95.0																		
令和元年度 実績値	※1 —																		
令和2年度 実績値	※2 78.6																		
令和3年度 実績値	76.8																		
令和4年度 実績値	78.9																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	95.0																		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標調査を実施できませんでした。

※2 令和2年度実績値を訂正しました(訂正前: 小学校78.7%)。

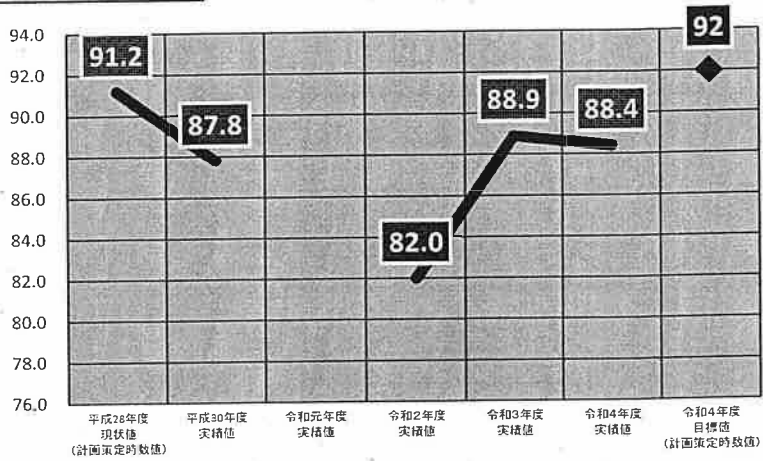
具体的施策	4 読書環境の充実と読書活動の推進																	
数値目標名	1日1回は読書をして いる児童生徒の割合 【中学校】	担当課	指導課															
単位	%	達成率	71.6%															
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	71.7	達成度	D															
平成30年度 実績値	75.9	推移グラフ																
令和元年度 実績値	※1 —	推移グラフのデータ: <table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>71.7</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>75.9</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>※1 —</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>※2 69.6</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>64.5</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>64.4</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>90.0</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	71.7	平成30年度 実績値	75.9	令和元年度 実績値	※1 —	令和2年度 実績値	※2 69.6	令和3年度 実績値	64.5	令和4年度 実績値	64.4	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0
年度	数値																	
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	71.7																	
平成30年度 実績値	75.9																	
令和元年度 実績値	※1 —																	
令和2年度 実績値	※2 69.6																	
令和3年度 実績値	64.5																	
令和4年度 実績値	64.4																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0																	
令和2年度 実績値	※2 69.6																	
令和3年度 実績値	64.5																	
令和4年度 実績値	64.4																	
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0																	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標調査を実施できませんでした。

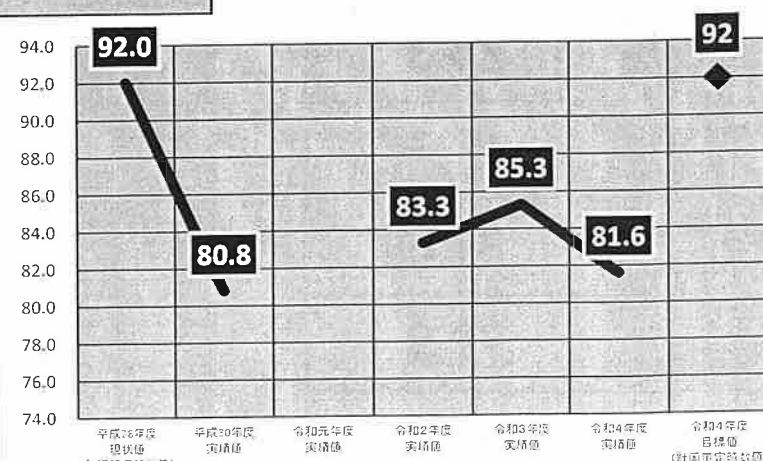
※2 令和2年度実績値を訂正しました(訂正前: 中学校69.8%)。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実
 具体的施策 5 「久喜の子ども、5つの誓い」の推進

数値目標名	「学校が好きだ」と考えている児童生徒の割合【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	96.1%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	91.2	達成度	B
平成30年度 実績値	87.8	推移グラフ	
令和元年度 実績値	※ ー	 94.0 92.0 90.0 88.0 86.0 84.0 82.0 80.0 78.0 76.0 91.2 87.8 82.0 88.9 88.4 92 平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	
令和2年度 実績値	82.0		
令和3年度 実績値	88.9		
令和4年度 実績値	88.4		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	92.0		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標調査を実施できませんでした。

具体的施策	5 「久喜の子ども、5つの誓い」の推進																																			
数値目標名	「学校が好きだ」と考えている児童生徒の割合【中学校】	担当課	指導課																																	
単位	%	達成率	88.7%																																	
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	92.0	達成度	C																																	
平成30年度 実績値	80.8	推移グラフ	 <table><tr><td>94.0</td><td>92.0</td><td>90.0</td><td>88.0</td><td>86.0</td><td>84.0</td><td>82.0</td><td>80.0</td><td>78.0</td><td>76.0</td><td>74.0</td></tr><tr><td>92.0</td><td>80.8</td><td></td><td>83.3</td><td>85.3</td><td>81.6</td><td>92</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	94.0	92.0	90.0	88.0	86.0	84.0	82.0	80.0	78.0	76.0	74.0	92.0	80.8		83.3	85.3	81.6	92					平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)				
94.0	92.0	90.0		88.0	86.0	84.0	82.0	80.0	78.0	76.0	74.0																									
92.0	80.8			83.3	85.3	81.6	92																													
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)																													
令和元年度 実績値	※ ー																																			
令和2年度 実績値	83.3																																			
令和3年度 実績値	85.3																																			
令和4年度 実績値	81.6																																			
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	92.0																																			

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の成果指標調査を実施できませんでした。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実
具体的施策	1 学校体育の充実

数値目標名	新体力テストの5段階絶対評価で上位3ランクの児童生徒の割合【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	91.3%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	85.6	達成度	B
平成30年度 実績値	87.5	推移グラフ	
令和元年度 実績値	88.0		
令和2年度 実績値	※ —		
令和3年度 実績値	83.2		
令和4年度 実績値	82.2		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		

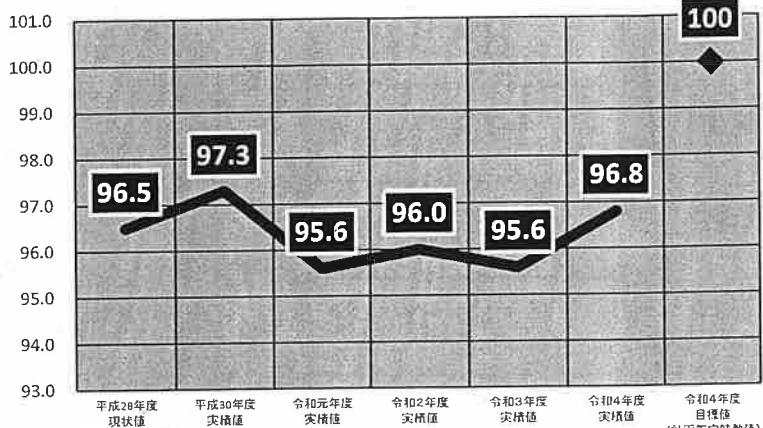
※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の成果指標調査を実施できませんでした。

具体的施策	1 学校体育の充実		
数値目標名	新体力テストの5段階絶対評価で上位3ランクの児童生徒の割合【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	88.8%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	86.2	達成度	C
平成30年度 実績値	88.5	推移グラフ	
令和元年度 実績値	85.3		
令和2年度 実績値	※ —		
令和3年度 実績値	81.6		
令和4年度 実績値	79.9		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90.0		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の成果指標調査を実施できませんでした。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- 基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実
 具体的施策 3 食育の推進

数値目標名	毎日朝食を食べている児童生徒の割合【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	96.8%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	96.5	達成度	B
平成30年度 実績値	97.3	推移グラフ	
令和元年度 実績値	95.6	 101.0 100.0 99.0 98.0 97.0 96.0 95.0 94.0 93.0 平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	
令和2年度 実績値	96.0		
令和3年度 実績値	95.6		
令和4年度 実績値	96.8		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0		

具体的施策	3 食育の推進		
数値目標名	毎日朝食を食べている児童生徒の割合【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	88.9%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	95.4	達成度	C
平成30年度 実績値	95.9	推移グラフ	
令和元年度 実績値	95.9	 102.0 100.0 98.0 96.0 94.0 92.0 90.0 88.0 86.0 84.0 82.0 平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	
令和2年度 実績値	91.4		
令和3年度 実績値	90.0		
令和4年度 実績値	88.9		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調査

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 5 自立する力をはぐくむ教育の充実
 具体的施策 4 いじめの防止対策の推進

数値目標名	いじめの解消率【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	77.1%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	98.9	達成度	D
平成30年度 実績値	81.6	推移グラフ	
令和元年度 実績値	88.9		
令和2年度 実績値	76.3		
令和3年度 実績値	76.1		
令和4年度 実績値	77.1		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0		

推移グラフのデータ:

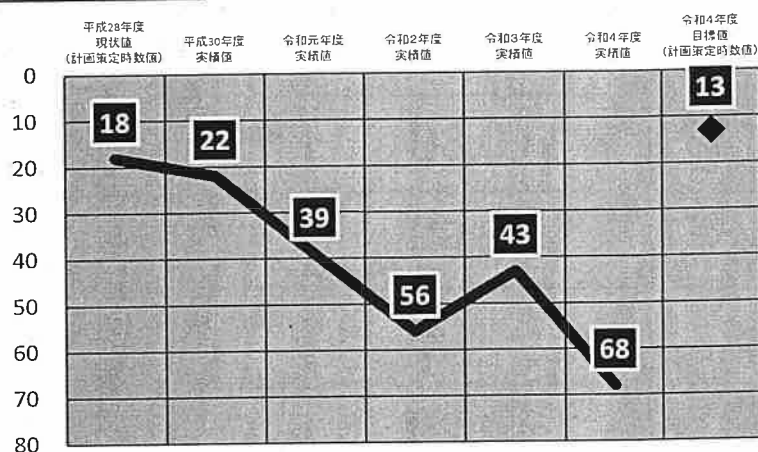
年度	数値
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	98.9
平成30年度 実績値	81.6
令和元年度 実績値	88.9
令和2年度 実績値	76.3
令和3年度 実績値	76.1
令和4年度 実績値	77.1
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0

具体的施策	4 いじめの防止対策の推進																		
数値目標名	いじめの解消率【中学校】	担当課	指導課																
単位	%	達成率	85.9%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	98.6	達成度	C																
平成30年度 実績値	69.8	推移グラフ	<table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>98.6</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>69.8</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>73.6</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>85.5</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>87.9</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>85.9</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>100</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	98.6	平成30年度 実績値	69.8	令和元年度 実績値	73.6	令和2年度 実績値	85.5	令和3年度 実績値	87.9	令和4年度 実績値	85.9	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100
年度	数値																		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	98.6																		
平成30年度 実績値	69.8																		
令和元年度 実績値	73.6																		
令和2年度 実績値	85.5																		
令和3年度 実績値	87.9																		
令和4年度 実績値	85.9																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100																		
令和元年度 実績値	73.6																		
令和2年度 実績値	85.5																		
令和3年度 実績値	87.9																		
令和4年度 実績値	85.9																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100.0																		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

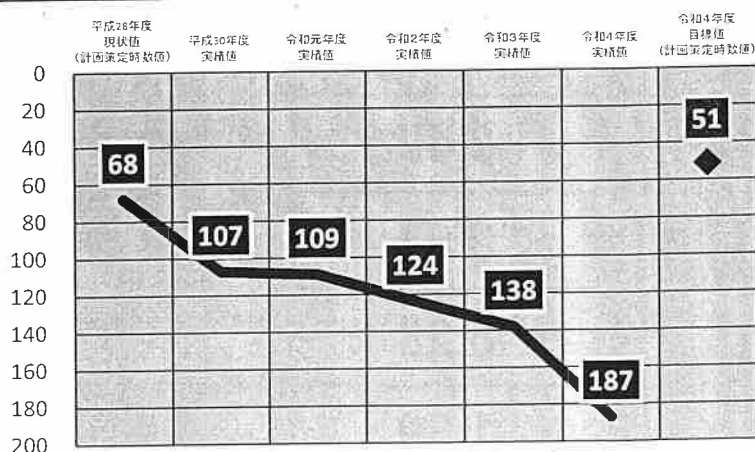
基本目標	2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
施策	5 自立する力をはぐくむ教育の充実
具体的施策	5 不登校の防止対策の推進

数値目標名	不登校児童生徒数【小学校】	担当課	指導課
単位	人	達成率	19.1%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	18	達成度	D
平成30年度 実績値	22	推移グラフ	
令和元年度 実績値	39		
令和2年度 実績値	56		
令和3年度 実績値	43		
令和4年度 実績値	68		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	13		



具体的施策 5 不登校の防止対策の推進

数値目標名	不登校児童生徒数【中学校】	担当課	指導課
単位	人	達成率	27.3%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	68	達成度	D
平成30年度 実績値	107	推移グラフ	
令和元年度 実績値	109		
令和2年度 実績値	124		
令和3年度 実績値	138		
令和4年度 実績値	187		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	51		



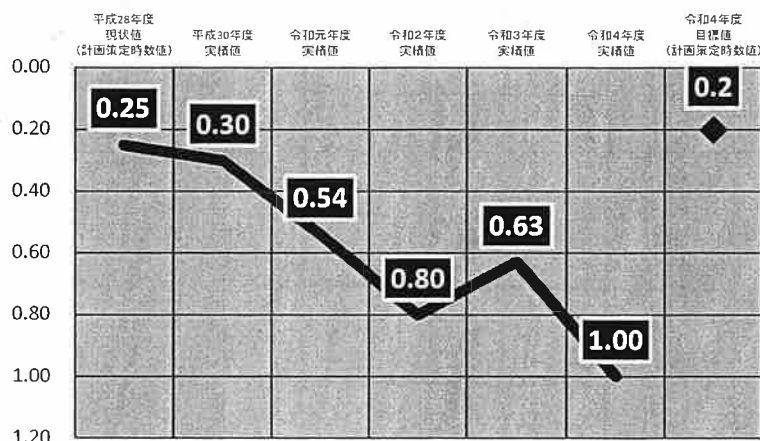
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

施策 5 自立する力をはぐくむ教育の充実

具体的施策 5 不登校の防止対策の推進

数値目標名	不登校児童生徒数(市内全児童生徒に対する割合)【小学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	20.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	0.25	達成度	D
平成30年度 実績値	0.30	推移グラフ	
令和元年度 実績値	0.54		
令和2年度 実績値	0.80		
令和3年度 実績値	0.63		
令和4年度 実績値	1.00		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	0.20		



具体的施策		5 不登校の防止対策の推進	
数値目標名	不登校児童生徒数(市内全児童生徒に対する割合)【中学校】	担当課	指導課
単位	%	達成率	26.3%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1.82	達成度	D
平成30年度 実績値	2.99	推移グラフ	
令和元年度 実績値	3.09		
令和2年度 実績値	3.47		
令和3年度 実績値	3.87		
令和4年度 実績値	5.28		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1.39		

平成28年度
現状値
(計画策定時数値)

平成30年度
実績値

令和元年度
実績値

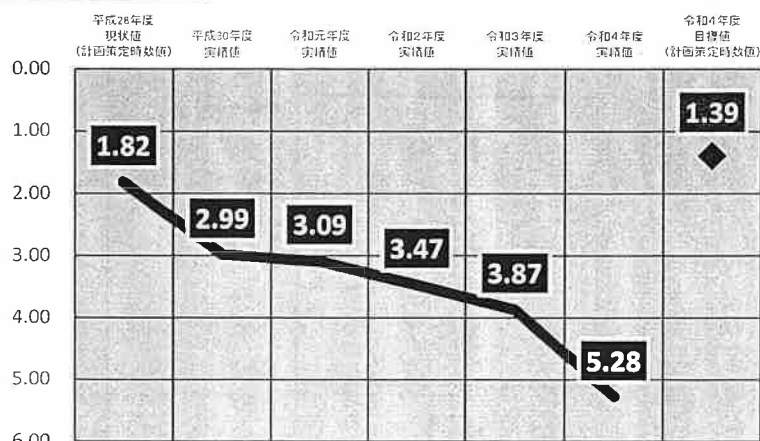
令和2年度
実績値

令和3年度
実績値

令和4年度
実績値

令和4年度
目標値
(計画策定時数値)

年度	数値
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1.82
平成30年度 実績値	2.99
令和元年度 実績値	3.09
令和2年度 実績値	3.47
令和3年度 実績値	3.87
令和4年度 実績値	5.28
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1.39



久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

施策 1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 学力向上を目指した教育の展開	27	久喜市教育研究委員会による実践研究の推進 (継続的取組み)		指導課	・市から委嘱を受けた教職員が委員となる、「久喜市版未来の教室」「STEAM教育研究委員会」「未来の公教育」「学力向上推進」「社会科副読本」「道德教育」「SDGs実現に向けたESD」の7つの研究委員会を設け、実践的研究を行いました。(約120名の教職員が参加)
	28	全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果分析と活用 (継続的取組み)		指導課	・結果を分析して明らかになった成果と課題を各学校に示し、ホームページで公開しました。 ・久喜市ステップアップテストの問題に内容を取り上げ、課題の解決を図りました。
	29	久喜市ステップアップテストの実施 (継続的取組み)		指導課	・6月から2月まで毎月1回実施し、児童生徒の学力の実態と伸びを把握するとともに、児童生徒一人ひとりの課題に合わせた補習問題を自動で編集してくれるWebサイトを開設し、学力の向上を図りました。
	30	学習支援カルテの活用 (継続的取組み)		指導課	・久喜市ステップアップテストのデータをもとに、個別の学力状況や学力の伸びが確認できる電子データの個票を作成するとともに、それが閲覧できるWebサイトを開設し、学校、家庭及び各個人に配布しました。
	31	2年間の研究委嘱と計画的・継続的な学校訪問の実施 (継続的取組み)		指導課	・研究委嘱校の要望に合わせ、指導課訪問を通じた校内研修支援を年間13回実施しました。 ・コロナ感染状況に応じた柔軟な実施形態を支援しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・一人一台学習者端末とクラウドを活用した協働的な学びの実践事例共有や事例発信、及びGoogle認定教育者(level1資格取得23名、level2資格取得12名)等教職員の育成を図りました。 ・企業や学識経験者との連携を通し、教科横断的な単元構想とSTEAM教育を推進しました。 ・教育データ利活用の視点から、校務システムや個別支援サービスを開発し、個に応じた支援の充実及び教職員の業務効率化を図ることができました。 ・先進事例を市内水平展開する組織体制をはじめとする「久喜市版未来の教室」実現に向けた取り組みが評価され、第5回日本ICT教育アワードを受賞しました。	・NEXT GIGAを見据えた取組みを加速するため、「教育データの利活用」「探究的な学びの充実」「単線型から複線型への授業観の転換」等を推進するための研究委員会への位置づけが必要です。	4	・学習系と校務系の統合を通したフルクラウド化を見据え、学習者主体の学びのデザインと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実及び、不登校支援対策など、GoogleWorkspaceをフル活用した体制を整えるとともに、第3期教育振興基本計画を踏まえた誰一人取り残さない教育の実現に向けた取組みを進めていきます。
・結果の分析を行ったことで、久喜市の傾向を掴むことができました。 ・各学校の課題を明らかにしたうえで指導主事が学校を訪問し、実態に即した指導を行うことができました。	・各学校においても結果の分析を行い、より実態に即した指導を実践していく必要があります。	3	・結果の分析を行い、各学校の課題を解決するための学習指導について学校を訪問し、指導を行います。
・本年度の埼玉県学力・学習状況調査における「学力の伸び率(※)」は、小学校は県が「5」に対して久喜市は「6」とやや上回り、中学校は県が「13」に対して久喜市は「9」と下回りました。「平均得点率」は小学校は県平均より「9.4」上回りました。しかし中学校は「5.2」下回りました。 ※学力の伸び率…全ての児童生徒の「学力の伸び」の値を足し合わせて、受検者数で割った値	・各学校のデータを分析し、学力向上に向けた教材や支援を充実させていく必要があります。	3	・全国学力学習状況調査や埼玉県学力学習状況調査の問題を分析し、テストの内容や補習問題の内容へ反映させ充実を図ります。 ・久喜市ステップアップテストの問題や個票にある補習問題について、学力向上推進委員会で協議していきます。
・各学校において個票を活用し、児童生徒の実態に合わせた授業形態の工夫や個別指導の充実が図られました。また、CBT化により、個票を返却するまでの時間が短縮されました。	・個票の活用の仕方について周知し、個別支援の充実や授業改善を進める必要があります。	3	・学力向上推進委員会の中で、個票の効果的な活用方法について協議していきます。
・各研究委嘱校の研究構想の充実及び、研究発表に向けたオンラインや対面のハイブリッド型研究発表会支援を行い、成果を発信することができました。	・業務改善と研究協議会及び研究発表会の趣旨を踏まえ、柔軟な実施形態と同時に、教職員の実践的な研修体制を整えることが課題です。	3	・クラウドを活用した、効率的・効果的な研究成果共有と事例の発信に係る方策を研究します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	32	個に応じた指導の推進 (継続的取組み)		指導課	・少人数指導や習熟の程度に応じた指導等の学習形態の工夫について指導しました。 ・指導方法の工夫改善について、各学校の達成状況と課題をまとめたものをもとに、指導助言を行いました。
	33	個に応じた学習問題の提供 (継続的取組み)		指導課	・久喜市ステップアップテストの結果から、児童生徒一人ひとりの学力に応じて、家庭で取り組むことができる学習問題を電子データで提供しました。
	34	放課後等学習支援教室「くき本樹塾」の実施 (継続的取組み)		指導課	・久喜市中学生学力アップ教育推進事業である、放課後等学習支援教室「くき本樹塾」を市内全中学校に設置し、293人の生徒に対し、放課後や長期休業を利用した学習支援を行いました。
2 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「学びの改革」の推進	35	校内研修を支援する学校訪問の実施 (継続的取組み)		指導課	・県東部教育事務所の指導主事を、市内の小中学校の校内研修に指導者として招聘し、教職員の指導力向上を図りました。(指導者招聘回数11回)
	36	ICT機器の効果的な活用についての事例集の作成及び研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・Google for Education(コア研修、アドバンス研修、コアplus研修、動画作成研修、管理職向け研修、Google認定教育者level 1・2、Google認定トレーナー資格取得、事務職員向け)研修会を実施しました。(実施校31校、参加者数延べ303人) ・久喜市教育研究委員会委員、江面小、久喜小、久喜南中や未来の教室研究委員と協力し、クラウドを活用した協働的な学び実践事例をスライドにまとめ、教職員向けに公開しました。(新規30事例以上掲載)
3 小・中学校9年間を一貫した教育の推進	37	小学校と中学校の連携を図った教育課程編成の推進 (継続的取組み)		指導課	・各中学校区で、各小・中学校の教務主任を中心に、学習指導要領の9年間を見通した教育課程の編成の支援を行い、教育指導計画にまとめました。
	38	教員の「兼務発令」の実施 (継続的取組み)		指導課	・9年間の見通した学びを実現するため、兼務発令を計画的に実施し、中学校教員35人を、中学校区の小学校に兼務発令しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・学力を伸ばした児童生徒の割合が埼玉県平均を下回りました。(埼玉県平均69.0%、久喜市平均63.4%) ※令和4年度埼玉県学力学習状況調査における小学校第4学年から中学校第3学年までの実施全教科平均値	・一斉指導から個別最適化された授業に変えるため、教職員の意識改革が必要です。	3	・ICTを活用するなどして、全ての児童生徒に対応できる個別最適化された教育を推進していきます。 ・各学校の効果的事例を取りまとめ情報提供し、実践されているか見届けをしていきます。
・各学校において、授業や家庭学習等で活用されました。また、保護者への啓発により、家庭での活用が進みました。	・習熟の程度に応じた学習問題を提供するため、補習問題の数や種類を増やす必要があります。	3	・全国学力・学習状況調査の過去の問題や県のホームページ等を活用し、補習問題の内容を充実させていきます。 ・学力向上推進委員会で、児童生徒の実態にあった補習問題を作成していきます。
・市独自の学力調査において、くき本樹塾受講者の得点レベルの伸びは、未受講者より0.6ポイント上回ることができました。	・時期によって、受講者の欠席が多くなってしまうことが課題です。 ・学習支援員に欠席が出た際、必要な人員を配置できないことが課題です。	3	・生徒の学習習慣が定着するように、各学校と調整を図り定期的な「くき本樹塾」の開催を実施します。 ・学習支援員の募集開始の時期を早め、期間を長く設定することで、人数を十分に確保できるようにします。
・各学校において、研究授業及び研究協議が行われ、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善について教職員の理解が深まりました。	・研修内容を共有し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実がされた授業への改善を、市内全体で推進していくことが課題です。	3	・研修の内容を市の学力向上推進研究委員会で活用したり学校WANやGoogleドライブで閲覧できるようにしたりする等、共有化を図ります。
・研修会を通して、各校のICT推進リーダー育成に寄与するとともに、一人残らずスキルアップを図ることで、各校のGIGAスクール推進に向けた取組みの原動力となりました。 ・クラウド活用を基盤とし、学習者用デジタル教科書活用や、デジタル・シティズンシップ教育推進に係る取組みを行うことで、授業実践の広がりとGIGA推進を図ることができました。	・各学校の実態と教職員のスキルに応じた研修機会を提供することが必要です。	3	・Google for Educationの支援を得つつ、継続的な研修会の実施と同時に、基礎基本及び発展研修、管理職向け研修、及びジュニアICTリーダー講座等それぞれのニーズに応じた研修を企画し、教職員のICT活用能力向上と、児童の情報活用能力育成に向け取り組みます。
・各中学校区の研修会や協議により、中学校区を中心とした小学校・中学校の連携が深まり、9年間の一貫した教育課程編成の推進につながりました。	・作成した教育指導計画の確実な実施、定着に向け、検証を行い改善することが必要です。	3	・中学校区の学校同士の連携をさらに深め、学習指導要領に基づく社会に開かれた教育課程の編成を行います。
・兼務発令された中学校教員が小学校で授業を行うことで、小中一貫教育の推進と、児童の中学校生活への不安を取り除くことができました。	・小学校教員が中学校教員の指導を参観することで、教科特有の専門的な指導技術を向上させていく必要があります。	3	・兼務教員を増加させ、小学校と中学校の一貫した指導体制の構築及び小学校教科担任制を進めます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
4 国際社会で活躍できるコミュニケーション能力の育成のための教育の推進	39	児童生徒のコミュニケーション能力を高める外国語活動及び英語教育の充実 (継続的取組み)		指導課	・英語指導法の工夫改善に向けた授業研究会を実施し、教員の指導力向上を図りました。 (年間1回、小・中学校英語担当教員28名参加) ・外国語指導助手(ALT)21名を小中学校に配置し、児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図りました。
	40	英語検定受験料補助の実施 (継続的取組み)		指導課	・中学3年生の英語検定受験料の補助を実施し、生徒の英語力及び学習意欲の向上を図りました。
	41	姉妹都市提携をしているローズバーク市との久喜市中学生国際親善交流事業 (継続的取組み)		指導課	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業が中止になりました。
	42	久喜市小学生イングリッシュキャンプの実施 (継続的取組み)		指導課	・小学6年生を対象とし、コロナ禍のためオンラインで実施しました。児童の英語力及び学習意欲の向上を図りました。
	43	SDGs実現に向けたESDの推進 (継続的取組み)		指導課	・各学校が、教育課程とSDGsの関連を明らかにした一覧表や、各学年の学習がSDGsの視点でどのように関連しているかを体系化した「ESDカレンダー」を作成しました。
5 環境・キャリア教育等、多彩な指導の推進	44	学校の教育活動全体を通じた環境教育の推進 (継続的取組み)		指導課	・環境教育全体計画に基づき、学校周辺の環境美化や飼育栽培活動に主体的に取り組んだり、リサイクル活動など身近な環境問題についての学習に取り組んだりしました。
	45	発達の段階に応じたキャリア教育の推進 ※再掲(連番No.81) (継続的取組み)		指導課	・進路指導・キャリア教育全体計画に基づき、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の中で、職業についての学習や、進路指導、体験学習を通し、望ましい職業観の育成に努めました。
	46	主体的な進路選択の能力を育成する社会体験チャレンジの実施 ※再掲(連番No.82) (継続的取組み)		指導課	・中学2年生に対して、新型コロナウイルス感染対策を行い、可能な範囲で、社会体験チャレンジとして、事業所での体験、インタビュー、講演などを実施しました。これらの活動を通して、望ましい勤労観や社会観を身に付ける学習に取り組ましました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・小学校、中学校ともに学習指導要領が全面実施となつてから時間が経ち、各学校で研究実践が進み、英語授業における工夫改善や質の向上、小学校とのつながりを意識した指導の充実が見られました。	・小学校で学習したことを中学校でさらに発展充実させていくこと、学習到達目標を明確にし評価方法を共有することが今後の課題です。	3	・小学校と中学校の交流や連携を深める研修を実施し、9年間を見通した英語教育の充実を図ります。
・市内在住の中学3年生331人が英語検定を受験し、受験料補助を申請しました。 ・英語学習の成果の指標となり、生徒の意欲喚起につながりました。	・本事業についての周知が必要です。また、生徒に受験しやすい環境を提供するために、市内中学校で受験できる準会場受験を継続して提供していく必要があります。 ・補助対象学年の拡大を求める声が多くありました。	3	・本事業の周知徹底及び市内中学校への試験会場等の協力について呼びかけを行います。 ・補助の対象学年及び回数について検討します。
—	・オンライン等を活用し、様々な交流の仕方について検討する必要があります。	—	・「国際化の進展する社会における望ましい交流のあり方を身に付ける」という目的達成に向けて、実施方法や時期について検討し、事業の更なる充実を図ります。
・市内の小学6年生37人がイングリッシュキャンプに参加しました。 ・児童の英語力を高めることができ、また学習意欲も高まりました。	・実施内容や児童の参加方法等について、様々な選択肢を用意する必要があります。	3	・外国語指導助手(ALT)と指導内容及び方法について工夫改善を図り、オンラインでの実施も視野に入れながら活動内容の充実を目指していきます。
・それぞれの教育活動とSDGsのゴールとの関連が視覚化、明確化され教員同士の連携を図ることができました。 ・社会とのつながりを意識した教科横断型の学習を計画できるようになりました。	・ESDの取組みをより一層進めるためには、SDGs及び教科横断型の学習に関する教職員の理解を図っていく必要があります。	3	・市の研究委員会を活用し、SDGs及び教科横断型の学習に関する研修を実施していきます。 ・学校が、地域や企業と連携したプロジェクト型学習を実施できるように支援していきます。
・各教科や総合的な学習の時間等で、身近な環境問題について学び、環境美化やごみの分別への意識が高まりました。	・学習指導要領の内容を踏まえ、教科横断化に向けたカリキュラムマネジメントを行い、教育効果の高いものにしていくことが大切です。	3	・今後も身近な環境問題に目を向けられるよう教育活動全体を通じて指導するよう支援します。
・職業に関する学習や、体験活動、進路学習を行っていくことで、自分の生き方に通じる職業への関心が高まりました。	・教育効果を高めていくため、指導計画に教科横断的な視点を取り入れ、地域の方などの協力を得たりし、児童生徒の意識の高揚と、学習内容の充実の両立を図っていく必要があります。	3	・指導計画に教科横断的な視点を取り入れ、自己の能力を生かし社会に貢献していく資質能力を育む学習の充実を図る必要があります。
・職業体験やそれに代わる行事を通して、職業観の育成が図られ、主体的な態度や社会観が育成されました。	・社会体験チャレンジの実施に協力していただける事業所の確保が課題です。	3	・新規事業所への依頼を含めた事業所の確保等、学校の負担が増加しています。教育効果が損なわれないよう配慮しながら、事業の形を工夫していく必要があります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

施策 1 学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
6 情報通信ネットワークを活用した学習、プログラミング教育、情報モラル教育の推進	47	情報モラル教育の実施 (継続的取組み)		指導課	・デジタル・シティズン・シップ教育講演会の開催(国際大学GLOCOM豊福晋平先生)や文部科学省GIGAスクールにおける学びの充実事業「情報モラル教育」指定校久喜小学校の取組みを通して、情報モラル教育の充実を図りました。
	48	一人一台のChromebookを活用した学習の推進 ※再掲(連番No.147) (継続的取組み)		指導課	・Chromebookの基本操作各種ツールを活用した学習者主体の学びのデザインについて研修会を実施しました。 (実施校33校、参加者数延べ303人) ・市内全児童生徒分のChromebookが整備され、情報活用能力が高まりました。 ・児童生徒が、主体的な学びのツールとしてChromebookを活用し、他地域とのハイブリッド、オンライン授業の日常化を図ることできました。
	49	プログラミング教育の実施 (継続的取組み)		指導課	・小学校プログラミング教育について、ChromeOS対応アプリの整備や、事例集等の授業資料のサイト掲載を通じた整理を行いました。 ・企業と連携したSTEAM教育の取組みを通し、教科横断的な授業を推進しました。
	50	情報通信ネットワークを活用した学習 (継続的取組み)		指導課	・教職員向けサイトや共有ドライブ、学校WANを活用して、指導案や実践事例・資料等の共有化を行いました。 ・Google Workspace for EducationなどのICTを活用し、フルクラウド化を見据えた取組みを進めることができました。
7 理数系人材の育成	51	小学校理科支援員の配置 (継続的取組み)		指導課	・各校年間30回、7名の理科支援員を第3学年から第6学年までの理科授業に配置し、観察・実験活動等における教員の支援を行いました。
	52	小学校理科教育研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から研修会が中止になりました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各機関と連携した児童生徒向けの情報モラル教室の実施や、デジタル・シティズン・シップ教育の概念と在り方について教職員の啓発を図るとともに、広報誌等を通して家庭への啓発も図ることができました。また、年間指導計画への位置づけを図ることができました。	・一人一台端末の活用を前提とした情報モラル教育からデジタル・シティズン・シップ教育への転換を図る必要があります。 ・小学校第1学年から中学校第3学年まで、デジタル・シティズン・シップを育む系統的な指導計画を作成する必要があります。	3	・デジタル・シティズン・シップ教育をはじめとする一人一台端末の活用を前提としたGIGAスクール環境下の実態に応じた情報活用能力の育成を図る必要があります。
・児童生徒の情報活用能力育成のために、教職員同士がChromebookの活用と授業のアイデアについて共有することで、取組みを推進することができました。	・教員ごとに端末を活用する頻度に差があります。 ・教職員用端末の配備と学習者用端末の修繕対応、破損防止対策が必要です。	3	・全ての教員が端末を活用した授業と児童生徒が主体的に端末を扱うことができるよう、研修会を工夫します。 ・活用事例をもっと手軽に見られる環境づくりやGoogleChatを活用した事例共有体制の構築を進めます。
・小学校プログラミング授業を通して、対話的、協働的な学びを位置づけることができ、プログラミング的思考の育成に寄与することができました。	・共有された事例や教材をもとに、更なる指導事例の蓄積が必要です。	3	・各校で教材・教具をより活用しやすくできる環境整備と実践事例の更なる蓄積、共有化を進めていきます。 ・市内小学校プログラミング教育の年間カリキュラムの検証と、企業と連携したコンテンツの提供を行っていきます。
・資料等の共有化が図られ、教材研究のための時間の確保や教育活動の質が向上しました。教材に関する情報交換もスムーズに行えるようになりました。 ・児童生徒のクラウド活用を通じた学習者主体の学びのデザインを図ることができました。	・活用に際して、引き続きすべての教職員に対し、操作やシステムについて周知していく必要があります。	3	・ICT推進役となる教職員の育成を進めます。 ・Google Workspace for Educationを活用した効果的な学習を進めます。
・理科の授業で担任や担当教員と連携を深めることで、理科の授業を通して思考力や表現力の育成が図られました。 ・理科担当の教員と連携し、理科室経営を充実させ、理科室での授業が行いやすくなりました。	・各校担当教員と支援員との連携がより円滑になるよう、体制を構築していく必要があります。	3	・理科支援員による観察・実験活動等の支援により、子どもたちが主体的に学ぶ体験を重視した理科の授業を行います。
—	・理科を専門としていない教員が多く、指導力を向上させる必要があります。	—	・今後も研修を企画し、見方・考え方を働かせて、資質・能力を発揮する理科の授業ができるよう、教員の指導力の向上を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 道徳教育の充実	53	読み物資料を活用した道徳の時間の充実 (継続的取組み)		指導課	・「彩の国の道徳」、「私たちの道徳」、久喜市郷土資料「本多静六」の資料を年間指導計画に位置付け、計画的に指導を行いました。
	54	学校の教育活動全体を通じての道徳教育の推進 ※再掲(連番No.87) (継続的取組み)		指導課	・道徳教育研究委員会を3回開催し、特別の教科道徳の視点での授業を充実させるため、校内研修のための実践事例を作成しました。 ・実践事例や久喜市独自教材等を活用できる「久喜市版道徳教育リーフレット」に掲載しました。
2 体験活動の充実	55	発達の段階に応じた体験活動の計画的な実施 ※再掲(連番No.79) (継続的取組み)		指導課	・70万人体験活動や自然体験活動、集団宿泊的活動、文化的活動やボランティア活動等の豊かな体験活動において、道徳教育との関連を年間計画や具体的な実施計画に位置付け、計画的に実施できるようにしました。
	56	家庭、地域と連携を図った自然体験、文化活動等の体験活動の充実 (継続的取組み)		指導課	・学校応援団ボランティアの協力により、学校ファームの充実や田植え体験等を行いました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、社会チャレンジ事業を職場インタビューなど、代替案で実施した学校もありました。
	57	地域の行事等を生かした体験活動の充実 (継続的取組み)		指導課	・コロナ禍のため、祭りやボランティア活動など地域の行事は中止または規模が縮小されましたが、地域の方々と、地域の取組みを体験し、地域について学ぶことができました。
	58	小学校における学校動物飼育の推進 (継続的取組み)		指導課	・生活科の授業や飼育委員会児童による毎日のエサやり等のお世話を通して、動物とのふれあいを実施しました。 ・獣医師が学校ごとに診察、検査を日常的に行うとともに、巡回飼育指導を2回実施しました。 ・動物飼育担当の研修会を1回実施しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各校で「彩の国の道徳」、「私たちの道徳」、久喜市郷土資料「本多静六」を意識して活用し、授業を行うことで、児童生徒の道徳性を養うことができました。	・特別の教科道徳における児童生徒の学びがより深いものとなるよう、授業改善を図っていく必要があります。	3	・今後も、適正に年間指導計画に位置付け、授業を行うようにします。 ・道徳教育推進に係る情報を提供できるようにしていきます。
・授業改善につながる校内研修のための実践事例を作成、情報提供できました。 ・久喜市版道徳教育リーフレットを全教職員が活用できるようになりました。	・久喜市版道徳教育リーフレットを全教職員が効果的に活用できるようにしていく必要があります。	3	・久喜市版道徳教育リーフレットを効果的に活用できるよう、周知していくとともに、内容を深めていきます。
・様々な体験活動を通して、児童生徒は、集団や社会の中で自分の役割を果たすことや、友人との人間関係などを実感として学ぶことができました。	・多くの体験活動を実施できる学校がある一方で、体験活動を実施するための人的資源や物的資源の確保が難しい学校もあることから、各校の有する人的・物的資源を共有していくことが必要です。	3	・各校の有する人的・物的資源を共有していくための情報交換の機会を設定します。
・学校応援団の研修会を実施し、事例を共有したことで、団員がよりよい学校応援団の在り方を学ぶことができました。 ・実際の生活や社会、自然のあり方を学ぶことで、主体的に取り組む力を身に付けることができました。	・学校に関わってくださる様々な方々の確保や、物的な教育資源の整理を行い、より効率的な教育活動の展開を目指す必要があります。	3	・今後も、学校・家庭・地域で連携して、体験活動の充実を図ります。 ・学校に関わってくださる方々の確保や、地域社会にある教育資源の発掘や有効活用を行っていきます。
・地域の方々と共同して活動することにより、社会性や他者を尊重する態度等の育成につながりました。	・地域の行事等に積極的に参加する児童生徒もいますが、より多くの児童生徒に地域社会を通しての体験活動を経験させることが必要です。	3	・児童生徒が参加できる場や環境を学校運営協議会で協議していきます。
・動物飼育を通して、児童に生命を尊重する豊かな心を育むことができました。	・各学校の動物飼育担当者が毎年変わり、若く経験が少ない教職員が担当となることが多い状況や、長期休業中のお世話等が課題となっています。	3	・初めて動物飼育を担当する教職員に対して、年度当初に研修会を計画したり、動物飼育に関する資料が確実に引き継がれたりするよう、学校を支援します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

施策 2 豊かな人間性をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
3 規律ある態度の育成	59	基本的な生活習慣や学習習慣の定着 (継続的取組み)		指導課	・学校便り、学年便り、学級便り等で情報を提供しました。 ・長期休業日の過ごし方について周知しました。 ・学級懇談会等で議題にとりあげました。 ・久喜市生徒指導推進委員会を栗橋西中学校で開催し、現状と課題について協議を行いました。
4 読書環境の充実と読書活動の推進	60	学習・情報センターとしての機能を有した学校図書館の運営 (継続的取組み)		指導課	・市内小・中学校31校に学校図書館教育主任を配置することができました。また司書教諭については、市内小・中学校31校中、すべてに配置することができました。 ・読書活動の実践事例を募集し、特色ある学校図書館の運営について広報しました。
	61	朝読書、読書週間等の充実 (継続的取組み)		指導課	・読書タイムを設定したり、読み聞かせボランティアを活用したりして朝読書、読書週間等の充実を図りました。また、市立図書館職員によるブックトークも実施しました。 (久喜地区53回、菖蒲地区29回、栗橋地区27回、鷺宮地区22回実施)
	62	学校応援団による読み聞かせの実施 (継続的取組み)		指導課	・読書ボランティアによる読み聞かせを実施しました。 (小学校:月2回、中学校:学期1回)
5 「久喜の子ども、5つの誓い」の推進	63	「久喜の子ども、5つの誓い」の学校・家庭・地域での推進 (継続的取組み)		指導課	・「久喜の子ども、5つの誓い」の具体的取組みを実施するため、市教育委員会と市PTA連合会、市小・中学校長が連携しました。 ・学校だより、ホームページ等を通じて積極的に情報発信しました。 ・久喜市教育委員会の取組みをまとめた「ALL KUK」教育改革プロジェクト」に記載し、周知しました。 ・オープン参観や学校行事の際には、家庭や地域に案内しました。

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

施策 3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 学校体育の充実	64	児童生徒の体力に係る課題解決に向けた指導の工夫と改善 (継続的取組み)		指導課	・体育主任や養護教諭、保健主事、栄養教諭が委員として構成される体力向上推進委員会を開催し、市の体力課題について共有を図りました。また、各学校の体力課題に係る取組みをまとめた報告書を作成し、それを用いた実践発表会を開催しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・学校においては、時間を守ること、身の回りの整理整頓、挨拶等、小・中学校が連携し充実した取り組みができました。	・教員からの働きかけによる定着ではなく、児童生徒中心の自治活動を進めていく必要があります。	3	・今後は、児童会や生徒会中心の自治活動や、小中一貫に関わる取り組みを進めていきます。
・各教科等で、資料を活用した学習が促進され、学習意欲の高まりが見られました。 ・市内の学校に特色のある取り組みについて知らせることができました。	・市内に特色のある取り組みを広げ、利用率、貸出数の拡大や、センター的機能を高めていく必要があります。 ・久喜市立図書館や企業と連携し、書籍のデジタル化に応じた読む力も高められるような取り組みが必要です。	3	・今後も、児童生徒の読書活動や学習活動の充実のため、実践事例を全ての教員が閲覧できるようにします。
・教育活動の中に読書の時間を設けることにより、読書意欲が高まりました。 ・市内全地区でブックトークが実施され、本に親しむ機会が増えました。	・読書週間等への取り組みにおける家庭地域との連携を深めていく必要があります。 ・市立図書館職員によるブックトークを読書活動の充実に生かしていけるよう、教育課程に組み込んでいく必要があります。	3	・今後は、読書週間等に家庭・地域と連携して取り組めるよう推進に努めます。 ・アフターコロナの中で、読書活動の在り方を見直すことで、より効果的に読書活動が充実できるよう工夫していく必要があります。
・読み聞かせボランティアによる読み聞かせにより、本に親しむ機会が増えました。 ・読み聞かせボランティアの読み聞かせは、児童生徒の落ち着いた心につながりました。	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動が減りましたが、徐々に通常の活動に戻りつつあり、本に親しむ機会を増やすためにも、オンライン読み聞かせも並行して行っていく必要があります。	3	・授業場面での読み聞かせボランティアを活用した取り組み等、更に朝の読書時間以外での活用を広げられるよう努めます。
・積極的な情報発信を通して、学校・家庭・地域の連携を深めることができました。	・「久喜の子ども、5つの誓い」を学校・家庭・地域で推進するために、情報発信の手段をより多様にするのが課題です。	3	・ALL KUKI 教育改革プロジェクトを各学校のホームページ上に掲載する等、情報発信の手段を検討します。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各校が体育主任を中心に自校の課題解決に向けた取り組みを継続的に実施することができました。 ・令和4年度新体力テストにおける体力上位(A・B・C)の割合は、令和3年度と比較すると、小学校は1.0ポイント減、中学校は1.7ポイント減でした。	・コロナ禍においても自らの目標を持ち他者と楽しく運動ができるように、ICTを活用した体育活動における個別最適な学びと協働的な学びについて推進していく必要があります。	3	・体力向上推進委員会において、ICTを活用した体力向上に係る効果的な取り組みについて協議し、その成果を市内小中学校に発信していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 3 体力の向上と心身の健康づくりを図る教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	65	児童生徒の体力の向上を目指した体育授業づくりの支援 (継続的取組み)		指導課	・菖蒲東小学校、本町小学校において授業研究会を実施し、体力向上へ向けた授業改善を積極的に行いました。また、実践事例を教職員が閲覧できる共有ネットワークへ掲載し、各学校へ成果を周知しました。
2 生涯にわたる心身の健康保持増進や豊かなスポーツライフを実現する力の育成	66	児童生徒が主体的に健康生活を行い、生涯にわたり運動を行う力の育成 (継続的取組み)		指導課	・体力向上推進委員会において、指導者を招聘し、オンラインによる体育授業及び健康の保持増進に関する研究授業を実施しました。 (体育主任、栄養教諭、保健主事、養護教諭等の計42人参加)
	67	運動部活動の充実 (継続的取組み)		指導課	・中学校5校の運動部に部活動指導員を配置し、運動部活動における専門的な技術指導等の充実を図りました。
3 食育の推進	68	「食」に関する指導の推進 (継続的取組み)		指導課	・「食」の大切さを学ぶため、各学校において、学校ファームを活用し、栄養教諭等と連携した学習指導の工夫と改善を図りました。 ・小・中学校における家庭科・技術家庭科・学級活動・総合的な学習の時間を中心に、児童生徒に対して食に対する啓発を行いました。
4 学校保健の充実	69	学校保健計画の作成及び実践 (継続的取組み)		指導課	・養護教諭や保健主事を中心に、久喜市健康増進計画を参考にしながら、学習指導要領に基づき学校保健計画の作成及び実践を行いました。

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 4 学校における人権教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 人権問題を主体的に考え行動する児童生徒をはぐくむ人権教育推進体制の充実	70	転入・新採用教職員学校同和教育現地研修会の実施 ※再掲(連番No.164) (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に転入・新採用教職員を対象に、現地研修会を2日間開催しました。 (参加者数52人)
	71	教職員人権教育研修会の実施 ※再掲(連番No.165) (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に全教職員を対象に、「これからの人権教育について」を演題として、教職員人権教育研修会を4回開催しました。 (参加者数727人 会場196人、オンライン531人)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・研究授業実践校の積極的な情報発信と、各校体育主任による協議により久喜市全体で授業づくりの工夫改善が図られました。	・体育主任だけでなく、すべての教員が体力向上に向けた授業改善を行えるよう、情報の発信に努める必要があります。	3	・市内で実施した研究授業の指導案やワークシートを共有サイトにアップし、全ての教員が閲覧できるようにします。
・体験活動を通して、各校の体育担当教諭が指導技術や知識を高めることができました。	・体育主任だけでなく、すべての教員が研修内容を活用できるよう、情報の発信に努める必要あがります。	3	・体力向上推進委員会で実施した研究授業及び講義の内容を、共有サイトにアップし、全ての教員が閲覧できるようにします。
・専門的な技術及び指導法の充実により、生徒の技術力向上を図ることができました。 ・地域の指導者の活用により、運動部活動の充実とともに、地域社会との連携や協力体制が促進されました。	・各部活動の指導方針やマナー、安全面での指導等について、顧問教員と部活動指導員の共通理解を徹底していく必要があります。	3	・久喜市の部活動ガイドラインを周知徹底させ、安全かつ充実した部活動指導を推進していきます。 ・部活動の地域移行を見据え、関係各課と連携を図り、部活動のあり方を検討していきます。
・久喜市健康増進・食育推進計画に係る「朝食摂取率」の調査では、小学生は96.8%、中学生は88.9%と8割を越す児童生徒が朝食を摂って登校しています。	・朝食摂取率は、小・中学校ともに前年度より下降しており、今後摂取率の向上を目指し、保護者への啓発を行っていく必要があります。 (小学生:95.6%から96.8%となり1.2ポイント増、中学生:90.0%から88.9%となり1.1ポイント減)	3	・各学校の取組みや朝食の重要性をまとめて学校に配付し、各家庭への啓発を図っていきます。
・学校保健計画に基づき、児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図ることができました。 ・久喜市健康増進・食育推進計画に係る「むし歯治療率」の調査では、小学校では、88.8%(対前年度比1.2ポイント増)、中学校では80.8%(対前年度比2.9ポイント減)でした。	・むし歯の治療率の上昇を図るため、保護者への啓発や指導法の改善に努める必要があります。	3	・外部機関と連携した授業の充実と、懇談会や個別面談を活用した保護者への啓発を各学校へ指導・支援していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・転入・新採用教職員が、差別の現実を学び、同和問題についての認識を深めることができました。	・転入・新採用教職員が様々な人権問題についての正しい理解を深め、人権感覚をより磨いていくため、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、夏季休業中に転入・新採用教職員を対象に、現地研修会を2日間開催します。
・全教職員が参加することにより、教職員の人権教育の一層の推進に役立てることができました。	・全教職員が人権感覚をより高め、正しい理解のもと指導に当たることができるよう、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、夏季休業中に全教職員を対象に、教職員人権教育研修会を4回開催します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

施策 4 学校における人権教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	72	校長同和教育研修会の実施 ※再掲(連番No.166) (継続的取組み)		指導課	・市内小・中学校長を対象に、校長同和教育研修会を1回開催しました。
	73	人権教育教職員啓発資料「あおぞら」の作成 ※再掲(連番No.167) (継続的取組み)		指導課	・教職員人権教育啓発資料「あおぞら」を10月と3月の2回発行し、全教職員や市内公共施設に配布しました。 ・授業等に活用し、人権意識の啓発を図りました。
	74	人権文集「えがお」の作成と積極的な活用 ※再掲(連番No.163) (継続的取組み)		指導課	・人権文集「えがお」を編集し、市内全児童生徒に配布しました。 ・各学校において人権文集「えがお」を発達段階に応じて活用し、人権教育を推進しました。
	75	心のこもったあいさつの奨励 (継続的取組み)		指導課	・学校便りや学年便り、学級便り、保護者会や面談等で心のこもった挨拶の実施について伝えました。 ・学校・家庭・地域がそれぞれの役割を再確認しました。
2 「人権感覚育成プログラム」の普及・活用	76	「人権感覚育成プログラム」の有効的な活用 ※再掲(連番No.162) (継続的取組み)		指導課	・栗橋南小学校に人権教育を主とした研究委嘱を行い、「多様な他者を認め合うみなみっ子の育成」を研究主題とし、ESD教育をはじめとするSDGsの視点に立った授業について研究を行うとともに、「人権感覚育成プログラム」を活用した授業を行いました。
3 人権教育の指導内容・指導方法の工夫・改善	77	人権教育の指導内容、指導方法等についての工夫・改善 (継続的取組み)		指導課	・参加体験型学習(ロールプレイ・ブレインストーミング等)を取り入れた、児童生徒の主体的な学習活動を促す指導内容・指導方法の工夫・改善を推進しました。 ・各学校で進めている人権教育の取組状況をまとめた人権教育実践事例集を作成しました。
	78	男女共同参画の視点に立った指導内容、指導方法等の研究 (継続的取組み)		指導課	・校内研修等を通して、全教職員の共通理解を図り、指導方法の研究を行いました。 ・学校教育全体を通じて、組織的、計画的、継続的な指導を推進しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・市内全小・中学校長が参加することにより、差別の実態を学び、部落差別の解消を目指す学校同和教育の一層の推進に役立てることができました。	・校長が様々な人権問題についての正しい理解を深め、人権感覚をより高めるため、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、市内小・中学校長を対象に、校長同和教育研修会を1回開催します。
・全教職員への配布により、教職員の人権意識を高めることができました。 ・市内公共施設に配布し、学校における人権教育の実施状況について、理解を広めることができました。	・全教職員が人権感覚をより高めるため、今後も継続して作成する必要があります。	3	・次年度も、教職員人権教育啓発資料「あおぞら」を10月と3月の2回発行し、全教職員や市内公共施設に配布します。
・人権作文や人権標語を書くことを通じて、児童生徒一人ひとりの心を耕すことができました。 ・人権文集「えがお」を活用し、児童生徒の人権意識を高めることができました。	・今後も継続して人権に関わる理解や、人権意識を高めていく必要があります。	3	・学校行事や道徳、特別活動等で人権作文の効果的な活用を進めます。
・学校・家庭・地域がそれぞれの役割を再確認し、役割を果たすことで充実した連携が図れました。	・学校内でのあいさつだけでなく、更に家庭・地域への心のこもったあいさつを広げていく必要があります。	3	・今後、学校・家庭・地域などのさまざまな生活の場において、自主性や自立性をはぐむ指導を進めます。
・SDGsの視点に立った授業実践とともに、「人権感覚育成プログラム」を活用した授業を実践することができました。	・「人権感覚育成プログラム」を生かした授業等を積極的に実践していくよう、今後も普及・活用していくよう努める必要があります。	3	・「人権感覚育成プログラム」の一層の活用を推進するため、研修会への参加を推進していきます。
・「人権感覚育成プログラム」を活用した授業を実践するなど、指導内容・指導方法の工夫ができました。	・インターネット上でのトラブルなど、新たな人権課題に対して、理解を深めていく必要があります。	3	・今日的な人権問題に対応する人権教育を推進するため、研修の実施を推進していきます。
・人権教育を基盤として、男女平等の重要性、男女の相互理解と協力等、男女平等の視点に立った教育を積極的に進めることができました。	・今後も継続して、教職員への理解を図っていく必要があります。	3	・今後も、校内研修を充実し、男女共同参画の視点に立った指導ができるように努めます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

施策 5 自立する力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 夢と自信をもち、可能性に挑戦するために必要な力の育成	79	発達の段階に応じた体験活動の計画的な実施 ※再掲(連番No.55) (継続的取組み)		指導課	・70万人体験活動や自然体験活動、集団宿泊的活動、文化的活動やボランティア活動等の豊かな体験活動において、道徳教育との関連を年間計画や具体的な実施計画に位置付け、計画的に実施できるようにしました。
	80	自立を図るための主体的・能動的な力を養う体験活動の実施 (継続的取組み)		指導課	・感染症予防に努めながら「市内音楽会」を実施しました。「小学校陸上大会」は一部の種目を実施し、記録に挑戦する活動を行いました。
2 生き方教育としての進路指導・キャリア教育の充実	81	発達の段階に応じたキャリア教育の推進 ※再掲(連番No.45) (継続的取組み)		指導課	・進路指導・キャリア教育全体計画に基づき、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の中で、職業についての学習や、進路指導、体験学習を通し、望ましい職業観の育成に努めました。
	82	主体的な進路選択の能力を育成する社会体験チャレンジの実施 ※再掲(連番No.46) (継続的取組み)		指導課	・中学2年生に対して、新型コロナウイルス感染対策を行い、可能な範囲で、社会体験チャレンジとして、事業所での体験、インタビュー、講演などを実施しました。これらの活動を通して、望ましい勤労観や社会観を身に付ける学習に取り組ましました。
3 相談・指導体制の充実	83	教育相談の充実 (継続的取組み)		指導課	・心理専門員2人、スクールソーシャルワーカー2人、スクールカウンセラー10人、適応指導教室に室長1人及び指導員10人を配置し、学校と児童生徒、その保護者との連携や相談活動を行いました。 ・小学校に8人、中学校に10人の教育相談員を配置し、悩みのある児童生徒やその保護者に対し、相談活動を行いました。 (相談件数:小学生1,895件、小学生保護者190件、中学生6,288件、中学生保護者1,020件) ・悩みを抱える児童生徒の担任等との連携を図りました。 ・小中一貫教育を推進していることから、小中学校相談員も連携を図りました。
	84	心理専門員・スクールソーシャルワーカーによる相談の実施 ※再掲(連番No.91・94) (継続的取組み)		指導課	・心理専門員2人、スクールソーシャルワーカー2人を配置し、学校と児童生徒、その保護者との連携や相談活動を行いました。 (相談件数:心理専門員360件、スクールソーシャルワーカー505件) ・発達や不登校、引きこもり等の悩みを抱えている児童生徒、またその保護者に対しての支援を行いました。また、学校や家庭との連携強化も図りました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・様々な体験活動を通して、児童生徒は、集団や社会の中で自分の役割を果たすことや、友人との人間関係などを実感として学ぶことができました。	・多くの体験活動を実施できる学校がある一方で、体験活動を実施するための人的資源や物的資源の確保が難しい学校もあることから、各校の有する人的・物的資源を共有していく必要があります。	3	・各校の有する人的・物的資源を共有していくための情報交換の機会を設定します。
・「小学校陸上大会」などに向けて、自分の通う学校だけでなく、他の学校の記録を交えた、より大きな目標に向けて挑戦していく態度を育むことができました。	・主体的・能動的な力の育成のために、学校だけでなく社会の中でも自分の役割を果たせる場の設定が必要です。	3	・今までの取組みを継承しながら、地域社会にある教育資源の発掘や有効活用を行っていきます。
・職業に関する学習や、体験活動、進路学習を行っていくことで、自分の生き方に通じる職業への関心が高まりました。	・教育効果を高めていくため、指導計画に教科横断的な視点を取り入れ、地域の方などの協力を得たりし、児童生徒の意識の高揚と、学習内容の充実の両立を図っていく必要があります。	3	・指導計画に教科横断的な視点を取り入れ、自己の能力を生かし社会に貢献していく資質能力を育む学びの充実を図る必要があります。
・職業体験やそれに代わる行事を通して、職業観の育成が図られ、主体的な態度や社会観が育成されました。	・社会体験チャレンジの実施に協力していただける事業所の確保が課題です。	3	・新規事業所への依頼を含めた事業所の確保等、学校の負担が増加しています。教育効果が損なわれないよう配慮しながら、事業の形を工夫していく必要があります。
・相談者に対し、多角的・多面的に指導、支援をすることができました。 ・相談者の孤立感を軽減させることができました。 ・相談内容によっては、他の支援者と連携し、問題解決につなげることができました。 ・小中学校相談員が連携を図ることで、中1ギャップの軽減につながりました。	・相談内容が個人情報のため、丁寧に扱う必要があり、本人の確認を取りながら進めるので、思ったようにすぐに問題解決には至らないことがあります。 ・児童生徒や保護者の悩みの主訴が解決されるよう、正確な情報を支援者間でつないでいくことが課題です。	3	・教育相談員のスキルの向上を目指し、講師を招いた研修会等を実施します。 ・正確な個人情報が連携していくことができるよう、作成した支援シート等を活用していきます。
・専門職を配置したことで、よりよい指導、支援を行うことができました。 ・相談者や学校に対し、多角的、多面的に指導、支援をすることができました。	・いじめや不登校、引きこもりの児童生徒やその保護者への支援の在り方を検討していく必要があります。	3	・児童生徒やその保護者にとって、よりよい支援につながる相談体制は継続しつつ、各専門職に適正な人数と、専門職間の支援内容の連携を更に検討し、課題・問題点を解決していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

施策 5 自立する力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	85	教育相談研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・教育相談員や適応指導教室指導員等の資質、能力の向上や、相談スキル向上を目指し、心理専門員等による教育相談研修会を実施しました。 「内容:保護者とのやりとりについて・教育相談のコツ」 (オンラインで1回実施、各校1名以上の教員と相談員、適応指導教室指導員が参加)
	86	生徒指導・教育相談中級研修会の開催 (継続的取組み)		指導課	・県立総合教育センターと共催で、教員対象に教育相談のカウンセリング技法を学ぶ研修会を行いました。 (8月2, 3, 4日の3日間開催) (参加者数21人)
4 いじめの防止対策の推進	87	学校の教育活動全体を通じての道徳教育の推進 ※再掲(連番No.54) (継続的取組み)		指導課	・道徳教育研究委員会を3回開催し、特別の教科道徳の視点での授業を充実させるため、校内研修のための実践事例を作成しました。 ・実践事例や久喜市独自教材等を活用できる「久喜市版道徳教育リーフレット」に掲載しました。
	88	ネットいじめやネットトラブルから子どもを守る啓発リーフレットの作成 (目標年度:令和4年度)		指導課	・啓発リーフレットの内容について、久喜市小・中学校校長会、久喜市PTA連合会と連携を図りながら検討を行い、啓発リーフレットを作成、配布しました。
	89	放射線等に関する発達段階に応じた指導 (継続的取組み)		指導課	・中学校学習指導要領の理科第一分野において放射線等に関する学習を行いました。また、放射線等に関する副読本を活用した学習を行い、児童生徒の発達段階に応じて放射線等の基本的な性質について理解を深めました。
	90	いじめの早期発見・早期対応・早期解決に向けた取組の推進 (継続的取組み)		指導課	・久喜市いじめの防止等のための基本方針をもとに各学校において、いじめアンケートや教育相談を実施し、児童生徒一人ひとりと面談する機会を設け、いじめの早期発見、早期対応を図りました。 ・久喜市いじめ問題対策連絡協議会を2回実施し、現状把握及びいじめの未然防止、早期発見に向けた取組みについて協議しました。 ・いじめの認知件数と解消率は、小学校では645件で77.1%、中学校は71件で85.9%でした。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・久喜市の課題である不登校児童生徒について、支援の方法や、不登校児童生徒の傾向別対応のヒントをもとに検討することができました。	・今後も年に2回研修会を実施し、相談員の資質、能力、スキル向上を目指す必要があります。	3	・相談員の相談スキルの向上をめざし、研修会の実施方法や回数を検討していきます。
・久喜市内小・中学校の教員採用3年次以降の教員の教育相談スキルを向上させることができました。	・より多くの教職員が相談技術を身に付けていくことができるように、呼びかけをしていくことです。	3	・各学校の研修未参加の教員に参加を促し、教職員の教育相談スキルを向上させていきます。
・授業改善につながる校内研修のための実践事例を作成、情報提供できました。 ・久喜市版道徳教育リーフレットを全教職員が活用できるようになりました。	・久喜市版道徳教育リーフレットを全教職員が効果的に活用できるようにしていく必要があります。	3	・久喜市版道徳教育リーフレットを効果的に活用できるよう、周知していくとともに、内容を深めていきます。
・啓発リーフレット「久喜市版3つのスマホルール」(小学校版・中学校版)を作成することができました。	・ホームページや保護者会等で、啓発リーフレットの内容について、児童生徒、保護者、地域に周知し、トラブルの未然防止や解決方法について理解をさらに深めていく必要があります。	A	・子どもたちがICTを適切、安全に使いこなすことができるよう、ネットリテラシーを含む情報活用能力の育成を推進していきます。
・放射線等に関する副読本を活用し、基本的な性質について理解を深めることができました。	・指導する教員にも正しい知識の習得が必要です。	3	・ICTを活用し、指導に有効となる資料や情報等を積極的に教員に提供していきます。
・いじめの未然防止とともに、早期発見、早期対応の大切さを認識し、組織的にいじめ問題に対応することができました。また、協議会では関係諸機関との連携のための情報提供をいただきました。	・いじめの解消に向けて取り組み中のものについても、継続して指導、支援を行っていくことが必要です。 ・各学校いじめ防止基本方針をもとに着実に取組みを実行できるよう、継続して点検していくことが必要です。	3	・いじめの未然防止や重大事態となることを防ぐよう、今までの良い取組みを継続して行っていくと同時に、各学校いじめ防止基本方針をもとに着実に取組みを実行できるよう、継続して点検していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

施策 5 自立する力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	91	心理専門員・スクールソーシャルワーカーによる相談の実施 ※再掲(連番No.84・94) (継続的取組み)		指導課	・心理専門員2人、スクールソーシャルワーカー2人を配置し、学校と児童生徒、その保護者との連携や相談活動を行いました。 (相談件数:心理専門員360件、スクールソーシャルワーカー505件) ・発達や不登校、引きこもり等の悩みを抱えている児童生徒、またその保護者に対しての支援を行いました。また、学校や家庭との連携強化も図りました。
5 不登校の防止対策の推進	92	不登校の解消を図る指導・支援体制の充実 (継続的取組み)		指導課	・適応指導教室4教室において、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心理専門員、適応指導教室室長・指導員等と連携を図り、必要に応じて子ども未来課等、福祉関係各課とも情報を共有し連携しながら、指導や支援を進めました。 (スクールソーシャルワーカー2人、スクールカウンセラー10人、心理専門員2人) (適応指導教室4教室、室長1人、指導員10人) ・年2回開催していた教職員向けの研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、年1回の実施となりました。
	93	適応指導教室指導員とスクールソーシャルワーカーによる家庭訪問指導、相談の実施 (継続的取組み)		指導課	・適応指導教室訪問指導員と訪問相談員が行っていた訪問指導と訪問相談を、適応指導教室指導員とスクールソーシャルワーカーとの連携の中で行いました。家庭に引きこもっている児童生徒、またその保護者に対しての支援を行いました。 (適応指導教室指導員10人・スクールソーシャルワーカー2人) 家庭訪問の対応件数5件
	94	心理専門員・スクールソーシャルワーカーによる相談の実施 ※再掲(連番No.84・91) (継続的取組み)		指導課	・心理専門員2人、スクールソーシャルワーカー2人を配置し、学校と児童生徒、その保護者との連携や相談活動を行いました。 (相談件数:心理専門員360件、スクールソーシャルワーカー505件) ・発達や不登校、引きこもり等の悩みを抱えている児童生徒、またその保護者に対しての支援を行いました。また、学校や家庭との連携強化も図りました。
6 非行・問題行動の防止対策の推進	95	学校・家庭・地域が一体となった積極的な生徒指導の推進 (継続的取組み)		指導課	・各学校で生徒指導推進委員会を実施し、学校・家庭・地域・関係機関との連携を図りました。 ・学校運営協議会等を中心に、学校・家庭・地域との連携を強化し、非行・問題行動の予防・根絶を図りました。 ・久喜市生徒指導推進委員会を1月に栗橋西中で開催し、市内の生徒指導の現状と課題について共有することができました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・専門職を配置したことで、よりよい指導、支援を行うことができました。 ・相談者や学校に対し、多角的、多面的に指導、支援をすることができました。	・いじめや不登校、引きこもりの児童生徒やその保護者への支援の在り方を更に検討していく必要があります。	3	・児童生徒やその保護者にとって、よりよい支援につながる相談体制は継続しつつ、各専門職に適正な人数と、専門職間の支援内容の連携を更に検討し、課題・問題点を解決していきます。
・様々な方面からの情報提供があり、各専門職が関わり情報を共有し、ケース会議等を行い、学校と各専門職や福祉関係等の支援者と連携を図り、効果的な不登校対策を推進できました。 〔令和4年度現状値〕 小学校68人(1.00%) 中学校187人(5.33%)	・個人情報の共有や交換を行うため、情報の取扱いには十分注意し、正しい情報を提供できるようにしていく必要があります。	3	・不登校や引きこもりの児童生徒やその保護者にとって、よりよい支援につながる支援体制は継続しつつ、各専門職に適正な人数と、専門職間の支援内容の連携を検討し、課題・問題点を解決していきます。
・引きこもりの児童生徒、またその保護者に対しての家庭訪問による相談や支援、その後の学習指導を行うことができました。また、適応指導教室への通級へとつなげることもできました。 ・社会的自立に向けた支援として、家庭訪問での相談や学習指導が必要な段階の引きこもりの児童生徒に対し、関係機関と連携し、学校生活以外のことにも相談にのるなど、広く支援を行うことができました。	・引きこもりだけでなく、ヤングケアラー・貧困等の問題を抱える児童生徒、またその保護者への支援や問題解決に向け、スクールソーシャルワーカーを今まで以上に積極的に活用する必要があります。	3	・スクールソーシャルワーカーがつなぎ役として家庭訪問等を行い、適応指導教室への通級等、自ら外に出て支援を受けに来る段階まで進めていきます。
・専門職を配置したことで、よりよい指導、支援を行うことができました。 ・相談者や学校に対し、多角的、多面的に指導、支援をすることができました。	・いじめや不登校、引きこもりの児童生徒やその保護者への支援の在り方を更に検討していく必要があります。	3	・児童生徒やその保護者にとって、よりよい支援につながる相談体制は継続しつつ、各専門職に適正な人数と、専門職間の支援内容の連携を更に検討し、課題・問題点を解決していきます。
・校内での情報共有や関係機関・地域との連携の中で、問題行動の早期発見を図ることができました。	・学校、家庭、地域、関係機関、それぞれの立場でできることや役割を明確にし、組織が連携して取り組んでいく必要があります。	3	・次年度も生徒指導推進委員会を開催し、組織的な連携の充実を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

施策 5 自立する力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	96	非行・問題行動の防止策の推進 (継続的取組み)		指導課	・久喜警察署、幸手警察署管内学校警察連絡協議会を開催しました。 ・市内小・中学校において、非行防止教室、薬物乱用防止教室を実施しました。
7 インクルーシブ教育体制の整備・充実	97	特別支援教育巡回指導、県立特別支援学校との連携 (継続的取組み)		指導課	・心理専門員や特別支援教育指導員を派遣し、対象児童生徒の支援方法について校内研修等、各校1回ずつ、それぞれ31回実施することができました。 ・特別支援学校のセンター的機能を活用し、巡回支援及び教育相談を実施しました。 (小学校24回、中学校7回)
	98	適切な就学支援の推進 ※再掲(連番No.104) (継続的取組み)		指導課	・障がい児就学支援委員会を4回開催し、委員会の意見を生かし、保護者と合意形成を図りながら適切な学習形態を選ぶよう支援しました。 ・未就学児・在学児童生徒について学校や関係機関と連携し、就学支援を進めました。 ・久喜市教育相談室を隔週水曜日に開設しました。 (就学相談件数:指導課84件、面接相談室58件)
	99	特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する指導方法の共通理解 (継続的取組み)		指導課	・個別の指導計画・支援計画の作成について「できること」を中心に記述するよう指導助言しました。 ・特別支援教育指導員を市内31校に派遣し特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する指導方法について助言を行いました。 ・支援学校と連携を図り、研修をオンラインで行いました。 ・特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修を3回実施しました。
	100	通級指導教室の運営の充実 (継続的取組み)		指導課	・年間活動計画を作成し各学校に啓発しました。 ・通級指導教室担当による在籍校訪問を実施し、各校との連携を強めました。 ・市教育委員会担当者と通級指導教室担当者の連絡会を3回実施しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・交通事故、非行問題行動の現状についての情報交換など、久喜警察署、幸手警察署との連携が強化されました。	・緊急事態や様々な事案に対応できるよう日頃から連携を密にし、情報を共有しておく必要があります。	3	・細やかな連携を図り、重大事案が起こった時だけでなく、日頃から児童生徒の健全な育成に努めていきます。
・臨床心理士による、より専門的な立場からの児童生徒の困り感や障がいの状況、その子に合った支援方法、教育的ニーズは何かについて、指導・助言を得ることができました。 ・特別支援学校のセンター的機能の活用回数が増えました。	・モデル授業を基に特別支援学級の優れた実践を各校に広げるなど、授業の改善を図ることが必要です。	3	・特別支援学校のセンター的機能について、校長会や特別支援教育コーディネーター研修等で周知し、活用を推進していきます。
・776人の未就学児、小・中学校児童生徒の就学について、障がい児就学支援委員会で審議され、適切に就学先を決めることができました。	・児童生徒数が減少している中、支援を必要とする児童生徒が増加しているため、支援体制の整備が必要です。	3	・障がい児就学支援委員会の内容を精選し、丁寧に審議できるようにします。 ・関係機関と連携し適切な就学支援を行えるよう体制を整備します。
・特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援の仕方の具体的な手立てを考える機会となりました。	・児童生徒の見立てについて多面的な理解ができるようにすることや、その子の特性に合わせ、得意なところを伸ばす指導の工夫に視点を当て指導方法を工夫改善することが必要です。	3	・市内全特別支援学級に特別支援教育指導員を派遣し、授業改善や環境づくり、児童生徒の見立てなどの指導・助言を行う体制づくりをします。
・通級指導教室に係る事務処理の手続きに年間活動計画が入ったことで1年間の見通しや共通理解が保護者と在籍校で図れるようになりました。	・通級指導教室への相談人数が増えている中、時間割の組み方や教育相談対応の児童への適切な支援について改善する必要があります。	3	・時間割の工夫や通級指導教室の増設の方向で検討するなど、指導体制を整えていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 5 自立する力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	101	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援の充実 (継続的取組み)		指導課	・教育活動指導員49人、教育活動支援員11人、教育活動看護支援員1名を適切に小・中学校に配置し、児童生徒への個別の支援を行いました。
	102	支援籍学習の充実 (継続的取組み)		指導課	・特別支援学校の児童生徒26名が各小・中学校での支援籍学習に円滑に取り組めるよう、連絡調整を行いました。 ・特別支援学校の児童生徒の保護者に案内する際に、支援籍交流について説明し、良さを伝えました。
	103	「個別の支援計画・指導計画」の作成と活用の推進 (継続的取組み)		指導課	・「個別の支援計画・指導計画」の作成の仕方について、特別支援教育指導員を指導助言のために派遣しました。 ・記入上の留意点や記入例を小・中学校の特別支援教育コーディネーターに配布し研修会の中で説明しました。また、定例校長会・教頭会でも管理職に内容を知らせました。
8 就学支援・相談の充実	104	適切な就学支援の推進 ※再掲(連番No.98) (継続的取組み)		指導課	・障がい児就学支援委員会を4回開催し、委員会の意見を生かし、保護者と合意形成を図りながら適切な学習形態を選ぶよう支援しました。 ・未就学児・在学児童生徒について学校や関係機関と連携し、就学支援を進めました。 ・久喜市教育相談室を隔週水曜日に開設しました。 (就学相談件数:指導課84件、面接相談室58件)
	105	心理専門員による相談・検査の実施 (継続的取組み)		指導課	・心理専門員を配置し、課題のある児童生徒、また、その保護者に対しての相談、助言を行いました。その際、必要がある児童生徒に対しては、発達心理検査等を行い、児童生徒のよりよい成長と、保護者と学校への支援を行いました。 (心理専門員2名、相談・検査等対応件数23件、巡回指導31校44回)
9 日本語指導の推進	106	小・中学校に在籍する外国籍児童生徒の日本語指導の推進 (継続的取組み)		指導課	・小学校10校、中学校5校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒36名を対象に6名の日本語指導員を配置し、個々のレベルに応じて指導を行いました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・コロナ禍で、感染拡大防止策を講じながらの教育活動を行う上で、より丁寧な個別の支援を行うことができました。	・小・中学校では個別の支援が必要な児童生徒が増え、学校や保護者からの要望もあるため、教育活動指導員・教育活動支援員の増員を検討していく必要があります。	3	・児童生徒が安心・安全で適切な支援を受けられるよう教育活動指導員を増やすための働きかけを続けていきます。
・児童生徒が支援籍学習に参加することで、地元の小・中学校とのつながりを自覚し、自立する力をはぐむことができました。	・中学校での支援籍学習の実施が少ないことが課題です。	3	・就学相談で支援籍学習を紹介し、中学生の実施の効果を保護者や学校に広めるなどインクルーシブ教育を推進します。
・特別支援学校に在籍する児童生徒への作成は100%となりました。 ・「できること」を中心に記入すること、保護者への公開、共通理解が図れるように配慮することなど啓発することができました。	・通常学級に在籍する支援が必要な児童生徒の個別の支援計画・指導計画の作成と活用が必要です。	3	・教育活動指導員・教育活動支援員が支援する児童生徒に対しては、通常学級の場合にも個別の支援計画・指導計画を作成するよう進めていきます。
・776人の未就学児、小・中学校児童生徒の就学について、障がい児就学支援委員会で審議され、適切に就学先を決めることができました。	・児童生徒数が減少している中、支援を必要とする児童生徒が増加しているため、支援体制の整備が必要です。	3	・障がい児就学支援委員会の内容を精選し、丁寧に審議できるようにします。 ・関係機関と連携し適切な就学支援を行えるよう体制を整備します。
・課題のある児童生徒、またその保護者に対して相談・助言をし、児童生徒の成長や生活に対してのアドバイスを行うことができました。 ・発達心理検査等を行うことで、児童生徒、またその保護者、学校への支援につなげることができました。	・小・中学校に配置されている県費のスクールカウンセラー（臨床心理士）の活用をする前に、久喜市心理専門員への依頼が多くなっていたので、臨床心理士の活用に関するマニュアル等を整えました。まだ、浸透していないので、実践しながら活用していく必要があります。	3	・令和元年度から、小学校にも県費のスクールカウンセラーが配置されたため、「教育相談のリーフレット」を作成し、相談の流れ（臨床心理士の活用順）について明記しました。また、教育相談についてのガイドラインを作成したので、実践、活用し、各専門職の活用の流れを整えていきます。
・個別指導を基本とした丁寧な指導を積み重ねることにより、「話すこと」「読むこと」については、多くの児童生徒に大きな成果が見られました。	・漢字や文章を書くことについては、更なる指導の工夫や時間の確保が必要です。 ・中学校については、教科書や授業の内容を理解するための学習言語の習得に向けた指導が課題です。	3	・外国籍児童生徒は、これから更に増えていくことが予想されるため、指導の効率化及び実践的な指導の充実はもとより、指導員の増員も検討していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 5 自立する力をはぐくむ教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	107	ユニバーサルデザインの授業の推進 (継続的取組み)		指導課	・ユニバーサルデザインの授業に向けて校内研修が推進されました。 ・特別支援教育の夏季研修において、インクルーシブ教育やユニバーサルデザインについての研修を実施しました。
10 教育センターの整備	108	就学相談・発達相談の充実 (継続的取組み)		指導課	・特別支援教育や生徒指導など、教育相談に係る情報を共有できるようにしました。 ・特別支援教育と生徒指導の担当指導主事を同じチームとして業務を行う組織にしました。 ・心理専門員、特別支援教育指導員を配置し、就学相談や発達相談を実施しました。
	109	関係機関との連携 (継続的取組み)		指導課	・幼稚園、保育所、認定子ども園、保健センターや障がい者福祉課、子ども未来課、県立特別支援学校、放課後等デイサービス、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心理専門員、特別支援教育指導員、ことばの教室指導員等、必要に応じて相談ができるよう体制を整えるとともに、情報共有等を行い、連携を図りました。
	110	教職員研修の実施 (継続的取組み)		指導課	・教職員の資質能力の向上を図るため、オンラインを活用して、各種研修会を実施しました。 (参加者数:通級指導1回31名、ICT活用12回延べ303人、ミドルリーダー4回延べ156人、校長先進校視察1回31人) ・通年で各小・中学校の校内研修支援を実施しました。(年間31回)

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実
 施策 6 安全教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 児童生徒の危機回避能力の育成	111	実践的な災害対策訓練の実施支援 (継続的取組み)		指導課	・実践的な対策訓練として、災害図上訓練DIG(大きな地図をみんなで囲み、経験したことのない災害をイメージして地域の課題を発見し、災害対応や事前の対策などを検討するための手法)を実施しました。(清久小、東鷲宮小、栗橋南小、久喜北小にて各1回実施)
	112	「共助」の精神をはぐくむ安全教育の推進 (継続的取組み)		指導課	・安全教育年間指導計画に沿って、計画的に安全教育を推進しました。 ・災害図上訓練DIG、避難訓練、引渡し訓練等、保護者と地域とともに、研修会を行いました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・特別支援教育の夏季研修において、インクルーシブ教育やユニバーサルデザインについての研修を実施したことで、教職員の理解を深めることができました。	・誰一人取り残さない授業の実現に向けた、個に応じた授業改善が課題です。	3	・久喜市内の小・中学校で広く実践されていくように、各小・中学校と共に授業研究等を行っていきます。
・教育相談や生徒指導関係、就学相談関係の情報が共有化できるような体制が整備されました。 ・就学相談や発達の相談に対し、4人体制で相談を行うことができ、業務の効率化が図られました。	・個のニーズに応じた相談体制の整備と相談を受ける職員のスキルの向上を図ることが必要です。	3	・教育センター設置に向けて人、モノ、施設の整備を前進させます。
・就学相談や教育相談の際、必要に応じて関係機関と連携した相談を進めることができました。	・相談ケースに応じて円滑に関係機関と連携を図ることができる体制整備が必要です。	3	・関係機関及び関係職員が、円滑に連携できる体制整備を進めます。
・教職員の資質能力の向上を図ることができました。	・これまで実施してきた研修を見直し、キャリア段階や教職員の特質・関心に応じ体系化された研修計画の実施、改善と、NEXTGIGAを見据えた研修の提供が必要です。	3	・これまで実施してきた研修を抜本的に見直し、キャリア段階や教職員の特質・関心に応じ、研修計画全体を整理・体系化するとともに、改善を図ります。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・災害図上訓練DIGを取り上げ、研修を行うことで、学校に取組みを広げることにつながりました。 ・学校での取組みが家庭、地域に広がり、地域一体で実践的な災害対策訓練を実施することができました。	・児童と保護者だけでなく、地域と連携した取組みになることが望まれます。	3	・今後は、実践的な災害対策訓練の実施校を市内全校に拡大していけるよう努めます。
・児童生徒の防災意識の向上につながり、「共助」の精神の高まりが見られました。 ・保護者、地域とともに災害図上訓練DIGを行ったことで、近隣の方の間にも「共助」の精神の高まりが見られました。	・実践行動につながるよう、学校、家庭、地域の連携の強化が必要です。	3	・学校が核となり、地域社会への「共助」の精神を育んでいけるよう連携強化に努めていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 2 「総合的な人間力」を育成する学校教育の充実

施策 6 安全教育の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
2 交通安全教育の充実	113	児童生徒の交通安全意識の向上 (継続的取組み)		指導課	・交通安全教室の実施状況の点検をしました。(各校年1回) ・学校便り、学年便り、朝会等で交通事故防止についての啓発を行いました。 ・長期休業日前には、交通事故等安全に気をつけるよう確認をしました。
3 学校の危機管理体制の整備・充実	114	危機管理マニュアルの整備・改善 (継続的取組み)		指導課	・文科省で作られた「生きる力をはぐくむ安全教育」の資料を学校に周知し、従来の危機管理マニュアルを見直しました。 ・組織として機動的に対応できる救急及び緊急連絡体制を整え、危機管理体制を整備しました。
4 防災に係る教職員の研修の実施	115	学校における危機管理能力の向上 (継続的取組み)		指導課	・様々な災害に対する危機管理について、各学校の実態に合わせた研修を行いました。 ・心肺蘇生法(AED)研修や、地域の危険箇所等を情報交換し、危機管理能力を高めるための研修を行いました。(市内各学校1回実施)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・交通安全教室を開催し、横断の仕方や自転車の乗り方の指導を行ったことにより、登下校を含む学校生活での安全意識が向上しました。	・管理外での自転車事故が発生しており、自転車事故防止への取り組みが必要です。	3	・交通安全教室、便り、朝会等での啓発だけでなく、授業等教育活動の中でも啓発を進めていきます。
・危機管理マニュアルの見直しを働きかけたことで、より実践的なマニュアル整備につながりました。	・より実践的なマニュアルとなるよう、引き続き見直し、整備が必要です。	3	・今後も、マニュアルの見直しを定期的に行い、危機管理に努めます。
・学校の実態を踏まえ、新しい視点で研修計画を立て、様々な災害や事故を想定した研修を実施したことが、教職員の危機管理能力の向上につながりました。	・地震、火災、不審者等危機管理能力を高めるだけでなく、洪水等その他の防災についても危機管理能力を高めていく必要があります。	3	・防災に係る研修や実践の工夫、充実に努め、教職員の危機管理能力の向上を図ります。

基本目標3

信頼される学校づくりの推進

基本目標の概要

教職員の指導力の向上、家庭・地域との連携の強化、教育環境の整備を推進し、家庭や地域から信頼される学校づくりに努めます。

施策

- 1 教職員の資質・能力の向上
- 2 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
- 3 安全の確保
- 4 学校の適正規模・適正配置の推進
- 5 学校施設・設備の整備・充実
- 6 学校給食の充実

6つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 1 9 ○数値目標 2 ○取組み 4 5

担当課

○教育総務課 ○学務課 ○学校給食課 ○指導課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全2件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	1	50.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	1	50.0%

継続的 取組み (全40件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	1	2.5%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	3 9	97.5%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%

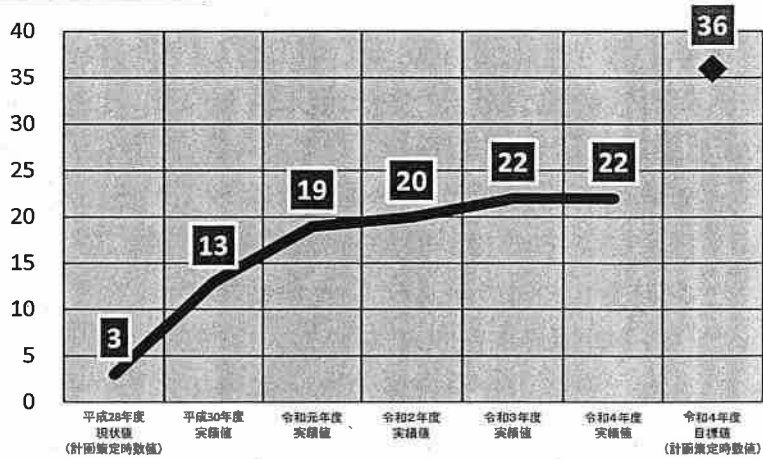
目標年度が 設定された 取組み (全5件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	3	60.0%
	C	計画より遅れている	2	40.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

- 地元農産物を取り入れた学校給食食材の割合については、令和4年度は目標値を大きく上回る過去最高値となっている。地元の農産物を取り入れる工夫、関係者の協力が得られた結果であろう。
- 教職員研修の充実について、久喜市では、服務に関する研修や不祥事防止の研修などを継続的・計画的に行っている。学校は安全・安心であることが大前提であるので、保護者や地域の信頼に応えるためにも、研修の仕方や内容を工夫して取り組んでいただきたい。
- 安全監視員の配置について、市内全小学校に安全監視員が配置されていることは、児童の安全確保に大いに寄与している。安全の確保への取組みを継続・充実していただきたい。
- 校内研修の活性化の指導・支援について、これまでの学校訪問では代表が研究授業を行い、学校の研究テーマについて発表していたが、効果的な研修とするために、この形式を変えていく必要もあるのではないかな。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現のための校内研修となるように、基礎的・基本的な知識・技能を活用する単元計画になっているか、コミュニケーションの在り方の変化に対応した対話的な学びとなっているか等を指導していただきたい。
- 1人1台のChromebookを活用した学習の推進について、修理が大変ではないか。端末の修理には時間も費用もかかるので、契約方法ややり方を見直していく必要があると思う。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調査

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進
 施策 5 学校施設・設備の整備・充実
 具体的施策 1 学校施設の非構造部材の耐震化の推進

数値目標名	校舎及び屋内運動場等の非構造部材の落下防止対策をした施設数	担当課	教育総務課
単位	施設	達成率	61.1%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	3	達成度	D
平成30年度 実績値	※1 13(9)	推移グラフ	
令和元年度 実績値	※1 19(6)		
令和2年度 実績値	※1 20(1)		
令和3年度 実績値	※1 22(2)		
令和4年度 実績値	※1 22(0)		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	※2 36		

※1 実績値は、平成28年度からの延べ件数です。カッコ内の数値は、単年度の実績値です。

※2 菖蒲南中学校が令和4年3月31日付けで教育財産としての用途を廃止(廃校)したことから、当初の令和4年度目標値(計画策定時数値)37を36に変更したものです。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進
 施策 6 学校給食の充実
 具体的施策 3 食育の推進

数値目標名	地元農産物を取り入れた 学校給食食材の割合	担当課	学校給食課																
単位	%	達成率	168.8%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	15.2	達成度	A																
平成30年度 実績値	17.1	推移グラフ	<table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>15.2</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>17.1</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>22.3</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>20.7</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>18.3</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>28.7</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>17</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	15.2	平成30年度 実績値	17.1	令和元年度 実績値	22.3	令和2年度 実績値	20.7	令和3年度 実績値	18.3	令和4年度 実績値	28.7	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	17
年度	数値																		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	15.2																		
平成30年度 実績値	17.1																		
令和元年度 実績値	22.3																		
令和2年度 実績値	20.7																		
令和3年度 実績値	18.3																		
令和4年度 実績値	28.7																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	17																		
令和元年度 実績値	22.3																		
令和2年度 実績値	20.7																		
令和3年度 実績値	18.3																		
令和4年度 実績値	28.7																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	17.0																		

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

施策 1 教職員の資質・能力の向上

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 教職員研修の充実	116	服務出前研修の実施 (継続的取組み)		指導課	・夏季休業期間を中心に指導主事が市内小・中学校に出向き、各学校の教職員を対象に服務規律の徹底や不祥事根絶に関する内容の研修を実施しました。 (31校全てで実施・参加者数725人)
	117	ミドルリーダー研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・ミドルリーダーの資質や能力の向上を目指し、市内校長31名が講師となる研修会を36回(全体研修2回、テーマ別研修24回の4テーマ)実施しました。 (参加者数33人)
	118	臨時的任用教職員服務研修の実施 (継続的取組み)		指導課	・教職員としてのあるべき姿や服務規律の徹底などに関する内容の研修を2回実施しました。 (2回とも資料を配付。参加者数①4月:107人、②12月:107人)
	119	校内倫理確立委員会の充実のための市内小・中学校への指導の実施 (継続的取組み)		指導課	・校内で倫理確立委員会を開催し、計画的に教職員事故の事例や教職員としての勤務の在り方について話し合い、教職員としての倫理観を高めるよう、校長会や教頭会、学校管理訪問等において指導しました。
2 校内研修の活性化の指導・支援	120	市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問の実施 (継続的取組み)		指導課	・市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問を全31校で実施しました。
	121	教育委員会指導課学校訪問の実施 (継続的取組み)		指導課	・市教育委員会研究委嘱の指導・助言のための指導課訪問を研究委嘱校の13校で実施しました。
4 教職員の健康管理・メンタルヘルスの推進	122	教職員の健康管理のための健康診断の実施、健康相談の充実及び安全衛生管理体制の推進 (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に教職員定期健康診断を3会場で実施しました。また、結核の早期発見のための検査業務も実施しました。 (受診者295人) ・全小・中学校で健康管理医による教職員の健康相談・健康指導を実施しました。 ・養護教諭のB型肝炎の検査を実施しました。(該当者8人) ・全小・中学校の実働教職員(726人)に対して、ストレスチェックを実施しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・教職員が職責や服務遵守の重要性について改めて実感することができました。	・不祥事根絶が喫緊の課題であることから、研修を継続して行う必要があります。	3	・市内すべての小・中学校で服務出前研修を行います。
・全体研修の他、校内研修における役割、校務分掌主任としての役割など、テーマごとに研修を行い、理解が深まりました。 ・ディスカッションを通して、ミドルリーダーとしての自覚が高まりました。	・ミドルリーダーのさらなる活躍が期待されるため、研修生の実態に合わせ、研修会の内容をより一層充実する必要があります。	3	・研修会への参加を呼びかけるとともに、講師となる市内校長31名と協議し、研修内容を充実するようにします。
・公務員として服務規律を遵守することの重要性や職責の重さ、臨時的任用教職員の任用条件等についての理解が深まりました。	・経験年数の浅い臨時的任用教職員も多数いるため、研修を継続して行う必要があります。	3	・不祥事根絶のために、特にわいせつ・ハラスメント・体罰・交通事故・会計事故等の具体的な事例を取り上げた研修を、年2回継続して行います。
・教職員が教育公務員としての倫理観を高めるとともに、責任と使命を強く自覚することができました。 ・資料の整理と指導内容を記録し、指導の徹底を図ることができました。	・各学校の教職員の実態に合わせ、校内倫理確立委員会の内容をより一層充実する必要があります。	3	・校長会や教頭会と連携し、教職員の実態に合わせた事例を取り上げる等、校内倫理確立委員会の内容をより一層充実できるようにします。
・全教職員による公開授業及び研究授業において、ICTの効果的な活用をはじめとする授業の工夫改善が進められ、教職員の指導力向上を図ることができました。	・より質の高い教育を提供するためには、教職員の授業力向上は必須であり、より一層充実する必要があります。	3	・全小・中学校で市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問を実施します。 ・指導を担当する指導主事の指導力向上を図ります。
・各校の取組みについて情報交換・共通理解を図ることで、今後の学校教育のあり方について研究を推進することができました。	・研究内容を効率的かつ効果的に共有する体制づくりと、研究の成果を柔軟に広める形態づくりが課題です。	3	・ICTを活用してより効率的・効果的な共有の方策を研究します。
・人間ドック受診者等を除く全職員が健康診断を受診することができ、また健康管理医による保健指導や健康相談、疾病予防及び健康管理医による相談事業の充実が図られました。 ・教職員の心の健康の保持増進・予防のため、心理的な負担の程度を把握できました。	・今後は教職員の心身の健康増進を図ることが課題です。	3	・教職員の心身の健康増進支援のため、健康診断やストレスチェック等の整備を進めていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

施策 1 教職員の資質・能力の向上

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	123	スクール・サポート・スタッフの配置 (継続的取組み)		指導課	・働き方改革推進のため24校(久喜小、太田小、清久小、本町小、青葉小、青毛小、久喜東小、江面小、小林小、三箇小、菖蒲東小、栗橋西小、栗橋南小、栗橋小、鷺宮小、桜田小、東鷺宮小、久喜中、久喜東中、太東中、菖蒲中、栗橋西中、鷺宮中、鷺宮西中)に、スクール・サポート・スタッフを配置しました。

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

施策 2 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 学校運営協議会の活動の充実	124	各学校における学校運営協議会への指導・支援の実施 (継続的取組み)		指導課	・各指導主事が、担当校の学校運営協議会へ参加しました。 (31回参加)
	125	学校運営協議会委員の研修会の実施 (継続的取組み)		指導課	・年間1回の全体研修会を実施し、代表校の実践発表を通して知見を深めました。 (市内全小・中学校参加)
3 学校・家庭・地域の連携強化による学校マネジメントの推進	126	家庭・地域への学校の取組の積極的な公開の実施 (継続的取組み)		指導課	・学校のホームページや学校だより等を活用して、情報発信を実践しました。学校行事や土曜参観等において、学校の公開を行いました。
	127	地域学習の計画的・継続的な実施 (継続的取組み)		指導課	・道徳や総合的な学習の時間、家庭科等において、ゲストティーチャーとして、学校応援団の方が、専門的な指導・支援を行いました。

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

施策 3 安全の確保

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 防犯対策の充実	128	防犯カメラの活用及び小学校安全監視員の配置 (継続的取組み)		学務課	・市内全小学校に安全監視員を配置し、立哨や校内巡回を実施することで、学校内における児童の安全確保に努めました。 (市内小学校21校各1人配置) ・市内全小・中学校に設置した防犯カメラでの監視により、学校内における児童生徒の安全確保に努めました。また、不具合が生じた防犯カメラを適正に作動させるため、修繕を行いました。 (修繕箇所1箇所)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・令和3年度と令和4年度の時間外勤務を比較した結果、一か月当たりの総勤務時間数が平均6%以上減少しました。 ・校内の消毒作業等を教員に代わり、スクール・サポート・スタッフが実施することで、教員の教材研究等の時間確保につながり、学校から大変有効に活用できたとの報告がありました。	・市内の教職員の負担感の軽減、働き方改革の推進のために、限られた人的予算の中でスクール・サポート・スタッフの配置を継続的に取り組んでいくことが課題です。	3	・スクール・サポート・スタッフの配置に継続的に取り組み、市内の教職員の負担感を軽減することにより、働き方改革を推進していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各校での取り組みや様子を把握するとともに、他校の実践等について情報提供することができました。	・各校の学校運営協議会が充実してきているため、久喜市学校運営協議会推進計画を見直すことが考えられます。	3	・更なる学校運営協議会の充実を目指し、久喜市学校運営協議会推進計画の見直しを行います。
・各校の取り組みを情報交流することができました。 ・学校運営に対して適切な助言をいただくことができました。	・各校の取り組みを共有する機会を充実する必要があります。	3	・他校の学校運営協議会に参観者として参加したり、各校の研修資料を共有するフォルダやクラスルームを設け、他校の資料を見られるようにしたりします。
・ホームページや学校だより等を通じて、学校の教育活動について積極的な情報発信ができました。 ・ホームページの更新回数が増え、内容も充実してまいりました。	・各校のホームページの更新内容に差があります。	3	・各校及びホームページ提携会社と連携し、内容を充実させます。
・地域に対する興味関心を高めることができました。 ・学習する内容がより身近になり、主体的な学びの推進に寄与することができました。	・地域によって協力いただける人材の確保が難しい場合があります。	3	・学校運営協議会や学校応援団等と連携し、学校区の枠を超えて、人材や好事例を共有していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・小学校安全監視員が立哨や校内巡回を実施することで、児童の安全確保に寄与することができました。 ・不具合が生じた防犯カメラの修繕を行い、適正な見守り体制を図ることで、児童の安全確保に寄与することができました。	・安全監視員の高齢化が進んでいるため、新たな人材を確保する必要があります。 ・平成27年度に防犯カメラを設置後、年数が経過していることから、計画的に防犯カメラの交換を行っていく必要があります。	3	・今後も引き続き、市内小学校に安全監視員を配置し、校内での教育活動中の児童の安全確保を図っていきます。 ・防犯カメラの適正な維持管理に努めていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

施策 3 安全の確保

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	129	市職員による通学路巡回/パトロールの実施 (継続的取組み)		学務課	・児童生徒の下校時間帯(午後3時から午後4時)に市職員による巡回/パトロールを実施し、下校時における児童生徒の安全確保に努めました。
	130	防災行政無線による帰宅を促す放送の実施 (継続的取組み)		学務課	・夕方に防災行政無線による児童生徒の帰宅を促す放送を実施し、児童生徒が安全に帰宅できるように努めました。
	131	不審者等に関する情報を関係機関に提供 (継続的取組み)		学務課	・不審者等に関する情報を学校・保護者・関係機関に提供し、注意を促すことで、児童生徒の安全確保に努めました。 (情報提供件数28件)
2 交通安全対策の充実	132	通学路の安全点検の実施、通学路の整備の推進 (継続的取組み)		学務課	・通学路の危険箇所の把握を行うよう各学校に指示しました。 ・関係各課へ通学路の危険箇所に関する情報提供を行い、通学路の安全確保を図りました。
	133	スクールバスの運行 (継続的取組み)		学務課	・「久喜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、江面小学校及び菖蒲中学校においてスクールバスを運行し、児童生徒の登下校における安全確保に努めました。
3 施設・設備の安全対策の実施	134	施設・設備の安全対策の実施 (継続的取組み)		学務課	・児童生徒が安全に遊具を使用できるよう、遊具の定期点検を行いました(使用禁止と判定された遊具については撤去を行いました)。また、予算の範囲内で、計画的に新たな遊具の設置を行いました。 (設置件数4件、撤去件数5件)
4 小・中学校等放射線量測定の実施	135	小・中学校等の空中放射線量等の測定 (継続的取組み)		学務課	・小・中学校において、空間放射線量の定点測定(9箇所)と局所的に放射線量が高いと予想される箇所(24箇所)の放射線量の測定を実施しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・巡回パトロールを実施することで、犯罪抑止効果を高め、児童生徒の安全確保に寄与することができました。 ・不審者情報があった場合は当該箇所を重点的に巡回するなど、児童生徒の安全な下校環境の確保に寄与することができました。	・不審者情報が寄せられた箇所への対応など、限られた時間で、効果的に通学路を巡回する必要があります。	3	・今後も引き続き、通学路の巡回パトロールを実施し、児童生徒の安全な下校環境の確保を図っていきます。
・児童生徒の帰宅を促す放送を実施することで、帰宅時における児童生徒の安全確保に寄与することができました。	・文章の区切り方や間のあけ方を工夫し、放送が反響しないようにする必要があります。	3	・今後も引き続き、防災行政無線による帰宅を促す放送を実施し、帰宅時における児童生徒の安全確保を図っていきます。
・不審者情報を学校等に提供し、学校内での注意喚起、市職員による巡回パトロールでの注意喚起に役立て、児童生徒の安全確保を図ることができました。	・不審者等に関する情報については、その内容に応じて、関係する地域の学校等に迅速に提供する必要があることから、より効率的な伝達方法について常に研究していく必要があります。	3	・今後も引き続き、不審者等に関する情報を関係機関に提供し、注意喚起をすることで、児童生徒の安全確保を図っていきます。
・通学路の危険箇所について、関係課と連携、情報共有を行い、通学路の安全確保を図ることができました。	・道路管理者が異なっている場合、迅速な対応が難しいため、関係機関との連携を図っていく必要があります。	3	・児童生徒の通学時の安全を確保するため、今後も引き続き関係課と連携を図り、通学路の安全対策の充実に努めます。
・児童生徒の通学について、安全確保を図ることができました。	・江面小学校スクールバスの添乗員として任用している安全監視員の高齢化や人材確保が困難な状況が続いているため、業務委託を実施するなど新たな人材を確保する必要があります。	3	・添乗員については、令和5年度からシルバー人材センターへの委託としました。 ・今後も引き続きスクールバスの運行を実施し、受注者や学校等と連携を図り、児童生徒の通学時の安全確保を図っていきます。
・令和元年度に実施した点検結果で使用禁止と判定された遊具を令和2年度に撤去し、令和3年度に引き続き令和4年度においても新たな遊具を設置することで、児童生徒が安全に遊具を使用できる環境を整えることができました。	・点検により使用禁止と判定された多くの遊具を撤去したため、順次、新たな遊具を設置していく必要があります。	3	・今後も児童生徒が安全に遊具を使用できるよう、引き続き点検を行い、点検結果に応じた対策を行うとともに、遊具を撤去した学校に、順次、遊具を設置していきます。
・全ての箇所における測定結果は、毎時1マイクロシーベルト未満であり、子どもたちが安心して生活できる環境であることを確認することができました。	・測定結果が非常に低い値で安定していることから、事業の実施方法等について、引き続き検討する必要があります。	3	・令和5年度以降は年2回の測定とします。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

施策 3 安全の確保

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	136	プール水及びプールに堆積した汚泥の放射線量の測定 (継続的取組み)		学務課	・プール学習を実施する小・中学校において、プール水の放射線量の測定を年1回実施しました。

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

施策 4 学校の適正規模・適正配置の推進

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 学校の適正規模・適正配置の推進	137	学校統廃合等の検討に関する説明会の開催 (目標年度:令和7年度)		学務課	・本町小学校の学校統廃合等の方向性に関する説明会等を保護者や地域住民を対象に実施しました。 (9回開催、参加者数延べ214人)
	138	市立小・中学校学区等審議会の開催 (目標年度:令和7年度)		学務課	・審議会を年5回開催し、小林小学校及び栢間小学校の通学区、「久喜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」の改訂、本町小学校の学校統廃合等の方向性に関する審議を行いました。
	139	新校設立準備委員会の開催 (目標年度:令和6年度)		学務課	・鷺宮西中学校区における義務教育学校設立準備委員会を設置し、統合による新校の基本的事項などについて検討を進めました。(会議開催回数:4回) ・検討結果について、「統合だより」の配布などにより、保護者や地域住民等の関係者に周知を図りました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・プール水からセシウムは検出されませんでした。	・測定結果が非常に低い値で安定していることから、事業の実施方法等について、引き続き検討する必要があります。	3	・プール水の放射線量について、年1回の測定を行います。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・本町小学校及び久喜北小学校については、保護者や地域住民を対象として、関係学校などで説明会等を実施し、学校統廃合の方向性に対して認識を深めていただきました。	・小林小学校については、保護者等から意見を伺いながら、統廃合の具体的な方法を示し、理解を深めていただく必要があります。	B	・本町小学校及び久喜北小学校については、施設整備のスケジュールが整い次第、関係学校の保護者や地域住民への説明会や意見交換の機会を増やしていく考えです。 ・小林小学校の統廃合等の検討についても、説明会等を適宜開催していきます。
・小林小学校及び栢間小学校の通学区域の見直し案に関して審議し、地域性や通学環境などを総合的に勘案し、適当であるとの答申をいただくことができました。 ・「久喜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」の改訂について審議し、答申をいただくことができました。 ・本町小学校の学校統廃合等の検討について審議し、「本町小学校と久喜北小学校の統合が必要となった場合は、新校の位置を現在の本町小学校の位置とする」との答申をいただくことができました。	・小林小学校に関する統廃合等の検討については、関係学校の保護者等の共通理解を図っている段階で、継続審議中です。	B	・現在諮問している学校統廃合等の検討対象校1校(小林小学校)について、今後、審議を進めていく予定です。
・鷺宮西中学校区における義務教育学校については、令和8年4月の開校に向けた準備を進めることができました。	・今後、新校の校章・校歌に関する検討や、開校に向けた準備などを円滑に進め、子どもたちの教育環境を十分に整える必要があります。	B	・鷺宮西中学校区における義務教育学校設立準備委員会については、開校に向けて各種の検討を進めていく予定です。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

施策 5 学校施設・設備の整備・充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 学校施設の非構造部材の耐震化の推進	140	非構造部材の耐震化の実施 防災機能の強化 ※再掲(連番No.141) (目標年度:令和5年度)		教育総務課	・屋内運動場の照明器具やバスケットゴールなどの落下防止対策として、改修工事を行うための設計を実施しました。 【対象施設】 ・設計 太田小学校、青葉小学校、東鷲宮小学校、菖蒲中学校、栗橋西中学校、鷲宮西中学校
2 学校施設の計画的な改修	141	非構造部材の耐震化の実施 防災機能の強化 ※再掲(連番No.140) (目標年度:令和5年度)		教育総務課	・屋内運動場の照明器具やバスケットゴールなどの落下防止対策として、改修工事を行うための設計を実施しました。 【対象施設】 ・設計 太田小学校、青葉小学校、東鷲宮小学校、菖蒲中学校、栗橋西中学校、鷲宮西中学校
	142	校庭の整備 (継続的取組み)		教育総務課	・緑豊かな教育環境の向上を図るため、前年度までに芝生化した学校の校庭について、維持管理を実施しました。 【対象施設】 桜田小学校
	143	バリアフリー化の推進 (継続的取組み)		教育総務課	・栗橋小学校大規模改造工事及び鷲宮東中学校大規模改造工事において、多目的トイレを設置しました。 ・鷲宮東中学校大規模改造工事において、スロープを設置しました。 ・久喜北小学校スロープ設置工事及び鷲宮西中学校体育館スロープ設置工事において、スロープを設置しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・太田小学校ほか5校の設計業務が完了し、工事の準備ができました。	・改修工事にあたっては、小・中学校の授業や行事等を考慮して、余裕のある工期の設定に努める必要があります。	C	・改修工事未実施の小学校11校及び中学校3校について、実施に向けて関係部局と協議し、設計業務及び工事を行っていきます。
・太田小学校ほか5校の設計業務が完了し、工事の準備ができました。	・改修工事にあたっては、小・中学校の授業や行事等を考慮して、余裕のある工期の設定に努める必要があります。	C	・改修工事未実施の小学校11校及び中学校3校について、実施に向けて関係部局と協議し、設計業務及び工事を行っていきます。
・緑豊かな校庭で、教育環境の向上を図ることができました。	・芝生化施工後の維持管理を要するため、新規に芝生化を希望する学校が少ない状況です。	3	・子どもたちがみどりにふれあう環境を創出するため、学校と協議しながら整備を進めていきます。
・大規模改造工事において、栗橋小学校及び鷺宮東中学校に多目的トイレを、また、鷺宮東中学校にスロープを設置しました。また、久喜北小学校校舎及び鷺宮西中学校体育館にスロープを設置し、学校環境の整備を図ることができました。	・バリアフリー化の整備が必要な学校はありますが、財政面から多数の学校の整備は施工できない状況です。	3	・関係部局と協議し、順次整備ができるよう計画していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進
 施策 5 学校施設・設備の整備・充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	144	学校施設の大規模改造の実施 (継続的取組み)		教育総務課	・老朽化した施設の整備を進めるため、大規模改造工事(第1期)を実施しました。 【対象施設】 ・工事 栗橋小学校、鷺宮東中学校
	145	空調設備の整備 (継続的取組み)		教育総務課	・プレイルーム、相談室及び特別支援学級に空調設備設置工事を行いました。 【対象施設】青葉小学校、鷺宮西中学校
3 学校ICT、教育情報ネットワークの活用	146	校務用パソコンの活用 (継続的取組み)		指導課	・校務用パソコン及び校務支援ソフトを有効に活用し、校務の効率化に取り組みました。
	147	一人一台のChromebookを活用した学習の推進 ※再掲(連番No.48) (継続的取組み)		指導課	・Chromebookの基本操作各種ツールを活用した学習者主体の学びのデザインについて研修会を実施しました。 (実施校31校、参加者数延べ303人) ・市内全児童生徒分のChromebookが整備され、情報活用能力が高まりました。 ・児童生徒が、主体的な学びのツールとしてChromebookを活用し、他地域とのハイブリッド、オンライン授業の日常化を図ることができました。
	148	情報セキュリティに関する学習 (継続的取組み)		指導課	・授業や集会等、様々な教育活動の中で機会を捉えて学習し、教員対象の研修会を実施し指導力の向上を図ることで、児童生徒の情報セキュリティに関する学習の充実を図りました。 (参加人数31人)
4 学校教材・備品の計画的な整備	149	学校教材・備品の計画的な整備 (継続的取組み)		学務課	・市内小・中学校で使用する教材備品を計画的に購入し、老朽化等により破損した教材備品は修繕しました。 ・不要となった理科薬剤を処分し、使用できなくなったものは入れ替えをして廃棄しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・栗橋小学校及び鷺宮東中学校大規模改造工事において、学校環境の整備を図ることができました。	・多額の工事費を要するため、学校統廃合の進捗や久喜市公共施設個別施設計画に基づき、計画的な改修が必要です。	3	・関係部局と協議し、順次工事が実施できるよう計画していきます。
・青葉小学校及び鷺宮西中学校の教室等に空調設備を設置し、学習環境の整備及び猛暑対策を図ることができました。	・設置工事にあたっては、小・中学校の授業や行事等を考慮し、暑くなる前に設置できるよう工期の設定に努める必要があります。	3	・翌年度の増加学級の照会を行い、設置が必要な教室数を把握し、設計業務及び工事を行っていきます。
・校務用パソコン及び校務支援ソフトを活用することで、日々の学習活動の週案や保護者配布文書の作成といった作業の効率化が図られました。	・パソコン及びソフトウェアに関する教職員の習熟度向上を図る必要があります。	3	・今後も学校からの要望を校務用パソコンに取り入れていきます。
・児童生徒の情報活用能力育成のために、教職員同士がChromebookの活用と授業のアイデアについて共有することで、取組みを推進することができました。	・教員ごとに端末を活用する頻度に差があります。 ・教職員用端末の配備と学習者用端末の修繕対応、破損防止対策が必要です。	3	・全ての教員が端末を活用した授業と児童生徒が主体的に端末を扱うことができるよう、研修会を工夫します。 ・活用事例をもっと手軽に見られる環境づくりやGooglechatを活用した事例共有体制の構築を進めます。
・各学校において、情報セキュリティや情報モラルに対して意識が向上し、授業や集会等で確実に取り上げられるようになりました。	・家庭・地域、企業やその他の専門機関との連携を図り、連携、協働体制を構築する必要があります。	3	・今後も研修会を実施するとともに、内容の充実が図られるよう企業や専門機関、外部有識者との協力体制を構築していきます。
・学校教材・備品の整備により、学習効果が高まりました。	・教材備品について適切に管理・整備していく必要があります。	3	・今後も計画的に教材備品の購入・更新・廃棄を実施し、教育環境の整備を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

施策 5 学校施設・設備の整備・充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
5 学校図書館の充実	150	図書館担当教員を対象とした研修会等の実施 (継続的取組み)		指導課	・市内小・中学校に設置した図書管理システムの機能充実を図るため、サポートサービスを利用し、活用及び操作方法の研修を行いました。
	151	学校図書館図書の適正な蔵書管理 (継続的取組み)		学務課 指導課	・文部科学省が設定した「学校図書館図書標準」における充足率の向上を図りました。 ・市内小・中学校に設置した図書管理システムを更新し、適正な蔵書管理を行いました。

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

施策 6 学校給食の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
2 安全・安心な学校給食の提供	152	安全でおいしい給食の提供、栄養管理、食材の安全確保等による学校給食の充実、並びに食物アレルギーへの対応 (継続的取組み)		学校給食課	・文部科学省が定める学校給食実施基準に基づき栄養管理を実施しました。 ・文部科学省が定める学校給食衛生管理基準に基づき衛生管理を実施しました。 ・食材の安全確保のために、理化学及び微生物検査を実施しました。 (理化学及び微生物検査数:51検体) ・残量調査や給食日誌等により、喫食状況の把握を行いました。 ・食物アレルギーのある児童生徒には、国の指針や県、市の対応マニュアルに基づき対応を行いました。 (食物アレルギー申請児童生徒数:313人)
	153	季節の食材や行事食、郷土料理、伝統料理等を採り入れた給食の提供 (継続的取組み)		学校給食課	・年間指導計画を作成し、季節の食材を計画的に取り入れました。 ・行事食、郷土料理・教科関連献立、おはなし献立を提供しました。(年32回)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・システム操作の習熟を図ることで、学校図書館を円滑に運営することができました。	・司書教諭の異動等に伴い、適時、システムの操作方法の研修や説明が必要となります。	3	・システム操作研修会を実施し、学校図書館の円滑な運用を図ります。 ・市内外の図書館と連携した読書教育の充実を図ります。
・システムの活用により、図書を適正に管理し、効率的な学校図書館を運営することができました。 (学校図書館充足率: 目標100%以上、実績130.0%)	・適切な蔵書管理を行うため、システムの安定稼働を図る必要があります。	3	・図書管理システムを活用した適切な蔵書管理を行います。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・栄養管理、衛生管理及び食物アレルギー対応を実施したことで、安全・安心な給食を提供することができました。	・安全・安心な学校給食を提供するため、栄養管理及び衛生管理に関する情報の共有や各種研修の参加により、学校給食従事者の知識向上、意識高揚を図り、衛生管理や栄養管理、食物アレルギーへの対応を進める必要があります。	3	・安全・安心な学校給食を提供するため、栄養管理及び衛生管理に関する情報の共有や各種研修の参加により、学校給食従事者の知識の向上や意識の高揚を図り、より充実した学校給食の運営を行っていきます。
・季節が感じられる献立や行事等と関連した献立を提供することで、学校給食の充実を図ることができました。 ・郷土料理の提供により、各地域の食文化への理解を深めることができました。	・季節が感じられる献立や行事等と関連した献立を提供することにより、児童生徒の学校給食への関心を高める必要があります。	3	・季節が感じられる献立や行事食、郷土料理、教科と関連した献立を継続的に実施します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進
 施策 6 学校給食の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	154	学校給食費補助の実施 (継続的取組み)		学校給食課	・学校を通し、保護者に制度をお知らせするとともに、市ホームページへ掲載し、広く市民に周知しました。 ・児童生徒を3人以上養育している保護者に、上期と下期に分けて補助金を交付しました。 (補助金交付者数:307人)
3 食育の推進	155	予定献立表や給食だよりの配布、予定献立表や給食写真のホームページへの掲載 (継続的取組み)		学校給食課	・児童生徒の家庭に予定献立表及び給食だよりを配布しました。(予定献立表11回、給食だより11回) ・予定献立表及び給食写真を市ホームページに掲載しました。
	156	学校給食を生きた教材として活用 (継続的取組み)		学校給食課	・教科や行事との連携、郷土料理の提供、地場産農産物の活用、家庭の食事の見本となるような献立作成等、生きた教材としての学校給食を提供しました。 ・献立のねらい等を学校や家庭に周知し、情報の発信を行いました。 ・栄養士による食育指導を行いました。(49回)
	157	地産地消の推進 (継続的取組み)		学校給食課	・地場産農産物を使用するとともに、情報の発信を行い、地産地消を推進しました。(年間使用量66トン、使用割合28.7%) ・長期休業期間に液体式急速冷凍機(リキッドフリーザー)を活用し、地場産農産物をピューレなどに加工し、給食用食材として使用しました。(332キログラム) ・地産地消推進会議を開催しました。
4 学校給食の衛生管理の徹底	158	学校給食調理従事者等への衛生管理指導の実施 (継続的取組み)		学校給食課	・学校給食従事者及び調理業務委託事業者に衛生管理指導及び情報の提供を行いました。 ・学校給食従事者に対し、保菌検査(赤痢菌・サルモネラ菌・O-157(月2回)、ノロウイルス(年6回))を実施しました。 ・調理業務委託事業者に対し、健康診断や保菌検査の実施、健康管理記録表を作成させ、内容の確認を行いました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・学校給食費補助金を交付したことで、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援の推進が図られました。	・学校事務職員や庁内関係課職員との連携を図り、事務処理の効率化を図る必要があります。	3	・保護者の経済的負担を軽減するため、引き続き、事業を実施していきます。
・予定献立表及び給食だよりの配布、市ホームページへの掲載を通じて、望ましい食生活の知識の普及・啓発を図ることができました。	・児童生徒や保護者に対して、食生活の知識の普及・啓発を図るため、予定献立表及び給食だよりの内容を工夫しながら作成する必要があります。	3	・予定献立表及び給食だよりを配布するとともに予定献立表及び給食写真を市ホームページに掲載し、望ましい食生活の知識の普及・啓発を図っていきます。
・毎日の学校給食を通じて、望ましい食習慣の形成を図ることができました。 ・食経験と併せて食に関する情報を発信したり、食育指導を行ったりすることで、食への興味、関心をより深めることができました。	・学校給食を通じた望ましい食習慣を形成するため、食に関する情報発信を進める必要があります。	3	・生きた教材として、家庭の食事の見本となるような学校給食の提供をするとともに、給食だよりにより食に関する情報発信を行っていきます。
・地場産農産物を使用した学校給食を提供することで、地産地消の推進を図ることができました。 (令和4年度目標値17%、実績値28.7%) ・地産地消推進会議を開催し、学校給食従事者の情報の共有や意識の高揚が図れました。	・地場産農産物の使用量を増やすため、生産者等と連携し、需給体制の強化を図る必要があります。	4	・地場産農産物の需給体制を強化するため、生産者等との情報共有や意識の高揚を図っていきます。
・学校給食従事者等に対し、衛生管理指導及び健康保持を行うことで、児童生徒にとって安全・安心でおいしい学校給食を円滑に提供することができました。	・衛生管理指導、情報の共有及び保菌検査の実施により、学校給食従事者の健康管理や知識の向上を図り、学校給食衛生管理基準に基づく、徹底した衛生管理を実施する必要があります。	3	・継続的に健康診断や保菌検査を実施し、学校給食従事者の健康保持・管理を行っていきます。 ・衛生管理指導及び情報を共有し、給食従事者の知識の向上や意識の高揚を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

施策 6 学校給食の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	159	給食施設の整備・点検及び食品の衛生検査 (継続的取組み)		学校給食課	・委託業者に施設点検を実施させました。また、その結果を報告させて内容の確認を行いました。 ・食品搬入時において、検収責任者が立ち合い、検収簿に基づき品名、数量、納品者、製造者及び所在地、生産地等に関して確認・点検を行いました。 ・学校薬剤師による衛生検査を行いました。(年3回)
5 学校給食食材の放射性物質検査の実施	160	学校給食に使用する食材の放射性物質検査の実施 (継続的取組み)		学校給食課	・学校給食センターで週1回、食材3品目及び給食まるごと1食分の検査を行いました。(42回) ・検査結果について、市ホームページに掲載しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・学校給食衛生管理基準に基づき、施設の整備・点検・衛生検査、食品の衛生検査等を行い、児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することができました。	・安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理基準に基づく、施設の維持管理や食品衛生検査を実施する必要があります。	3	・安全・安心な学校給食を提供するため、今後も給食施設の点検及び食品の衛生検査を行っていきます。
・食材の放射性物質検査を行うことにより、児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することができました。	・測定結果の推移等を注視しながら、運用面の見直しをする必要があります。	3	・測定結果の推移を注視しながら、運用面の見直しを行うなど業務改善を図っていきます。

基本目標4

人権を尊重した教育の推進

基本目標の概要

市民一人ひとりが、人権が尊重される社会を確立する担い手であることを認識し、様々な人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権問題の解決に主体的に取り組めるように人権教育を推進します。

施策

- 1 P T A ・ 児童生徒 ・ 教職員に対する人権教育の推進
- 2 家庭 ・ 地域における人権教育の推進
- 3 企業 ・ 事業者に対する人権教育の推進

3つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 8 ○数値目標 4 ○取組み 12

担当課

○指導課 ○生涯学習課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全4件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	1	25.0%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	3	75.0%

継続的 取組み (全11件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	11	100.0%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%
	—	評価できない	0	0.0%

目標年度が 設定された 取組み (全1件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	1	100.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

- PTA等に対しての人権教育研修会や子どもたちの人権作文等を通しての取組みは、様々な人権問題が発生している現在、人権意識を高揚する機会となっている。また、児童生徒が人権標語をつくる取組みは、子ども自身の身の回りのことに着目し、人権意識をもって生活をどのようにすべきかを考える機会となっている。
- 教職員人権教育研修会の実施について、教職員の児童生徒に対する言動は、高い人権意識のもとで行わなければならない。教職員に対する人権教育に関する研修は、教職員の人としての資質向上に寄与するものであるので、継続して取り組んでいただきたい。
- 企業・事業者を主な対象とした人権教育講座の開催については、社会全体が人権問題に対する正しい理解と認識があることが求められている。地域社会の人々が手本となって、次の時代を担う子どもたちに良い影響を与えなければならないと思う。今後も大人の人権意識を高める取組みを発展させていきたい。
- PTA等に対しての人権教育研修会で、インターネットや新型コロナウイルス感染症に関連した人権侵害を取り扱ったことは非常に良いと思う。このような内容を保護者や学校長に啓発することは効果的であるので、今後も続けていきたい。
- 教職員の人権教育について、学校で管理職が頭を悩ませているのがパワーハラスメントの問題である。パワーハラスメントと言われることに怯えるのではなく、正しく理解し、必要な指導はしていくということが重要なので、そういった研修も考えていっていただきたい。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

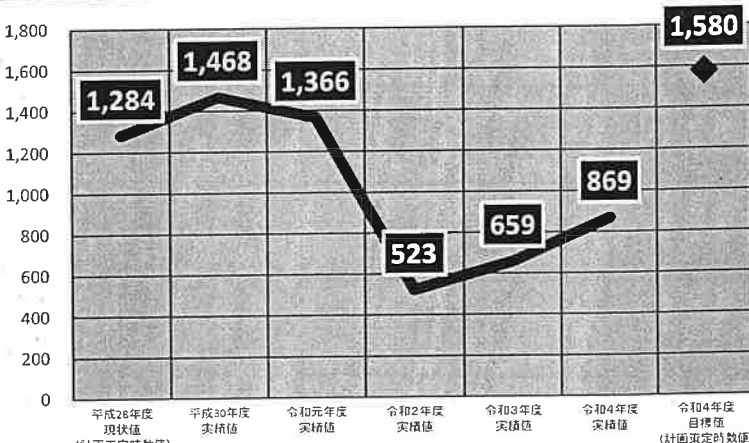
基本目標	4 人権を尊重した教育の推進
施策	1 PTA・児童生徒・教職員に対する人権教育の推進
具体的施策	1 PTA等への人権教育研修の開催

数値目標名	PTA人権教育研修会の開催数	担当課	生涯学習課																
単位	回	達成率	100.0%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	4	達成度	A																
平成30年度 実績値	4	推移グラフ	<table><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>4</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>4</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>4</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>0</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>4</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	4	平成30年度 実績値	4	令和元年度 実績値	4	令和2年度 実績値	0	令和3年度 実績値	4	令和4年度 実績値	4	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	4
年度	数値																		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	4																		
平成30年度 実績値	4																		
令和元年度 実績値	4																		
令和2年度 実績値	0																		
令和3年度 実績値	4																		
令和4年度 実績値	4																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	4																		
令和元年度 実績値	4																		
令和2年度 実績値	※ 0																		
令和3年度 実績値	4																		
令和4年度 実績値	4																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	4																		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響等により、研修会が全て中止となりました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調査

- 基本目標 4 人権を尊重した教育の推進
 施策 2 家庭・地域における人権教育の推進
 具体的施策 3 教育集会所事業の充実

3 教育集会所事業の状況			
数値目標名	野久喜集会所事業参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	55.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,284	達成度	D
平成30年度 実績値	1,468	推移グラフ	
令和元年度 実績値	※ 1,366		
令和2年度 実績値	※ 523		
令和3年度 実績値	※ 659		
令和4年度 実績値	※ 869		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1,580		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により講座が一部中止、変更となったことに伴い、参加者数が減少しました。

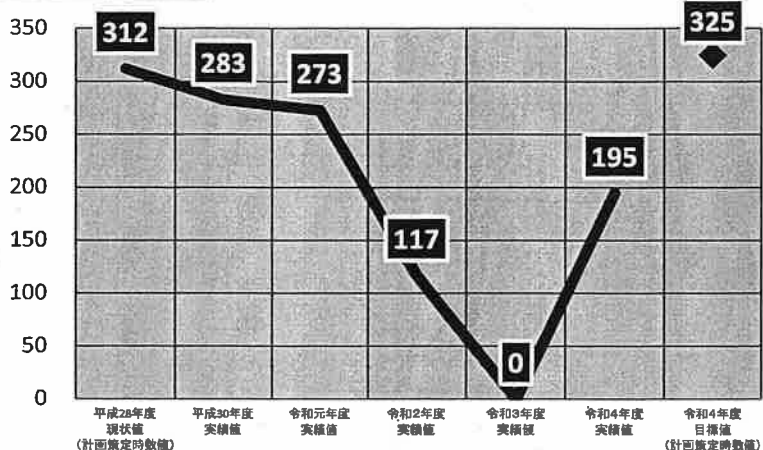
具体的施策 3 教育集会所事業の充実

5 教育委員会事業の充実			
数値目標名	内下集会所事業参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	39.8%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	382	達成度	D
平成30年度 実績値	340	推移グラフ	
令和元年度 実績値	362		
令和2年度 実績値	※ 34		
令和3年度 実績値	※ 107		
令和4年度 実績値	※ 195		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	490		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により講座が一部中止、変更となったことに伴い、参加者数が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	4 人権を尊重した教育の推進
施策	3 企業・事業者に対する人権教育の推進
具体的施策	2 人権教育指導者の養成

数値目標名	社会人権教育指導者養成講座の参加者数	担当課	生涯学習課																
単位	人	達成率	60.0%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	312	達成度	D																
平成30年度 実績値	283	推移グラフ	 <table><caption>推移グラフのデータ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>参加者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>312</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>283</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>273</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>117</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>0</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>195</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>325</td></tr></tbody></table>	年度	参加者数	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	312	平成30年度 実績値	283	令和元年度 実績値	273	令和2年度 実績値	117	令和3年度 実績値	0	令和4年度 実績値	195	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	325
年度	参加者数																		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	312																		
平成30年度 実績値	283																		
令和元年度 実績値	273																		
令和2年度 実績値	117																		
令和3年度 実績値	0																		
令和4年度 実績値	195																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	325																		
令和元年度 実績値	273																		
令和2年度 実績値	※1 117																		
令和3年度 実績値	※2 0																		
令和4年度 実績値	195																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	325																		

※1 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症の影響により、会場入場者数を通常の50%以下に制限して開催したため、参加者数が減少しました。

※2 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を中止としました。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 4 人権を尊重した教育の推進

施策 1 PTA・児童生徒・教職員に対する人権教育の推進

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 PTA等への人権教育研修の開催	161	PTA等に対して人権教育研修の開催 (継続的取組み)		生涯学習課	・PTA人権教育研修会を開催しました。 (4回開催、参加者数261人)
2 児童生徒への人権教育の充実	162	「人権感覚育成プログラム」の有効的な活用 ※再掲(連番No.76) (継続的取組み)		指導課	・栗橋南小学校に人権教育を主とした研究委嘱を行い、「多様な他者を認め合うみなみっ子の育成」を研究主題とし、ESD教育をはじめとするSDGsの視点に立った授業について研究を行うとともに、「人権感覚育成プログラム」を活用した授業を行いました。
	163	人権文集「えがお」の作成と積極的な活用 ※再掲(連番No.74) (継続的取組み)		指導課	・人権文集「えがお」を編集し、市内全児童生徒に配布しました。 ・各学校において人権文集「えがお」を発達段階に応じて活用し、人権教育を推進しました。
3 教職員への人権教育研修の開催	164	転入・新採用教職員学校同和教育現地研修会の実施 ※再掲(連番No.70) (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に転入・新採用教職員を対象に、現地研修会を2日間開催しました。 (参加者数52人)
	165	教職員人権教育研修会の実施 ※再掲(連番No.71) (継続的取組み)		指導課	・夏季休業中に全教職員を対象に、「これからの人権教育について」を演題として、教職員人権教育研修会を4回開催しました。 (参加者数727人 会場196人、オンライン531人)
	166	校長同和教育研修会の実施 ※再掲(連番No.72) (継続的取組み)		指導課	・市内小・中学校校長を対象に、校長同和教育研修会を1回開催しました。
	167	人権教育教職員啓発資料「あおぞら」の作成 ※再掲(連番No.73) (継続的取組み)		指導課	・教職員人権教育啓発資料「あおぞら」を10月と3月の2回発行し、全教職員や市内公共施設に配布しました。 ・授業等に活用し、人権意識の啓発を図りました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
様々なジャンル(子どもの人権問題、インターネットや新型コロナウイルス感染症に関連した人権侵害)の講演を設定したことにより、人権問題の幅広い理解と人権意識の高揚を図ることができました。	・様々な人権問題が発生している中、特に子どもたちに関連した人権課題やPTAの皆様が希望する人権テーマに沿った内容の研修を企画していく必要があります。	3	・令和5年度もPTAを対象とした人権教育研修会を4回開催し、参加者の人権問題への理解を深め、人権意識の高揚を図ります。
・SDGsの視点に立った授業実践とともに、「人権感覚育成プログラム」を活用した授業を実践することができました。	・「人権感覚育成プログラム」を生かした授業等を積極的に実践していくよう、今後も普及・活用していくよう努める必要があります。	3	・「人権感覚育成プログラム」の一層の活用を推進するため、研修会への参加を推進していきます。
・人権作文や人権標語を書くことを通じて、児童生徒一人ひとりの心を耕すことができました。 ・人権文集「えがお」を活用し、児童生徒の人権意識を高めることができました。	・今後も継続して人権に関わる理解や、人権意識を高めていく必要があります。	3	・学校行事や道徳、特別活動等で人権作文の効果的な活用を進めます。
・転入・新採用教職員が、差別の現実を学び、同和問題についての認識を深めることができました。	・転入・新採用教職員が様々な人権問題についての正しい理解を深め、人権感覚をより磨いていくため、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、夏季休業中に転入・新採用教職員を対象に、現地研修会を2日間開催します。
・全教職員が参加することにより、教職員の人権教育の一層の推進に役立てることができました。	・全教職員が人権感覚をより高め、正しい理解のもと指導に当たることができるよう、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、夏季休業中に全教職員を対象に、教職員人権教育研修会を4回開催します。
・市内全小・中学校長が参加することにより、差別の実態を学び、部落差別の解消を目指す学校同和教育の一層の推進に役立てることができました。	・校長が様々な人権問題についての正しい理解を深め、人権感覚をより高めるため、今後も継続して実施する必要があります。	3	・次年度も、市内小・中学校長を対象に、校長同和教育研修会を1回開催します。
・全教職員への配布により、教職員の人権意識を高めることができました。 ・市内公共施設に配布し、学校における人権教育の実施状況について、理解を広めることができました。	・全教職員が人権感覚をより高めるため、今後も継続して作成する必要があります。	3	・次年度も、教職員人権教育啓発資料「あおぞら」を10月と3月の2回発行し、全教職員や市内公共施設に配布します。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 4 人権を尊重した教育の推進
 施策 2 家庭・地域における人権教育の推進

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 人権教育事業の推進	168	人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」の発行 (継続的取組み)		生涯学習課	・人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」を発行し、人権教育の取組み結果を広く市民に配布し、人権教育・啓発を図りました。 (2,000部発行)
2 教育集会所の整備充実	169	教育集会所の改修の実施 (目標年度:令和10年度)		生涯学習課	・老朽化している野久喜集会所と内下集会所を維持管理するための修繕を行いました。
3 教育集会所事業の充実	170	各種教室・講座、交流事業の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・各教育集会所において、各種教室・講座、交流事業を実施しました。 (参加者数:野久喜集会所869人、内下集会所195人)

基本目標 4 人権を尊重した教育の推進
 施策 3 企業・事業者に対する人権教育の推進

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 人権教育講座の開催	171	企業・事業者を主な対象とし、人権教育指導者の養成を図るため、人権教育講座の開催 (継続的取組み)		生涯学習課	・人権教育指導者の養成を図るため、企業・事業者を主な対象として、社会人権教育指導者養成講座を開催しました。 (参加者数195人)
2 人権教育指導者の養成	172	人権啓発冊子、人権啓発品の活用 (継続的取組み)		生涯学習課	・人権啓発冊子、人権啓発品を社会人権教育指導者養成講座等において活用しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・市内小・中学校、幼稚園、教育集会所運営委員等に配布し、生涯学習における人権教育の実施状況について、理解を深めることができました。	・人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」は、発行・配布するだけにとどまらず、学校等における授業で活用してもらう必要があります。	3	・人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」を、各学校や幼稚園の授業で活用してもらえるように、引き続き、校長会等を通じて働きかけていきます。
・野久喜集会所の壊れたアコーディオンカーテンの修繕を行い、適切な維持管理ができました。	・教育集会所の施設本来の機能を維持していくために、今後必要に応じて設備等の修繕を行っていく必要があります。	B	・久喜市公共施設個別施設計画に基づく集会所統合の方針を踏まえながら、施設の改修について検討していきます。
・新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止や制限が少なくなったため、参加者数が令和3年度より増加しました。実施した各種教室・講座や市内の教育集会所交流事業等を通じ、地域住民の人権意識の高揚、地域住民相互の交流を図ることができました。	・令和6年度から野久喜集会所事業と内下集会所事業を統合する予定であることから、統合後の事業をさらに充実させていく必要があります。	3	・各種事業の企画にあたり、地域の住民及び参加者等の意見を確認しながら、参加者数の増加につながるよう、事業の充実を図っていきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
企業・事業者から多くの参加をいただいたことで、人権問題に対する正しい理解と認識を深め、差別意識の解消に努めることができました。	・企業・事業者が自らの事業所内で人権教育に取り組んでいけるようにしていく必要があります。	3	・今後も企業・事業者を対象とした人権教育講座を開催していきます。
・社会人権教育指導者養成講座等の参加者に人権啓発冊子や人権啓発品を配布することで、企業や事業者等の参加者へ啓発をするとともに、人権教育指導者の養成へつなげることができました。	・人権啓発冊子、人権啓発品の配布などによる効果的な啓発を検討する必要があります。	3	・研修会や講座などを通して、人権啓発冊子や人権啓発品の効果的な活用を進めていきます。

基本目標5

豊かな生き方を築く生涯学習の推進

基本目標の概要

自己啓発や生活の充実のための学びの環境を整え、市民のニーズに応える質の高い学習機会を提供するとともに、その成果を生かすことができる、生涯学習社会づくりに努めます。

施策

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 多彩な生涯学習機会の提供 | 2 保護者の交流機会の提供・支援 |
| 3 生涯学習環境の整備・充実 | 4 公民館活動の充実 |
| 5 図書館サービスの充実 | 6 市民大学・高齢者大学の充実 |
| 7 放課後子ども教室の推進 | |

7つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 18 ○数値目標 21 ○取組み 37

担当課

○生涯学習課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全21件)	達成度		件数	割合
	A	達成率100%以上	3	14.3%
	B	達成率90%以上100%未満	0	0.0%
	C	達成率80%以上90%未満	5	23.8%
	D	達成率80%未満	13	61.9%

継続的 取組み (全34件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	31	91.2%
	2	予定を下回る取組み結果となった	1	2.9%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%
	—	評価できない	2	5.9%

目標年度が 設定された 取組み (全3件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	2	66.7%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%
	—	評価できない	1	33.3%

学識経験者の意見

- 公民館事業については、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、各公民館が特色ある取組みを企画・実施し、令和3年度と比較して事業数・参加人数が大幅に増加し、大きな成果を上げている。コミュニティセンター移行後も素晴らしい事業が継続することを期待している。
- 公立図書館について、多様な市民ニーズに対応するために蔵書の充実を図っている。また、子どもの成長を応援する図書館の推進事業として、おはなし会や読み聞かせ、さらに学校との連携を図った様々な取組みがなされ、成果をあげている。
- 子ども大学くきについて、コロナ禍でも多くの参加者があって、子どもの深い学びに繋がった。引き続き大切にしていきたい。
- 生涯学習出前講座、市民大学講座、高齢者大学講座について、講座数や参加者数が増加している。これは、新型コロナウイルス感染症が収まってきたということだけでなく、担当者の地道な努力の結果だと思う。コロナ禍で開催するかどうか悩まれたと思うが、そのような中で市民の方が参加できたということは、とても良いことだと考える。
- 久喜市は、生涯学習分野において高齢者の方々が大いに活躍している。このような姿を市民の方々や学校の先生にも知ってほしい。
- 家庭教育学級については、幼稚園教育や小学校低学年の教育に繋がる重要な施策である。中学校の家庭科の授業には保育という分野があるが、これは社会保育ではなく家庭保育を学ぶ内容であるため、家庭教育学級の実施により、地域の団体との結びつきができて、家庭科の授業で連携ができるようになっていくと良い。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調査

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

施策 1 多彩な生涯学習機会の提供

具体的施策 1 生涯学習の機会の充実

数値目標名	生涯学習関連の講座・教室の参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	49.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	14,452	達成度	D
平成30年度 実績値	15,208	推移グラフ	16,000 14,000 12,000 10,000 8,000 6,000 4,000 2,000 0 14,452 15,208 12,795 1,461 4,930 7,155 14,600 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 (計画策定時数値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (目標値) (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	12,795		
令和2年度 実績値	※ 1,461		
令和3年度 実績値	※ 4,930		
令和4年度 実績値	7,155		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	14,600		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により講座等が中止となったことに伴い、参加者数が減少しました。

具体的施策 3 生涯学習情報の収集と提供

数値目標名	生涯学習人材バンクの登録者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	80.4%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	221	達成度	C
平成30年度 実績値	223	推移グラフ	250 200 150 100 50 0 221 223 209 200 207 181 225 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 (計画策定時数値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (目標値) (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	209		
令和2年度 実績値	200		
令和3年度 実績値	207		
令和4年度 実績値	181		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	225		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- 基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 1 多彩な生涯学習機会の提供
 具体的施策 4 生涯学習研修大会や生涯学習推進大会への支援

数値目標名	生涯学習研修大会(まなびすとフォーラム)の参加者数		担当課	生涯学習課															
単位	人		達成率	0.0%															
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	201		達成度	D															
平成30年度 実績値	250		推移グラフ																
令和元年度 実績値	173		<table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>201</td><td>平成30年度 実績値</td><td>250</td><td>令和元年度 実績値</td><td>173</td><td>令和2年度 実績値</td><td>0</td><td>令和3年度 実績値</td><td>0</td><td>令和4年度 実績値</td><td>0</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>210</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	201	平成30年度 実績値	250	令和元年度 実績値	173	令和2年度 実績値	0	令和3年度 実績値	0	令和4年度 実績値	0	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	210		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	201	平成30年度 実績値		250	令和元年度 実績値	173	令和2年度 実績値	0	令和3年度 実績値	0	令和4年度 実績値	0	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	210					
令和2年度 実績値	※ 0																		
令和3年度 実績値	※ 0																		
令和4年度 実績値	※ 0																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	210																		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となりました。

- 具体的施策 4 生涯学習研修大会や生涯学習推進大会への支援

生涯学習推進大会(まなびすと久喜)の参加者数		担当課	生涯学習課																
数値目標名		達成率	24.0%																
単位	人	達成度	D																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2,800	達成度	<table><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr><tr><td>平成28年度(現状値)</td><td>2,800</td></tr><tr><td>平成30年度(実績値)</td><td>3,100</td></tr><tr><td>令和元年度(実績値)</td><td>2,600</td></tr><tr><td>令和2年度(実績値)</td><td>0</td></tr><tr><td>令和3年度(実績値)</td><td>0</td></tr><tr><td>令和4年度(実績値)</td><td>1,200</td></tr><tr><td>令和4年度(目標値)</td><td>5,000</td></tr></table>	年度	数値	平成28年度(現状値)	2,800	平成30年度(実績値)	3,100	令和元年度(実績値)	2,600	令和2年度(実績値)	0	令和3年度(実績値)	0	令和4年度(実績値)	1,200	令和4年度(目標値)	5,000
年度	数値																		
平成28年度(現状値)	2,800																		
平成30年度(実績値)	3,100																		
令和元年度(実績値)	2,600																		
令和2年度(実績値)	0																		
令和3年度(実績値)	0																		
令和4年度(実績値)	1,200																		
令和4年度(目標値)	5,000																		
平成30年度 実績値	3,100	推移グラフ																	
令和元年度 実績値	2,600																		
令和2年度 実績値	※ 0																		
令和3年度 実績値	※ 0																		
令和4年度 実績値	1,200																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	5,000																		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となりました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- 基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 2 保護者の交流機会の提供・支援
 具体的施策 1 子育てについての意見交換の場の充実

数値目標名	家庭教育学級の参加数	担当課	生涯学習課
単位	学級	達成率	32.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	30	達成度	D
平成30年度 実績値	31	推移グラフ	
令和元年度 実績値	31	45 40 35 30 25 20 15 10 5 0 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 (計画策定時数値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (目標値 (計画策定時数値))	
令和2年度 実績値	※ 12		
令和3年度 実績値	※ 10		
令和4年度 実績値	13		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	40		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数が減少しました。

具体的施策 2 各種講演会等の充実

数値目標名	子育て講座「親の学 習」の実施校(小学校)	担当課	生涯学習課							
単位	校	達成率	100.0%							
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	23	達成度	A							
平成30年度 実績値	23	推移グラフ	<table><tr><td>23</td><td>23</td><td>23</td><td>23</td><td>22</td><td>21</td><td>21</td></tr></table> 25 20 15 10 5 0 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 (計画策定時数値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (目標値 (計画策定時数値))	23	23	23	23	22	21	21
23	23	23		23	22	21	21			
令和元年度 実績値	23									
令和2年度 実績値	23									
令和3年度 実績値	※1 22(全校)									
令和4年度 実績値	21(全校)									
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	※2 21(全校)									

※1 令和3年度においては、全校で実施しましたが、江面第一小学校と江面第二小学校の統合に伴い学校数が減少しました。

※2 計画策定時は23校で実施予定でしたが、江面第一小学校と江面第二小学校の統合(R3～)及び上内小学校の休校(R4～)に伴い学校数が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

施策 2 保護者の交流機会の提供・支援

具体的施策 2 各種講演会等の充実

数値目標名	家庭教育フォーラムの参加者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	0.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	41	達成度	D
平成30年度 実績値	58	推移グラフ	
令和元年度 実績値	63		
令和2年度 実績値	※1 0		
令和3年度 実績値	※1 0		
令和4年度 実績値	※2 0		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	140		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となりました。

※2 事業の見直しにより、実施を見送りました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	3 生涯学習環境の整備・充実
具体的施策	3 生涯学習センターの整備・充実

数値目標名	生涯学習センター利用者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	6.8%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	0	達成度	D
平成30年度 実績値	0	推移グラフ	
令和元年度 実績値	0	120,000 100,000 80,000 60,000 40,000 20,000 0 0 0 0 0 118 6,892 102,000 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 (計画策定時数値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (実績値) (目標値)	
令和2年度 実績値	0		
令和3年度 実績値	118		
令和4年度 実績値	6,892		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	102,000		

※ 生涯学習センターについては、「東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用計画」の中で新設配置することになっていましたが、その後の検討の結果、鷺宮総合支所5階を改修し、生涯学習施設「まなびすポット」を整備しました(令和4年3月4日開所)。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 4 公民館活動の充実
 具体的施策 1 公民館事業の充実

数値目標名	公民館事業数	担当課	生涯学習課																
単位	事業	達成率	68.9%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	88	達成度	D																
平成30年度 実績値	90	推移グラフ	<table><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>88</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>90</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>78</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>15</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>50</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>62</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>90</td></tr></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	88	平成30年度 実績値	90	令和元年度 実績値	78	令和2年度 実績値	15	令和3年度 実績値	50	令和4年度 実績値	62	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90
年度	数値																		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	88																		
平成30年度 実績値	90																		
令和元年度 実績値	78																		
令和2年度 実績値	15																		
令和3年度 実績値	50																		
令和4年度 実績値	62																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90																		
令和元年度 実績値	78																		
令和2年度 実績値	※1 15																		
令和3年度 実績値	※2 50																		
令和4年度 実績値	62																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	90																		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施した事業数が減少しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響下でも実施が可能な事業を選別して行った結果、従前の事業数には至りませんでした。

具体的施策 1 公民館事業の充実

数値目標名	市民企画事業数	担当課	生涯学習課
単位	事業	達成率	12.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	5	達成度	D
平成30年度 実績値	4	推移グラフ	
令和元年度 実績値	3		
令和2年度 実績値	※1 1		
令和3年度 実績値	※2 1		
令和4年度 実績値	1		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	8		

9
8
7
6
5
4
3
2
1
0

平成28年度
現状値
(計画策定時数値)

平成30年度
実績値

令和元年度
実績値

令和2年度
実績値

令和3年度
実績値

令和4年度
実績値

令和4年度
目標値
(計画策定時数値)

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施した事業数が減少しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、企画した事業の一部が中止となったため、事業数の回復には至りませんでした。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 4 公民館活動の充実
 具体的施策 1 公民館事業の充実

数値目標名	公民館連絡協議会事業数	担当課	生涯学習課
単位	事業	達成率	66.7%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2	達成度	D
平成30年度 実績値	3	推移グラフ	
令和元年度 実績値	1	4 3 2 1 0 平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	
令和2年度 実績値	2		
令和3年度 実績値	3		
令和4年度 実績値	2		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	3		

具体的施策 1 公民館事業の充実

数値目標名	公民館利用者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	71.4%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	387,090	達成度	D
平成30年度 実績値	374,850	推移グラフ	※公民館利用者数の目標値については、高齢者大学及び市民大学の活動拠点が中央公民館から新設予定の生涯学習センターに移行されることを考慮し、減じた数値となっています。
令和元年度 実績値	351,741	440,000 390,000 340,000 290,000 240,000 190,000 140,000 387,090 374,850 351,741 144,750 203,896 272,042 381,000 平成28年度 現状値 (計画策定時数値) 平成30年度 実績値 令和元年度 実績値 令和2年度 実績値 令和3年度 実績値 令和4年度 実績値 令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	
令和2年度 実績値	※1 144,750		
令和3年度 実績値	※2 203,896		
令和4年度 実績値	272,042		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	381,000		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、休館及び利用人数制限を行ったため、利用者数が減少しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間の短縮及び利用人数制限を行ったため、利用者数の伸びが鈍化したものとなりました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	5 図書館サービスの充実
具体的施策	1 「久喜市立図書館の基本的運営方針(※1)」の効果的な推進

数値目標名	レファレンスに対する利用満足度	担当課	生涯学習課													
単位	%	達成率	84.2%													
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	51.9	達成度	C													
平成30年度 実績値	※2 ー	推移グラフ														
令和元年度 実績値	48.0	<table><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>平成30年度 実績値</td><td>令和元年度 実績値</td><td>令和2年度 実績値</td><td>令和3年度 実績値</td><td>令和4年度 実績値</td><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td></tr><tr><td>51.9</td><td>ー</td><td>48.0</td><td>49.3</td><td>54.4</td><td>50.5</td><td>60</td></tr></table>	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	51.9	ー	48.0	49.3	54.4	50.5	60
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	平成30年度 実績値		令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)									
51.9	ー		48.0	49.3	54.4	50.5	60									
令和2年度 実績値	49.3															
令和3年度 実績値	54.4															
令和4年度 実績値	50.5															
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	60.0															

※1 第2期久喜市教育振興基本計画策定時の計画は「久喜市図書館サービス基本計画」でしたが、令和2年度で計画が終了し、令和3年度から新たに「久喜市立図書館の基本的運営方針」を策定したため、変更になりました。

※2 市によるレファレンスに対する利用満足度調査は平成28年度のみ実施、令和元年度から指定管理者により、同様のアンケートを毎年実施しています。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

施策 5 図書館サービスの充実

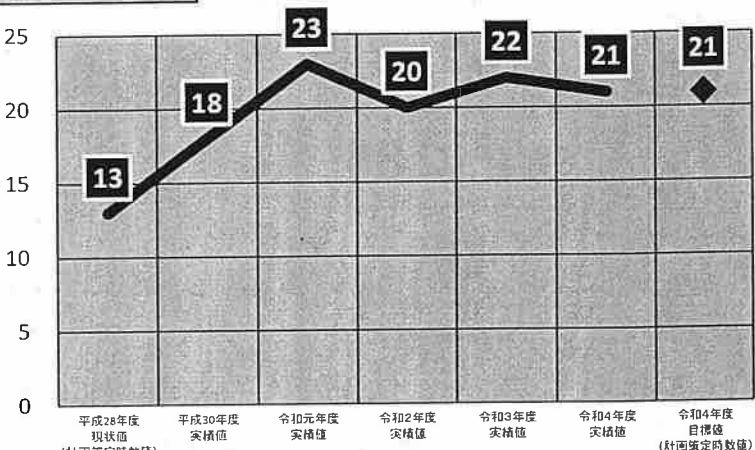
具体的施策 1 「久喜市立図書館の基本的運営方針(※)」の効果的な推進

数値目標名	学校への団体貸出冊数	担当課	生涯学習課
単位	冊	達成率	69.3%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,064	達成度	D
平成30年度 実績値	1,804	推移グラフ	
令和元年度 実績値	1,243		
令和2年度 実績値	1,137		
令和3年度 実績値	1,124		
令和4年度 実績値	1,040		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	1,500		

※ 第2期久喜市教育振興基本計画策定時の計画は「久喜市図書館サービス基本計画」でしたが、令和2年度で計画が終了し、令和3年度から新たに「久喜市立図書館の基本的運営方針」を策定したため、変更になりました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	5 図書館サービスの充実
具体的施策	1 「久喜市立図書館の基本的運営方針(※1)」の効果的な推進

数値目標名	学校訪問事業実施学校数	担当課	生涯学習課
単位	校	達成率	100.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	13	達成度	A
平成30年度 実績値	18	推移グラフ	
令和元年度 実績値	23(全校)		
令和2年度 実績値	※2 20		
令和3年度 実績値	※3 22(全校)		
令和4年度 実績値	21(全校)		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	※4 21(全校)		

※1 第2期久喜市教育振興基本計画策定時の計画は「久喜市図書館サービス基本計画」でしたが、令和2年度で計画が終了し、令和3年度から新たに「久喜市立図書館の基本的運営方針」を策定したため、変更になりました。

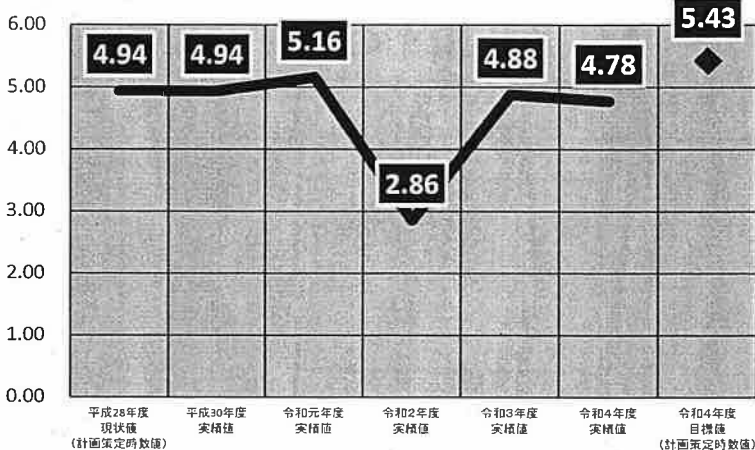
※2 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止にした学校があり、学校数が減少しました。

※3 令和3年度においては、全校で実施しましたが、江面第一小学校と江面第二小学校の統合に伴い学校数が減少しました。

※4 計画策定時は23校で実施予定でしたが、江面第一小学校と江面第二小学校の統合(R3～)及び上内小学校の休校(R4～)に伴い学校数が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
施策	5 図書館サービスの充実
具体的施策	1 「久喜市立図書館の基本的運営方針(※1)」の効果的な推進

数値目標名	人口一人あたりの貸出冊数	担当課	生涯学習課																								
単位	冊	達成率	88.0%																								
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	4.94	達成度	C																								
平成30年度 実績値	4.94	推移グラフ	 <table><caption>推移グラフのデータ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th><th>種類</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度</td><td>4.94</td><td>現状値(計画策定時数値)</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>4.94</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>5.16</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>2.86</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>4.88</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>4.78</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>5.43</td><td>目標値(計画策定時数値)</td></tr></tbody></table>	年度	数値	種類	平成28年度	4.94	現状値(計画策定時数値)	平成30年度	4.94	実績値	令和元年度	5.16	実績値	令和2年度	2.86	実績値	令和3年度	4.88	実績値	令和4年度	4.78	実績値	令和4年度	5.43	目標値(計画策定時数値)
年度	数値			種類																							
平成28年度	4.94			現状値(計画策定時数値)																							
平成30年度	4.94			実績値																							
令和元年度	5.16			実績値																							
令和2年度	2.86	実績値																									
令和3年度	4.88	実績値																									
令和4年度	4.78	実績値																									
令和4年度	5.43	目標値(計画策定時数値)																									
令和元年度 実績値	5.16																										
令和2年度 実績値	※2 2.86																										
令和3年度 実績値	4.88																										
令和4年度 実績値	4.78																										
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	5.43																										

※1 第2期久喜市教育振興基本計画策定時の計画は「久喜市図書館サービス基本計画」でしたが、令和2年度で計画が終了し、令和3年度から新たに「久喜市立図書館の基本的運営方針」を策定したため、変更になりました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館をしたため、貸出冊数が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 6 市民大学・高齢者大学の充実
 具体的施策 1 市民大学の充実

数値目標名	市民大学入学者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	32.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	12	達成度	D
平成30年度 実績値	13	推移グラフ	
令和元年度 実績値	11		
令和2年度 実績値	8		
令和3年度 実績値	16		
令和4年度 実績値	13		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	40		

1 市民大学の充実			
数値目標名	公開講座数	担当課	生涯学習課
単位	回	達成率	109.1%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	11	達成度	A
平成30年度 実績値	11	推移グラフ	
令和元年度 実績値	12		
令和2年度 実績値	※ 6		
令和3年度 実績値	12		
令和4年度 実績値	12		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	11		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、講座が一部中止となったため、公開講座数が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

施策 6 市民大学・高齢者大学の充実

具体的施策 2 高齢者大学の充実

数値目標名	高齢者大学入学者数	担当課	生涯学習課																
単位	人	達成率	52.0%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	67	達成度	D																
平成30年度 実績値	56	推移グラフ	<table><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr><tr><td>平成28年度 (現状値)</td><td>67</td></tr><tr><td>平成30年度 (実績値)</td><td>56</td></tr><tr><td>令和元年度 (実績値)</td><td>58</td></tr><tr><td>令和2年度 (実績値)</td><td>59</td></tr><tr><td>令和3年度 (実績値)</td><td>36</td></tr><tr><td>令和4年度 (実績値)</td><td>52</td></tr><tr><td>令和4年度 (目標値)</td><td>100</td></tr></table>	年度	数値	平成28年度 (現状値)	67	平成30年度 (実績値)	56	令和元年度 (実績値)	58	令和2年度 (実績値)	59	令和3年度 (実績値)	36	令和4年度 (実績値)	52	令和4年度 (目標値)	100
年度	数値																		
平成28年度 (現状値)	67																		
平成30年度 (実績値)	56																		
令和元年度 (実績値)	58																		
令和2年度 (実績値)	59																		
令和3年度 (実績値)	36																		
令和4年度 (実績値)	52																		
令和4年度 (目標値)	100																		
令和元年度 実績値	58																		
令和2年度 実績値	59																		
令和3年度 実績値	36																		
令和4年度 実績値	52																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	100																		

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 7 放課後子ども教室の推進
 具体的施策 1 放課後子ども教室の推進

数値目標名	講座数	担当課	生涯学習課
単位	講座	達成率	80.5%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	392	達成度	C
平成30年度 実績値	429	推移グラフ	392 429 438 157 279 322 400 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 現状値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 目標値 (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	438		
令和2年度 実績値	※ 157		
令和3年度 実績値	※ 279		
令和4年度 実績値	322		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	400		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった教室もあるため、講座数が減少しました。

具体的施策 1 放課後子ども教室の推進

数値目標名	サポーターの数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	80.3%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2,011	達成度	C
平成30年度 実績値	2,214	推移グラフ	2,011 2,214 2,400 807 1,567 1,766 2,200 平成28年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和4年度 現状値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 目標値 (計画策定時数値)
令和元年度 実績値	2,400		
令和2年度 実績値	※ 807		
令和3年度 実績値	※ 1,567		
令和4年度 実績値	1,766		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2,200		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった教室もあるため、サポーター数が減少しました。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 1 多彩な生涯学習機会の提供

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 生涯学習の機会の充実	173	子ども大学くきの実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・久喜青年会議所や平成国際大学、教育委員会が連携して、企画・運営を図り、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、「子ども大学くき」を実施しました。 開催日程:10月23日(日)、11月3日(木・祝)、23日(水・祝)、12月11日(日) 全4日間 対象者:小学4年生～6年生 参加者数:46人
	174	生涯学習出前講座の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・団体等が主催する学習の場に市職員等の講師が出向き、市政の説明や、専門的な知識をいかした説明、実技指導等を実施しました。 講座メニュー数:65講座 実施件数:25件
2 市民大学・高齢者大学の充実	175	市民大学講座の充実 ※再掲(連番No.202) (継続的取組み)		生涯学習課	・久喜市の歴史や文化、環境等についての講座をはじめ、特別講座として、学長・副学長の講話や生涯学習のリーダー育成のためのボランティア体験、学生が自ら企画する企画講座等を実施しました。 (1年生:29講座11人、2年生:19講座14人)
	176	市民大学公開講座の充実 ※再掲(連番No.203) (継続的取組み)		生涯学習課	・公開講座を菖蒲地区2回、栗橋地区1回、鷺宮地区9回の計12回開催しました。主な講座として、「本多静六博士と渋沢栄一」「利根川東遷と栗橋宿」「久喜の自然と風土」等、久喜の歴史や文化、自然環境等のテーマを実施しました。 (一般参加者115人)
	177	高齢者大学講座の充実 ※再掲(連番No.204) (継続的取組み)		生涯学習課	・食生活や体力づくり、環境問題、介護問題など実生活に即した講座や、趣味活動や社会参加による生きがいを高めるような講座を実施しました。 (1年生:14講座41人、2年生:13講座27人、3年生:13講座44人、4年生:13講座41人)
	178	学校行事(体育祭、作品展示会、音楽芸能祭等)の充実 ※再掲(連番No.205) (継続的取組み)		生涯学習課	・グラウンドゴルフ大会、体育祭、音楽芸能祭、作品展示会を実施し、学生相互の交流、連帯感を図りました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
異なる学年の子どもたちが、大学教授や専門家の先生から、学校では体験できない学習や実習を受けることで、子どもたちの学ぶ力や生きる力を育み、知的好奇心の高揚を図ることができました。	子どもたちに幅広い分野の学びを展開していく必要があるため、子どもたちにとって魅力のある講座内容になるよう、アンケート等を通してニーズの把握に努めていく必要があります。	3	- 参加者数、開催時期、開催日数、内容について、毎年度検討していきます。また、開催場所については、生涯学習施設「まなびすポット」を活用していきます。 - 参加者のアンケートからニーズを把握し、魅力ある講座を実施していきます。 - 他の高等教育機関との連携について検討していきます。
- 市職員等が講師として、市民等へ学習の機会を提供したことにより、市政への理解が図られたほか、生涯学習活動を推進することができました。 - 講座メニューの見直しを実施しました。	コロナ禍の影響もあり、ここ数年実施件数が減少しているため、市民や学校等への広く周知していく必要があります。	3	- 実施件数が減少しているため、市民向けの公開講座を実施し、生涯学習出前講座の周知を図っていきます。 - 今後とも、魅力ある講座メニューの見直しについて検討していきます。
- 生涯学習活動やボランティア活動を通じて、地域コミュニティづくりの担い手及びリーダーとしての素養を高めることができました。 - 令和4年度からは、鷺宮総合支所5階に整備した生涯学習施設を主会場として、講座を実施しました。	- 更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。 - 入学者数が減少傾向にあるため、市民への周知方法を検討し、学生数の増加につなげていく必要があります。	3	- 生涯学習施設「まなびすポット」を更に学生に使用していただけるよう呼びかけていきます。 - 学生数の増加につなげていくため、各地区のまつり等イベントで大学についてPRするなど、学生の募集について、幅広く周知していきます。
公開講座を実施することにより、市民大学生以外の市民にも聴講していただき、市民大学の講義の状況や活動の様子を知ってもらう機会を提供することができました。	更に多くの市民の方に聴講していただき市民大学を知っていただくため、広く周知していく必要があります。	3	3地区(菖蒲、栗橋、鷺宮)で開催し、市民大学を知っていただけるよう幅広く周知していきます。 - 魅力ある講座メニューの見直しについて検討していきます。
- 学生の実生活に即した学習の機会を提供し、仲間づくりや生きがいづくりを支援することができました。 - 令和4年度からは、鷺宮総合支所5階に整備した生涯学習施設と中央公民館を主会場として、講座を実施しました。	- 更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。 - 入学者数が減少傾向にあるため、市民への周知方法を検討し、学生数の増加につなげていく必要があります。	3	- 生涯学習施設「まなびすポット」を更に学生に使用していただけるよう呼びかけていきます。 - 学生数の増加につなげていくため、各地区のまつり等イベントで大学についてPRするなど、学生の募集について、幅広く周知していきます。
新型コロナウイルス感染症対策を講じて、全ての学校行事(グラウンドゴルフ大会、体育祭、音楽芸能祭、作品展示会)を実施することができました(体育祭は3年ぶりに実施)。	学生の意見を尊重するとともに、役割分担を適切に行っていく必要があります。	3	- 学生の意見に耳を傾け、講座内容の充実を図っていきます。 - 学校行事の準備や練習を行うにあたり、生涯学習施設「まなびすポット」を学生に使用していただけるよう呼びかけていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

施策 1 多彩な生涯学習機会の提供

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	179	自主活動(クラブ活動、ボランティア活動)の充実 ※再掲(連番No.206) (継続的取組み)		生涯学習課	・クラブ活動をとおり、趣味活動を積極的に支援しました。 ・公共施設の草取り等を行いました。
3 生涯学習情報の収集と提供	180	生涯学習人材バンクの活用の促進 (継続的取組み)		生涯学習課	・市民の学習意欲に応えるため、豊富な知識や優れた技術を持った方に生涯学習の指導者として生涯学習人材バンクに登録してもらい、申請・要望に応じて指導者を紹介しました。 (紹介件数:3件、登録者数:181件)
	181	生涯学習情報紙(まなびすと久喜)の発行 ※再掲(連番No.189) (継続的取組み)		生涯学習課	・生涯学習情報紙「まなびすと久喜」を年2回発行しました。 まなびすと久喜 23号、24号(8/1、1/1発行) 発行部数:23号 62,700部 24号 62,500部
4 生涯学習研修大会や生涯学習推進大会への支援	182	生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止しました。
	183	生涯学習推進大会「まなびすと久喜」の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・生涯学習推進大会「まなびすと久喜」を生涯学習施設「まなびすポット」等で開催しました。 開催日:2月5日(日) 来場者数:約1,200人
5 生涯学習活動団体の活性化の促進	184	社会教育関係団体の補助金交付 (継続的取組み)		生涯学習課	・青少年や成人に対して社会教育活動を行う団体を支援しました。 ボーイスカウト補助金 210,000円 子ども会育成連合会補助金500,000円 PTA連合会補助金 300,000円 婦人会連合会補助金 320,000円 ガールスカウト補助金 70,000円

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・クラブ活動をとおして、友情の輪を広げることができました。 ・ボランティア活動をとおして、ボランティア精神を育みました。	・ボランティア活動の負担感を軽減するとともに、活動の充実を図っていく必要があります。	3	・学生の負担感に留意し、クラブ活動とボランティア活動を推進していきます。
・生涯学習等の相談者に対し、講座等を希望する指導者の紹介及び仲介をすることができました。	・紹介件数と登録者数を増加させるための工夫を行っていく必要があります。	2	・生涯学習人材バンクを幅広く周知するため、登録している方に講師を依頼して市民向けの公開講座を実施し、登録者数の増加を図ります。
・全戸配布することにより、生涯学習推進大会「まなびすと久喜」をはじめとする生涯学習の取組みや地域で活動するサークルの紹介等を、市民へ広く情報提供することができました。	・久喜市の生涯学習について、掲載内容等充実した広報紙となるよう、生涯学習推進部広報部会と情報を共有していく必要があります。	3	・「自分づくり・仲間づくり・まちづくり」の学習情報を市民へ提供できるよう、引き続き、年間2回発行し、広報くに折り込む形で配布していきます。
—	・開催日数、開催会場等、参加者のニーズに合わせた内容にしていくよう検討する必要があります。	—	・開催時期や開催内容等について検討していきます。また、開催場所については、鷺宮総合支所5階生涯学習施設「まなびすポット」を活用していきます。
・市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただくとともに、日頃の学習活動の成果を発表する場として、また共に学ぶ喜びを通して、市民全体の生涯学習意欲を喚起することができました。	・開催時期、開催会場等、参加者のニーズに合わせた内容にしていくよう検討する必要があります。	3	・鷺宮総合支所5階生涯学習施設「まなびすポット」を活用して実施していきます。また、屋外イベントの開催など開催内容の拡大や開催時期等について検討していきます。
・コロナ禍で各種団体の事業が制限された中、団体事業の支援ができました。	・事業がより充実していくよう、各種団体へ事業の日時や事業内容を改めて見直すことを助言し、継続的に活動を支援していく必要があります。	3	・各種団体へ助言をしながら、社会教育関係団体の補助金を交付し、活動を支援していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

施策 2 保護者の交流機会の提供・支援

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 子育てについての意見交換の場の充実	185	家庭教育学級の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・子育ての悩みや親子の関わり方等について、仲間とともに話し合える機会を提供するため、小・中学校のPTA及び幼稚園の保護者会が行う家庭教育活動に対し、補助金を交付しました。 ・全73団体に対して事業の実施を周知しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施した団体は13団体となりました。 交付団体数: 13団体(小学校7校、中学校2校、幼稚園4園)
2 各種講演会等の充実	186	子育て講座(親の学習)の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・各小学校の就学時健康診断の開催日に、保護者を対象とした、子育てに必要な知識やスキルを学ぶ「子育て講座」を実施しました。 開催日程: 10月、実施校: 21校 参加者: 1, 200人
	187	家庭教育フォーラムの実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・事業内容を見直し、実施を見送りました。

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

施策 3 生涯学習環境の整備・充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 生涯学習施設の建物及び設備の整備・充実	188	社会教育施設の整備 (目標年度: 令和4年度)		生涯学習課	・公共施設個別施設計画の中で、行政サービス、図書館、コミュニティセンターの機能を有する施設(栗橋市民プラザ)の建設が示され、栗橋公民館や栗橋いきいき活動センターしずか館の統廃合について、統合手法や今後のスケジュール等を関係課と協議しました。
2 生涯学習施設の利用促進	189	生涯学習情報紙(まなびすと久喜)の発行 ※再掲(連番No.181) (継続的取組み)		生涯学習課	・生涯学習情報紙「まなびすと久喜」を年2回発行しました。 まなびすと久喜 23号、24号(8/1、1/1発行) 発行部数: 23号 62, 700部 24号 62, 500部
3 生涯学習センターの整備・充実	190	生涯学習センターの整備 (継続的取組み)		生涯学習課	・令和4年3月4日に開所した生涯学習施設「まなびすポット」について、令和4年度から、生涯学習推進大会「まなびすと久喜」や市民大学、高齢者大学等の講座を実施するなど、施設の本格的な活用を開始しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・講座等の開催により子育てに関する学習をする機会の提供と保護者同士の子育ての悩み等の情報共有、交流を図ることができました。	・保護者同士が安心して交流できる環境を整えていく必要があります。	3	・子育て支援の講演会等の開催を通じ、保護者同士の情報提供と交流の場の充実を図っていきます。
・家庭教育アドバイザー等による講義を通じて、保護者一人ひとりが、親としての役割や責任を自覚し、子育てに関する必要な知識等の習得を図ることができました。	・保護者のニーズにあった内容に配慮していく必要があります。	3	・引き続き、家庭教育アドバイザーを積極的に活用するよう、小・中学校へ周知していきます。
—	—	—	・保護者等の負担も踏まえ、家庭教育学級、子育て講座で内容を補完していきます。 ・家庭教育アドバイザーによる「家庭教育支援チーム」を設置し、子育てサロンの実施を検討します。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・栗橋市民プラザの建設について、関係各課における取組みや検討状況などの情報を共有することができました。	・教育委員会の中だけにとどまらず、市長部局の各課とも、部局の枠を超えて検討していく必要があります。	—	・栗橋市民プラザの建設について、引き続き、関係各課と協議を進めていきます。
・全戸配布することにより、市民へ広く生涯学習の取組みや生涯学習施設、地域で活動するサークルの紹介等を情報提供することができました。	・久喜市の生涯学習について、掲載内容等充実した広報紙となるよう、生涯学習推進部広報部会と情報を共有していく必要があります。	3	・「自分づくり・仲間づくり・まちづくり」の学習情報を市民へ提供できるよう、年間2回発行し、今後は広報くきに折り込む形で配布していきます。
・市民大学や高齢者大学の教室、生涯学習推進部専用の部屋など、市の生涯学習関係事業を展開する専用施設として活用していくことで、市民の生涯学習活動を推進することができました。	・生涯学習施設の利用拡大に向けて、施設の充実や管理方法の検討をしていく必要があります。 ・利用者の交通手段を確保することについて課題があるため、担当課と調整を進める必要があります。	3	・本市の生涯学習の拠点施設として、生涯学習・社会教育の一層の充実を図ることができるよう、生涯学習施設「まなびすポット」の利用拡大や事業内容の充実について検討していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

施策 4 公民館活動の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 公民館事業の充実	191	公民館主催事業の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・公民館主催事業として62事業を実施し、6,133人の参加がありました。(中央公民館8事業1,393人、青葉公民館7事業267人、南公民館5事業207人、西公民館9事業702人、東公民館7事業1,047人、森下公民館8事業254人、栗橋公民館11事業1,641人、鷺宮公民館7事業622人) ・各地域で運営委員会を開催して意見を集め、地元産野菜を使った料理教室や出前防災講座等、各地域のニーズに応じた事業を展開しました。
	192	久喜市公民館連絡協議会主催事業の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・公民館連絡協議会主催事業として、2事業を実施しました。 ・市民企画事業として、1事業を実施しました。
2 公民館運営の充実	193	公民館施設・設備改修工事等の実施 (目標年度:令和5年度)		生涯学習課	・平成30年度に、令和5年度までの5か年計画として見直しを行った各公民館の修繕計画を、老朽化や不具合の進行具合、また公共施設個別施設計画で示された各公民館のコミュニティセンター化に合わせ一部修繕内容の変更を行い、修繕計画の方向性を検討しました。
	194	市民が利用しやすい管理運営の充実 (継続的取組み)		生涯学習課	・利用登録団体からの参加者募集案内を随時更新するとともに、他部署等からのイベント案内の掲示等により、市民の学習活動に役立つ情報を提供し、相談に対応しました。 ・各公民館において、施設の適正な管理のための業務委託や物品の賃貸借を行いました。 ・その他、地域活動の情報提供、窓口や電話での相談の対応、備品の貸出等を行いました。
3 公民館の適正配置の検討	195	公民館の適正配置の検討 (目標年度:令和4年度)		生涯学習課	・令和5年4月からのコミュニティセンターへの移行を踏まえ、市民にとって身近な学習施設として地域教育活動の支援や活動拠点となるよう、関係課と調整しました。 ・栗橋公民館については、公共施設個別施設計画の中で、現在の公民館機能を含めた複合施設(栗橋市民プラザ)の建設が示され、統廃合について統合手法や今後のスケジュール等を関係課と調整しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各公民館が特色ある事業を実施することで、市民の教養を向上させ、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興に寄与することができました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響下ではありましたが、必要な感染防止対策を徹底したうえで事業を実施したところ、令和3年度に比べて、事業数は1.4倍、参加者は1.5倍の増加となりました。	・公民館ごとに事業を企画しているため、同種の事業を同時期に行わないよう、調整を図る必要があります。	3	・コミュニティセンター移行後も市民の意向と地域のニーズに応じた事業を展開するため、公民館事業運営委員と連携を図りながら、地域の特色ある新規事業を実施するとともに、既存事業の充実を図り、円滑かつ積極的な事業運営を進めていきます。
・各公民館の館長並びに運営委員の代表委員からなる公民館連絡協議会が主催する共同事業を実施することで、各公民館の枠を超えた事業を参加者に提供することができました。 ・従来の提供型事業ではなく、市民が自ら企画、運営する事業を実施することで、生涯学習を身近に感じるとともに地域づくりへの参加の場を提供することができました。	・市民企画事業の募集について、新しい企画事業、また多くの企画事業の応募があるよう、周知方法等について工夫をする必要があります。	3	・各公民館の枠を超えた事業実施の意義を踏まえ、コミュニティセンター移行後も、公民館事業推進室の室長と各地区の公民館事業運営委員の代表で「久喜市公民館事業連絡協議会」を組織し、当該事業を積極的に実施していきます。
・現時点における各公民館の修繕計画を把握することにより、公民館全体として、今後の大規模改修を要する施設及び修繕内容について緊急性や優先度合いを検討し、予算要求に反映することができました。	・コミュニティセンターへの移行後も利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、現在の各公民館の修繕計画の見直しを定期的に行う必要があります。	B	・各公民館のコミュニティセンターへの移行後も、支障なく施設が使用できるよう修繕計画に基づく修繕を進めていきます。
・利用者が快適に利用できる環境に公民館を維持・管理することができました。 ・市民や利用者の相談に対し、職員や公民館補助委員が適切に対応することができました。	・施設の老朽化等に伴い、業務委託の内容等を従来以上に精査する必要があります。 ・備品の経年による損耗が見られることから、適宜補充する必要があります。	3	・各公民館のコミュニティセンターへの移行後も、利用者が安全で快適に利用できるよう業務委託等を適切に実施していきます。 ・利用者の相談に対し、引き続き適切に対応していきます。
・コミュニティセンターへの移行にあたり、公民館利用者に対し現在と同様のサービスを提供できるよう、関係課と調整を図ることができました。 ・栗橋市民プラザの建設について、関係各課における取組みや検討状況などの情報を共有することができました。	・コミュニティセンターへの移行にあたり、公民館利用者へのサービス提供等を適切に行っていく必要があります。 ・栗橋市民プラザの建設については、これまでの取組みや検討状況を踏まえ、検討していく必要があります。	B	・令和5年4月からのコミュニティセンターへの移行を踏まえ、施設の適正配置について、公共施設個別施設計画に基づき、検討していきます。 ・栗橋市民プラザへの統合については、今後とも関係課と調整を図っていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

施策 5 図書館サービスの充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 「久喜市立図書館の基本的運営方針」の効果的な推進	196	市民に伝える図書館の推進 (継続的取組み)		生涯学習課	・市民ニーズの広がりや多様化に的確に対応していくため、蔵書の充実を図りました。 ・郷土資料や行政資料など様々な資料や情報を積極的に収集し、市民が必要とする図書館資料を収集するとともに提供しました。 (人口一人あたりの貸出冊数 4.78冊)
	197	市民を支える図書館の推進 (継続的取組み)		生涯学習課	・本市の社会教育・生涯学習を支える中核的な役割を担う施設として市民の「学び」を支えるため、レファレンスサービスの強化を図りました。 ・大活字本や点字図書、洋書等の充実を図ることにより、高齢者、障がい者及び外国人に対する支援を行いました。 (レファレンスに対する利用満足度 50.5%)
	198	市民が集う図書館の推進 (継続的取組み)		生涯学習課	・これまでの利用者に加え、子どもから高齢者まで気軽に市民の集える居場所として、館内スペースの有効活用を図るとともに、各種のイベントや講座を開催するなど、あらゆる世代に向けた魅力ある図書館づくりを行いました。 ・託児サービスを見直し、育児コンシェルジュ(保育士等)を配置しました。
	199	子どもの成長を応援する図書館の推進 (継続的取組み)		生涯学習課	・図書館を子どもにとって魅力ある場所にするため、おはなし会や読み聞かせなどのイベントを充実しました。 ・学校訪問や一日図書館員などの子ども向け講座の実施、図書館を使った調べる学習コンクールの開催など、市内小学校と連携することで子どもの読書環境の充実と活動支援を行いました。 ・4か月児検診時にブックスタート事業を行いました。 (学校への団体貸出冊数 1,040冊) (学校訪問事業実施学校数 21校)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・市民のニーズを踏まえ、市立図書館4館の連携を図りながら選書することで、利用者の学習活動・課題解決に必要な図書館資料や情報を提供することができました。	・選書については、引き続き4館の連携を図っていく必要があります。 ・除籍については、各館で行うだけでなく、再活用につなげて、できる限り現物処分を少なくする必要があります。 ・一般流通のない郷土資料や行政資料の収集にも配慮する必要があります。	3	・選書や除籍については、市民のニーズを踏まえた選定を行いながら、一般流通のない郷土資料や行政資料にも目を配り、4館の連携を図っていきます。 ・質の高いサービスを提供するため、職員の専門能力の向上に努めていきます。
・様々な利用者の多岐にわたる疑問、調べものの課題解決について役立つ資料や情報を提供し、学習や調査・研究の支援を行うことができました。 ・高齢者、障がい者及び外国人にとって利用しやすい読書環境を提供することができました。	・質の高いサービスを提供するため、職員の専門能力の向上が求められています。 ・高齢者や障がい者、外国人に配慮したサービスの提供に今後も引き続き努めていく必要があります。	3	・図書館のレファレンス機能を強化するとともに、課題解決型サービスの充実に努めていきます。 ・質の高いサービスを提供するため、職員の専門能力の向上に努めていきます。 ・サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)に加入し、障がい者サービスの充実に努めていきます。 ・高齢者や外国人の利用者にとって利用しやすいサービスの充実に努めていきます。
・様々な世代を意識したイベント等を実施して多様な学習機会を提供し、多くの市民に来館してもらうとともに、イベントに関係のある図書等を紹介することで、図書への興味・関心を喚起し、図書館の活用を促進することができました。 ・富蒲図書館と鷺宮図書館に育児コンシェルジュを配置することで、育児相談や司書と連携した本の案内を行い、図書館利用や貸出につなげることができました。	・図書への興味・関心を喚起するイベントについて、今後も引き続き実施していく必要があります。 ・利用者が安全・快適に利用できるスペースを確保していく必要があります。	3	・図書への興味・関心を喚起するイベント等の開催について、様々なアイデアを考え、利用者の増加を図っていきます。 ・図書館事業や図書館サービスを多くの市民に周知利用してもらうため、他の公共施設や団体と協力した取り組みを行っていきます。
・学校訪問ブックトークを小学校全校で実施することにより、子どもの読書活動への興味につなげることができました。 ・学校との連携を強化することで、児童生徒の読書傾向や学習内容を把握し、学校の要望に沿った資料を提供しました。 ・図書館を使った調べる学習コンクールの開催により、子どもの読書環境の充実や図書館利用の促進を図ることができました。 ・ブックスタート事業を行うことにより、乳幼児へ向けた読書環境の充実を図ることができました。 ・モデルケースとして久喜小学校6年生に学校と連携した図書館利用登録を行い、電子図書館の利用促進につなげることができました。	・学校の教科書やカリキュラムに応じた適正な資料提供(団体貸出)が行えるよう、教職員と図書館との連携を強化していく必要があります。 ・図書館を使った調べる学習コンクール開催等を通じて子どもの読書に対する意識を喚起していく必要があります。 ・ブックスタートなどの就学前の乳幼児期の子どものための読書環境の充実を図るため、他の公共施設やボランティアと連携して事業を行っていく必要があります。	3	・学校訪問ブックトークは、引き続き全小学校で実施していきます。 ・児童生徒の学習支援のため、学校カリキュラムとの連携を図り、教科のテーマにあった貸出を実施していきます。 ・図書館を使った調べる学習コンクールの開催など、子どもの読書活動に対する意識喚起と読書環境の充実を図っていきます。 ・学校と連携した図書館利用登録について、学年や地域を拡大していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

施策 5 図書館サービスの充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	200	ICTの利活用 (継続的取組み)		生涯学習課	・紙媒体の広報くきや図書館だよりによる情報提供を行うとともに、図書館ホームページやSNS等のインターネットを活用した情報発信を行いました。 ・館内利用者向けフリーWi-Fiの活用を図り、電子図書館機能の充実を図るなど、市民に対し、ICTを活用した「学び」の提供を行いました。 ・電子図書館の利用促進のため、学校の朝読書や授業等で活用できるよう、同時に同一コンテンツを読むことのできる「児童書読み放題パック」を導入しました。 (電子図書館タイトル数 3,647点)
	201	図書館環境の整備 (継続的取組み)		生涯学習課	・施設管理については、指定管理者が中心となり、本市と協議を行いながら修繕など適切な維持管理に努めました。 ・施設運営については、指定管理者のノウハウを活用しながら適切な運営ができました。 ・館内スペースの有効利用を図り、適切な除籍を進めることによって探しやすい資料配置を行いました。 ・「ベビーケアルームmamaro(ママロ)」を菖蒲図書館と鷺宮図書館に設置しました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・ホームページやSNS等を使うことで、イベントや館内展示等の図書館利用に役立つ最新情報を伝えることができるようになり、急に発生した事柄も迅速に利用者に発信できるようになりました。また、市ホームページのカレンダー画面に、図書館事業のリンクを貼ることで利便性の向上を図ることができました。 ・蔵書検索やWeb予約などインターネットを活用した図書館機能の充実を図ることができました。 ・モデルケースとして久喜小学校6年生に学校と連携した図書館利用登録を行い、電子図書館の利用促進につなげることができました。	・広報くき、図書館だより、図書館ホームページ、SNS等による市民への情報発信は今後も引き続き実施していく必要があります。 ・インターネットを利用した図書館機能の拡充により、利用者への図書館サービスの向上に努めます。 ・電子書籍の特色を考慮した選定・収集を行い、電子図書館の魅力を市民へPRしていく必要があります。	3	・より効果的な情報発信に努めていきます。 ・積極的に電子書籍を収集し、電子図書館の充実に努めていきます。 ・リクエストや利用券申請など新たなWebサービスを検討し、図書館サービスの向上に努めます。 ・学校と連携した図書館利用登録について、学年や地域を拡大していきます。
・施設の適切な維持管理を行うとともに、市民にとって利用しやすい快適な読書環境の充実を図ることができました。 ・「ベビーケアルームmamaro(ママロ)」を設置し子育て世代の利用促進を図ることができました。	・施設の老朽化に対応していく必要があります。 ・引き続き適切な施設の維持管理に努めていきます。 ・探しやすい資料配置のため、適切な選書や除籍を行い最新の資料が利用できるよう努め、必要に応じて書架のレイアウト変更等を行っています。	3	・改修箇所を把握し、計画的な修繕が行えるよう、日頃から施設の点検を実施していきます。 ・日常の書架整理を継続し、適宜、閉架スペースへの除架や老朽化した図書の除籍を行い、市民が必要としている資料を探しやすく提供できるようにします。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進
 施策 6 市民大学・高齢者大学の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 市民大学の充実	202	市民大学講座の充実 ※再掲(連番No.175) (継続的取組み)		生涯学習課	・久喜市の歴史や文化、環境等についての講座をはじめ、特別講座として、学長・副学長の講話や生涯学習のリーダー育成のためのボランティア体験、学生が自ら企画する企画講座等を実施しました。 (1年生:29講座11人、2年生:19講座14人)
	203	市民大学公開講座の充実 ※再掲(連番No.176) (継続的取組み)		生涯学習課	・公開講座を菖蒲地区2回、栗橋地区1回、鷺宮地区9回の計12回開催しました。主な講座として、「本多静六博士と渋沢栄一」「利根川東遷と栗橋宿」「久喜の自然と風土」等、久喜の歴史や文化、自然環境等のテーマを実施しました。 (一般参加者115人)
2 高齢者大学の充実	204	高齢者大学講座の充実 ※再掲(連番No.177) (継続的取組み)		生涯学習課	・食生活や体力づくり、環境問題、介護問題など実生活に即した講座や、趣味活動や社会参加による生きがいを高めるような講座を実施しました。 (1年生:14講座41人、2年生:13講座27人、3年生:13講座44人、4年生:13講座41人)
	205	学校行事(体育祭、作品展示会、音楽芸能祭等)の充実 ※再掲(連番No.178) (継続的取組み)		生涯学習課	・グラウンドゴルフ大会、体育祭、音楽芸能祭、作品展示会を実施し、学生相互の交流、連帯感を図りました。
	206	自主活動(クラブ活動、ボランティア活動)の充実 ※再掲(連番No.179) (継続的取組み)		生涯学習課	・クラブ活動をとおり、趣味活動を積極的に支援しました。 ・公共施設の草取り等を行いました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・生涯学習活動やボランティア活動を通じて、地域コミュニティづくりの担い手及びリーダーとしての素養を高めることができました。 ・令和4年度からは、鷺宮総合支所5階に整備した生涯学習施設を主会場として、講座を実施しました。	・更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。 ・入学者数が減少傾向にあるため、市民への周知方法を検討し、学生数の増加につなげていく必要があります。	3	・生涯学習施設「まなびすポット」を更に学生に使用していただけるよう呼びかけていきます。 ・学生数の増加につなげていくため、各地区のまつり等イベントで大学についてPRするなど、学生の募集について、幅広く周知していきます。
・公開講座を実施することにより、市民大学生以外の市民にも聴講していただき、市民大学の講義の状況や活動の様子を知ってもらう機会を提供することができました。	・更に多くの市民の方に聴講していただき市民大学を知っていただくため、広く周知していく必要があります。	3	・3地区(荳蒲、栗橋、鷺宮)で開催し、市民大学を知っていただけるよう幅広く周知していきます。 ・魅力ある講座メニューの見直しについて検討します。
・学生の実生活に即した学習の機会を提供し、仲間づくりや生きがいづくりを支援することができました。 ・令和4年度からは、鷺宮総合支所5階に整備した生涯学習施設と中央公民館を主会場として、講座を実施しました。	・更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。 ・入学者数が減少傾向にあるため、市民への周知方法を検討し、学生数の増加につなげていく必要があります。	3	・生涯学習施設「まなびすポット」を更に学生に使用していただけるよう呼びかけていきます。 ・学生数の増加につなげていくため、各地区のまつり等イベントで大学についてPRするなど、学生の募集について、幅広く周知していきます。
・新型コロナウイルス感染症対策を講じて、全ての学校行事(グラウンドゴルフ大会、体育祭、音楽芸能祭、作品展示会)を実施することができました(体育祭は3年ぶりに実施)。	・学生の意見を尊重するとともに、役割分担を適切に行っていく必要があります。	3	・学生の意見に耳を傾け、講座内容の充実を図っていきます。 ・学校行事の準備や練習を行うにあたり、生涯学習施設「まなびすポット」を学生に使用していただけるよう呼びかけていきます。
・クラブ活動をとおして、友情の輪を広げることができました。 ・ボランティア活動をとおして、ボランティア精神を育みました。	・ボランティア活動の負担感を軽減するとともに、活動の充実を図っていく必要があります。	3	・学生の負担感に留意し、クラブ活動とボランティア活動を推進していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 5 豊かな生き方を築く生涯学習の推進

施策 7 放課後子ども教室の推進

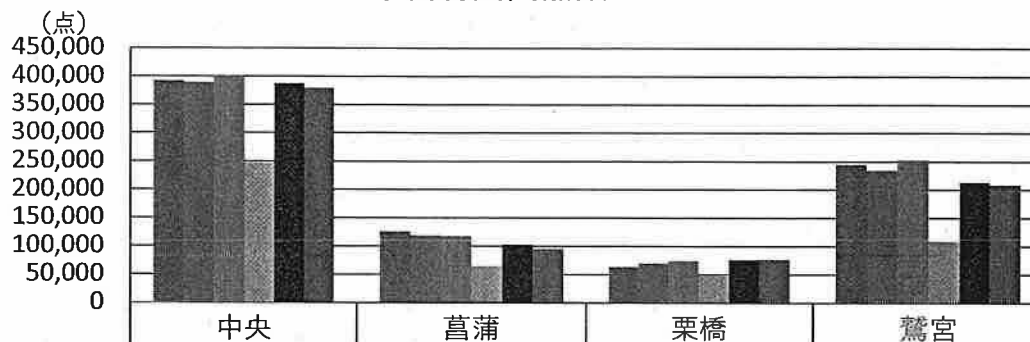
具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 放課後子ども教室の推進	207	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが健やかにはぐくまれる環境づくりの推進 (継続的取組み)		生涯学習課	・新型コロナウイルス感染症の影響もいづらか落ち着き、市内小学校21校(全校)で放課後子ども教室が実施されました。 ・運営委員会、実施委員会を開催し、各放課後子ども教室の情報交換をしました。 ・運営委員会会長や副会長、事務局職員が実施委員会や活動日に訪問し、各放課後子ども教室を支援しました。 (講座数322、実施委員及びサポーター数2,176人)
	208	安全・安心な活動拠点の確保と調整 (継続的取組み)		生涯学習課	・実施委員、サポーター等を対象とした他の放課後子ども教室を参観する見学会を実施しました。 ・情報交換会については、規模を縮小して開催しました。 ・感染症対策や熱中症対策について、運営委員会で資料を配布し、情報共有をしました。
2 放課後子ども総合プランの推進	209	放課後子ども総合プランの実現に向けた連携と調整 (継続的取組み)		生涯学習課	・放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)と、学習や体験・交流活動などを行う事業(放課後子ども教室)との連携を図りました。 (一体型18校、連携型3校)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各実施委員会の実施により円滑な運営に係る情報を相互に共有することができました。 ・それぞれの放課後子ども教室では、地域の方や友達と楽しく学んだり遊んだりすることができました。	・講座を開催するにあたっての指導者・サポーターの人材確保、児童が興味を持つ講座内容、オンラインによる開催手法等、各実施委員会を中心に検討していく必要があります。 ・事業実施にあたって必要な作成書類等について、実施委員の負担軽減について検討する必要があります。	3	・学校・家庭・地域の連携をもとに、放課後子ども教室の活動の充実を図っていきます。 ・指導者やサポーターの人材確保につなげるため、チラシ等の配布を通して事業についてPRするなど、幅広く周知していきます。
・情報交換会では、59名が参加し、「各ゆうゆうプラザの現状と課題について」をテーマに、活動の実施状況や講座の内容等を中心に話し合うことができました。	・情報交換会については、内容の検討や会場の検討、見学会については、日程の調整や参加者数を検討し、事業の充実を図っていく必要があります。	3	・今後も、子どもたちの安全・安心な活動拠点として、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会の提供を図っていきます。
・放課後児童クラブと連携して、放課後子ども教室を実施することができました。	・小学校の余裕教室等の活用や、教育と福祉との連携方策等について検討していく必要があります。 ・放課後児童クラブに参加する多くの児童が、放課後子ども教室への参加にもつながるよう、学童との連携をより一層図っていく必要があります。	3	・学校教育に支障が生じないよう、余裕教室や放課後等に一時的に使われていない特別教室等の活用を促進していきます。 ・放課後児童クラブに参加する児童に対し、放課後子ども教室について、事業内容等の周知を図っていきます。 ・統廃合が計画されている学校の放課後子ども教室の運営について、実施委員会の意向も考慮しながら検討していきます。

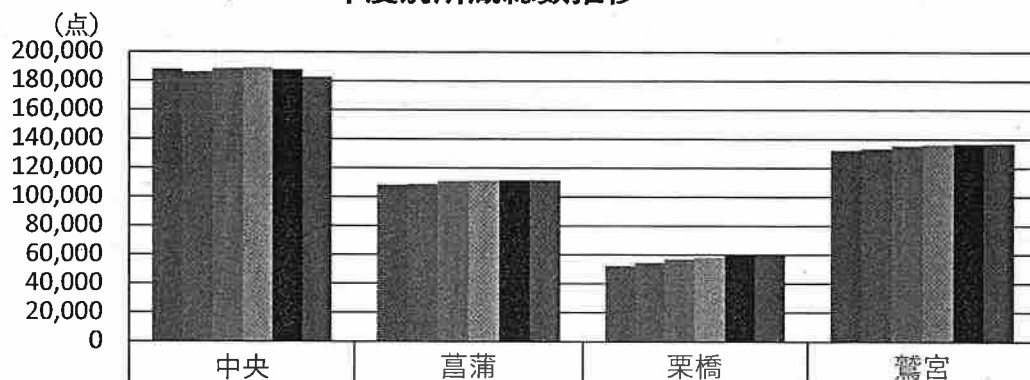
平成29年度～令和4年度 図書貸出・所蔵数推移

年度別貸出点数



	中央	菖蒲	栗橋	鷺宮
■平成29年度	392,584	125,936	64,344	244,960
■平成30年度	389,788	119,672	70,048	234,589
■令和元年度	401,348	118,612	74,305	253,026
■令和2年度	247,000	65,349	47,407	108,990
■令和3年度	387,963	103,354	76,740	213,796
■令和4年度	379,788	95,500	76,601	209,187

年度別所蔵総数推移



	中央	菖蒲	栗橋	鷺宮
■平成29年度	188,122	108,198	52,230	132,172
■平成30年度	186,187	108,766	54,906	133,349
■令和元年度	188,643	110,866	57,060	135,606
■令和2年度	188,995	111,383	58,331	136,162
■令和3年度	187,993	111,394	59,787	136,803
■令和4年度	182,804	111,550	60,287	136,885

基本目標6

歴史・文化の継承と活用

基本目標の概要

多様な文化芸術活動を支援するとともに、市民が文化芸術に触れることができる機会の充実を図ります。また、市の文化的・歴史的資産を未来に継承するとともに、地域の活性化に役立てます。

施策

- 1 文化芸術団体の育成・支援
- 2 文化芸術活動等の充実
- 3 地域文化資源の発掘
- 4 文化財の保存・継承
- 5 文化財の活用
- 6 郷土資料館の充実

6つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 13 ○数値目標 7 ○取組み 20

担当課

○生涯学習課 ○文化財保護課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全7件)	達成度		件数	割合
	A	達成率 100%以上	3	42.9%
	B	達成率 90%以上 100%未満	0	0.0%
	C	達成率 80%以上 90%未満	0	0.0%
	D	達成率 80%未満	4	57.1%

継続的 取組み (全19件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	19	100.0%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	0.0%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	0.0%
	—	評価できない	0	0.0%

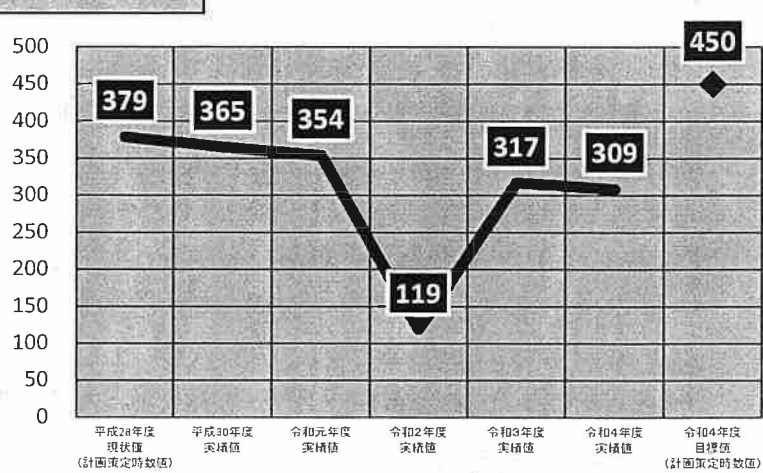
目標年度が 設定された 取組み (全1件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	0	0.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%
	—	評価できない	1	100.0%

学識経験者の意見

- 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実について、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中においても、美術展、吹奏楽フェスティバルの入場者数はコロナ禍前に回復する傾向にあり、街かどコンサートの実施回数も回復している。
- 美術展や市民芸術祭、吹奏楽フェスティバル、街かどコンサートは、出品数、出演団体が多く、日ごろの取組みの成果の発表の場となっており、多くの来場者の方が芸術を鑑賞することができることで、心の豊かさを深め、地域の文化の創造と振興に貢献している。
- 郷土資料館の展示の実施等による所蔵資料の活用では、特別展、収蔵品展、スポット展、埼玉県東部地区連携展示を開催し、新型コロナウイルス感染症対策のもと、久喜市の歴史に興味・関心をもった多くの来館者があった。それぞれの展示のタイトルも興味を引く魅力的なもので、展示内容も充実していた。
- 歴史と文化の継承と活用について、久喜のもっている歴史や文化というのは、久喜で育った子どもたちが帰る場所、戻るべき場所である。その文化と歴史を継承するということは、私たちが次世代に何をつなげていくかということで、非常に大事な施策である。
- 発掘調査報告書の刊行と市史編さんの検討について、郷土の歴史を知らせるということは、郷土に誇りを持ち、住んでいる場所を大切にすることと繋がる。これらは学校教育の基盤になることであり、大人だけでなく子どもたちも恩恵を受けているため、続けていただきたい。

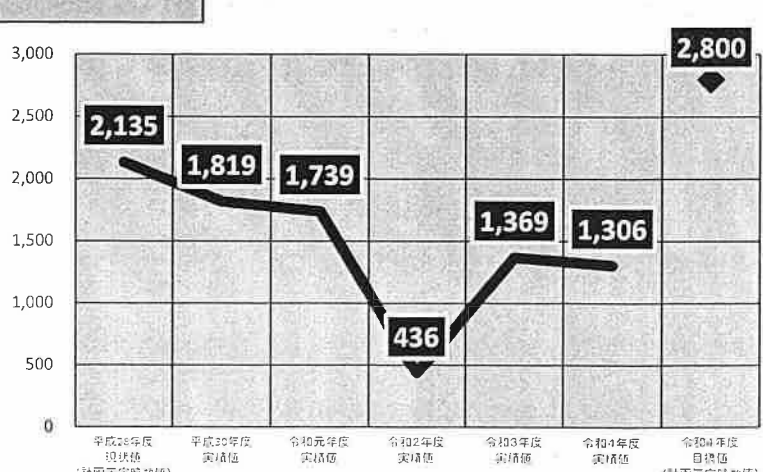
第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- 基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 2 文化芸術活動等の充実
 具体的施策 1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実

数値目標名	久喜市美術展出品者数	担当課	生涯学習課																
単位	人	達成率	68.7%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	379	達成度	D																
平成30年度 実績値	365	推移グラフ	 推移グラフのデータ: <table><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>379</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>365</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>354</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>119</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>317</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>309</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>450</td></tr></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	379	平成30年度 実績値	365	令和元年度 実績値	354	令和2年度 実績値	119	令和3年度 実績値	317	令和4年度 実績値	309	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	450
年度	数値																		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	379																		
平成30年度 実績値	365																		
令和元年度 実績値	354																		
令和2年度 実績値	119																		
令和3年度 実績値	317																		
令和4年度 実績値	309																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	450																		
令和元年度 実績値	354																		
令和2年度 実績値	※ 119																		
令和3年度 実績値	317																		
令和4年度 実績値	309																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	450																		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、第1部(絵画・彫刻・工芸)及び第2部(書)が中止となったため、実績値が減少しました。

- 具体的施策 1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実

数値目標名	久喜市美術展入場者数	担当課	生涯学習課																
単位	人	達成率	46.6%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2,135	達成度	D																
平成30年度 実績値	1,819	推移グラフ	 <table><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr><tr><td>平成28年度 現状値 (計画策定時数値)</td><td>2,135</td></tr><tr><td>平成30年度 実績値</td><td>1,819</td></tr><tr><td>令和元年度 実績値</td><td>1,739</td></tr><tr><td>令和2年度 実績値</td><td>436</td></tr><tr><td>令和3年度 実績値</td><td>1,369</td></tr><tr><td>令和4年度 実績値</td><td>1,306</td></tr><tr><td>令和4年度 目標値 (計画策定時数値)</td><td>2,800</td></tr></table>	年度	数値	平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2,135	平成30年度 実績値	1,819	令和元年度 実績値	1,739	令和2年度 実績値	436	令和3年度 実績値	1,369	令和4年度 実績値	1,306	令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2,800
年度	数値																		
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	2,135																		
平成30年度 実績値	1,819																		
令和元年度 実績値	1,739																		
令和2年度 実績値	436																		
令和3年度 実績値	1,369																		
令和4年度 実績値	1,306																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2,800																		
令和元年度 実績値	1,739																		
令和2年度 実績値	※ 436																		
令和3年度 実績値	1,369																		
令和4年度 実績値	1,306																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2,800																		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、第1部(絵画・彫刻・工芸)及び第2部(書)が中止となったため、実績値が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- 基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 2 文化芸術活動等の充実
 具体的施策 1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実

数値目標名	市民芸術祭入場者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	34.9%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	911	達成度	D
平成30年度 実績値	949	推移グラフ	※第2期計画の数値目標設定時に、平成25～27年度の実績値が800人に届かず、第1期計画の目標値850人を下回る結果となっていたため、過去の実績を踏まえ、数値目標を800人と設定しています。
令和元年度 実績値	622		
令和2年度 実績値	※1 0		
令和3年度 実績値	※2 1,040回		
令和4年度 実績値	279		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	800		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となりました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催となりました(R4.3月末時点の視聴回数)。

具体的施策 1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実

数値目標名	吹奏楽フェスティバル入場者数	担当課	生涯学習課
単位	人	達成率	134.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1,968	達成度	A
平成30年度 実績値	2,684	推移グラフ	インターネットライブ配信視聴者数を含む値との比較
令和元年度 実績値	2,721		
令和2年度 実績値	※1 0		
令和3年度 実績値	※2 7,776回		
令和4年度 実績値	※3 2,814		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2,100		

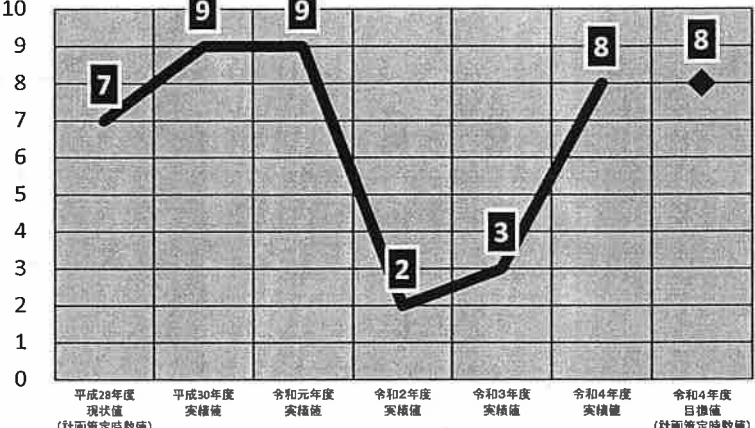
※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となりました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催となりました(R4.3月末時点の視聴回数)。

※3 入場者数と、インターネットライブ配信視聴者数(延べ人数)の合計です。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	6 歴史・文化の継承と活用
施策	2 文化芸術活動等の充実
具体的施策	1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実

数値目標名	街かどコンサートの実施回数	担当課	生涯学習課
単位	回	達成率	100.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	7	達成度	A
平成30年度 実績値	9	推移グラフ	
令和元年度 実績値	9		
令和2年度 実績値	※ 2		
令和3年度 実績値	3		
令和4年度 実績値	8		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	8		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたコンサートの開催ができないものがあつたため、実績値が減少しました。

第2期久 教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

- 6 歴史・文化の継承と活用
- 4 文化財の保存・継承
- 3 指定 形民俗文化財の後継者育成・伝承活動への支援

郷土伝統芸能後継者
育成活動の実施回数

文化財保

回 62.9%

377

405

385

※ 63

※ 78

239

380



め、実施回数が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調査

基本目標	6 歴史・文化の継承と活用
施策	6 郷土資料館の充実
具体的施策	1 展示の実施等による所蔵資料の活用

数値目標名	郷土資料館の入館者数	担当課	文化財保護課																								
単位	人	達成率	101.7%																								
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	7,766	達成度	A																								
平成30年度 実績値	8,880	推移グラフ	<table><caption>推移グラフのデータ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>入館者数</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度</td><td>7,766</td><td>現状値(計画策定時数値)</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>8,880</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>8,835</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>1,652</td><td>※1 実績値</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>5,756</td><td>※2 実績値</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>8,038</td><td>実績値</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>7,900</td><td>目標値(計画策定時数値)</td></tr></tbody></table>	年度	入館者数	備考	平成28年度	7,766	現状値(計画策定時数値)	平成30年度	8,880	実績値	令和元年度	8,835	実績値	令和2年度	1,652	※1 実績値	令和3年度	5,756	※2 実績値	令和4年度	8,038	実績値	令和4年度	7,900	目標値(計画策定時数値)
年度	入館者数			備考																							
平成28年度	7,766			現状値(計画策定時数値)																							
平成30年度	8,880			実績値																							
令和元年度	8,835			実績値																							
令和2年度	1,652	※1 実績値																									
令和3年度	5,756	※2 実績値																									
令和4年度	8,038	実績値																									
令和4年度	7,900	目標値(計画策定時数値)																									
令和元年度 実績値	8,835																										
令和2年度 実績値	※1 1,652																										
令和3年度 実績値	※2 5,756																										
令和4年度 実績値	8,038																										
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	7,900																										

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館や入場制限、特別展の中止等の対応を行ったため、入館者数が減少しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、入場制限や主催事業の中止等の対応を行ったため、入館者数が回復するまでには到りませんでした。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 1 文化芸術団体の育成・支援

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 文化芸術団体の活動支援及び育成	210	文化団体の育成支援 (継続的取組み)		生涯学習課	・市内4地区の文化団体連合会等に、次のとおり補助金を交付しました。 ①久喜文化団体連合会 956,646円 ②菖蒲町文化団体連合会 662,538円 ③栗橋文化協会 557,346円 ④鷺宮文化団体連合会 447,647円

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 2 文化芸術活動等の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 文化芸術活動の成果発表及び鑑賞する機会の充実	211	美術展(絵画等・書・写真)の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・美術展を以下のとおり実施しました。 【絵画・彫刻・工芸】 開催日: R4. 10. 12(水)～10. 16(日) 会場: 久喜総合文化会館広域文化展示室 (出品数: 92点、入場者数: 476人) 【書】 開催日: R4. 10. 20(木)～23(日) 会場: 久喜総合文化会館広域文化展示室、視聴覚ライブラリー室、研修室3 (出品数: 98点、入場者数: 472人) 【写真】 開催日: R4. 11. 15(火)～20(日) 会場: 久喜総合文化会館広域文化展示室 (出品数: 119点、入場者数: 358人)
	212	市民芸術祭の実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・市民芸術祭を以下のとおり実施しました。 開催日: R5. 1. 22(日) 会場: 久喜総合文化会館小ホール (出演団体: 10組) (入場者数: 279人)
	213	吹奏楽フェスティバルの実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・埼玉県芸術文化祭地域文化事業参加事業として『音楽の街・久喜市』吹奏楽フェスティバルを以下のとおり実施しました。 開催方法: 会場での開催(入場制限有)及びインターネットライブ配信の実施 開催日: R4. 11. 13(日) 会場: 久喜総合文化会館大ホール (出演団体13団体: ①久喜中学校②久喜東中学校③太東中学校④菖蒲中学校⑤栗橋東中学校⑥鷺宮中学校⑦鷺宮西中学校⑧鷺宮東中学校⑨久喜高等学校⑩鷺宮高等学校⑪久喜北陽高等学校⑫久喜シンフォニックウインズ⑬花咲徳栄高等学校) (入場者数: 954人、ライブ配信視聴者数: 1,860人(延べ人数))

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・4地区の文化団体連合会等に補助金を交付することで、各団体が市民文化祭などの文化事業を、自主的に計画・実施することができました。	・高齢化等により会員が減少傾向にあることから、新たな会員の確保が必要です。また、文化活動を促進させるため、文化団体同士の情報交換や交流する場を設け、横の連携を図っていく必要があります。	3	・文化団体の活動について、幅広い世代に親しんでもらえるよう、周知方法等についての見直しを検討します。また、統合を見据えた文化団体同士の情報交換や交流について、各地区の文化団体連合会等の役員と協議・検討していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・文化芸術の分野で活動する方に、日頃の創作活動の成果を発表する機会を提供することができました。 ・市民に文化芸術を鑑賞する機会を提供することができました。	・文化団体連合会等の会員以外の一般の方からの出品につながる周知方法等を検討していく必要があります。	3	・出品者の増加に繋がるよう、市民への周知方法等について見直しを検討していきます。
・市内で活動する、楽器演奏、歌唱、吟詠、民謡、ダンス、演劇の表現芸術団体に、日頃の活動の成果を発表する機会を提供することができました。 ・市民に舞台表現芸術を鑑賞する機会を提供することができました。	・出演者数、入場者数ともに減少傾向にあることから、周知方法等を検討していく必要があります。	3	・参加者の増加に繋がるよう、周知方法等について見直しを検討していきます。 ・来場者にイベントの内容及び方向性がより明確に伝わるよう、プログラムの編成を検討していきます。
・市内の中学校や高等学校、社会人の吹奏楽団体に、日頃の活動の成果を発表する機会を提供することができました。 ・市民や県民に、良質でレベルの高い吹奏楽演奏を鑑賞する機会を提供することができました。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、入場制限を実施しての開催となりましたが、今後は感染対策を施しながら、通常どおりの開催を行う必要があります。	3	・入場制限を実施せず、通常どおりの方法で開催します。 ・インターネットライブ配信を引き続き実施するとともに、インターネットの特性を生かし、姉妹都市のローズバーグに向けても積極的な情報発信を行います。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用

施策 2 文化芸術活動等の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	214	街かどコンサートの実施 (継続的取組み)		生涯学習課	・街かどコンサートを以下のとおり実施しました。 ①R4. 6. 25(土)開催 64人来場 会場:ブルーフェスティバルイベント会場 内容:ウクレレ演奏(ポップス等) ②R4. 10. 16(日)開催 87人来場 会場:市民まつり会場内(スタジオYOU 駐車場) 内容:ギター弾き語り(ポップス) ③R4. 11. 17(木)開催 51人来場 会場:久喜総合文化会館ふれあい広場 内容:マンドリン・チェロ演奏(ポップス) ④R4. 12. 2(金)開催 50人来場 会場:久喜総合文化会館サイエンスホール1階ロビー 内容:オカリナ演奏(ポップス等) ⑤R4. 12. 4(日)開催 968人来場 会場:モラージュ菖蒲滝のコート 内容:ダンス・バンド演奏(ポップス) ⑥R5. 3. 25(土)開催 60人来場 会場:中央公民館大集会室 内容:ギター・ピアノ演奏(ポップス) ⑦R5. 3. 26(日)開催 会場:久喜マラソン沿道 内容:ギター・吹奏楽等演奏(ポップス等) ⑧R5. 3. 30(木)開催 83人来場 会場:毎日興業アリーナメインアリーナ事務所前広場 内容:バンド演奏(ポップス)
2 市民ギャラリーの設置	215	市民ギャラリーの設置に向けた検討 (目標年度:未定)		生涯学習課	・旧東京理科大学久喜キャンパス跡地に市民ギャラリーの設置を検討しました。当該施設について今後市の方針が決定され次第、再検討を行うこととしました。

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用

施策 3 地域文化資源の発掘

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 調査報告書の刊行	216	発掘調査報告書の刊行 (継続的取組み)		文化財保護課	・発掘調査報告書を刊行するための準備として、天王山西遺跡からの出土品の調査と情報の整理を実施しました。
3 市史編さんの検討	217	編さん資料の基礎情報の整理 (継続的取組み)		文化財保護課	・久喜市の歴史等に関係する主要論文等について、今年度は各地区ごとにテーマをしばってデータを整理しました。 久喜地区:甘棠院 菖蒲地区:栢間古墳群 栗橋地区:栗橋宿・栗橋関所 鷺宮地区:鷺宮神社

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・市内外の音楽演奏愛好者の方に、音楽文化の創造や発信、交流の機会を提供することができました。 ・市民が音楽の豊かさや楽しさに触れる機会を提供し、「音楽の街・久喜市」の魅力を発信することができました。	・若い世代の演奏登録者の掘り起こしをしていく必要があります。 ・出演者同士が交流できるような機会を設定していく必要があります。	3	・演奏登録者の募集について、市ホームページや公共施設へのポスター掲示など、積極的な働きかけを検討していきます。 ・複数の演奏者が出演するコンサートを増やし、出演者同士の交流を図るため、演奏時間の延長を検討していきます。
・令和4年度中に市の方針が決定されなかったため、具体的な取組みはありませんでした。	・市の方針が決定された後、教育委員会として再検討していく必要があります。	—	・市の方針を注視していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・天王山西遺跡からの出土品について、そのデータ(一部)を取りまとめることができました。	・継続的に歴史や文化財の調査研究を進めていく必要があります。	3	・継続的に報告書等を刊行できるよう調査研究を進めていきます。
・各地区の貴重な文化財に関係する主要論文等を整理することで、職員間で活用ができるようになりました。	・毎年テーマを絞って、継続的に基礎情報を整理していく必要があります。 ・文化財保護審議会の委員とも情報共有を図り連携して進めていく必要があります。	3	・編さん資料の基礎情報の整理を進めていきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 4 文化財の保存・継承

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 指定文化財の保護活動への支援	218	指定文化財の管理等に対する補助等 (継続的取組み)		文化財保護課	・指定文化財の維持等のために所有者・管理者に交付金を交付しました。 (対象59件、実績54件) ・無形民俗文化財等の保存団体等に補助金を交付しました。 (対象9件、実績8件)
2 埋蔵文化財包蔵地の適切な保存	219	試掘・発掘調査の実施 (継続的取組み)		文化財保護課	・開発行為等により埋蔵文化財が破壊されないように、事前に試掘調査を実施して埋蔵文化財の所在を確認しました。 (試掘調査件数8件)
3 指定無形民俗文化財の後継者育成・伝承活動への支援	220	郷土伝統芸能の伝承活動支援 (継続的取組み)		文化財保護課	・神楽、獅子舞、囃子等の保存団体が主体的に実施する伝承活動を支援するため、指導者謝金を交付しました。 (対象20団体、実績15団体、239回開催)
	221	鷺宮催馬楽神楽伝承教室の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	・鷺宮催馬楽神楽の後継者育成に資するため、基礎から学べる伝承教室を開催しました。 鷺宮文化祭(10月23日(日))において榊の舞を発表しました。 開催日:8月31日(水)、9月7日(水)、9月14日(水)、9月16日(金)、9月21日(水)、10月5日(水)、10月12日(水)、10月19日(水)、10月21日(金)、10月23日(日) 講師:鷺宮催馬楽神楽保存会会員 参加者延べ人数:79人

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 5 文化財の活用

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 指定文化財に関する情報の発信	222	「広報くき」やホームページなどでの情報の発信 (継続的取組み)		文化財保護課	・「広報くき」に毎月「久喜歴史だより」を連載しました。 (「広報くき」12回掲載) ・ホームページやSNSで文化財の情報を発信しました。
	223	市指定文化財「吉田家水塚」の公開 (継続的取組み)		文化財保護課	・毎週土・日曜日に定例の公開を行いました。 (公開日102日) ・定例公開日以外にも団体見学を随時受け付けました。 (団体見学3件、197人)
2 指定文化財の説明板の整備	224	指定文化財説明板の設置等 (継続的取組み)		文化財保護課	・市指定文化財説明板を1件設置しました。 (八坂神社の神輿)

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・指定文化財の日常的な維持・管理に資することができました。 ・無形民俗文化財等の継承・伝承に資することができました。	・文化財を適切に保護するため、継続的に支援をしていく必要があります。	3	・文化財を適切に保護するために継続的に支援していきます。
・試掘調査の実施により、埋蔵文化財包蔵地を適切に保存することができました。	・埋蔵文化財が破壊されてしまわないように、開発事業者等と調整を図っていく必要があります。	3	・埋蔵文化財が破壊されてしまわないように、必要に応じて試掘調査を実施していきます。
・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策で伝承活動を縮小あるいは中止する団体もありましたが、同対策を徹底しながら実施した保存団体に対しては、伝承活動を活性化させるとともに、後継者の育成に寄与することができました。	・対象団体全てが伝承活動を実施できるように働きかけていく必要があります。 ・今後も引き続き支援していく必要があります。	3	・郷土伝統芸能が継続していくように、引き続き伝承活動を支援していきます。
・国の重要無形民俗文化財である鶯宮催馬楽神楽の後継者育成の一助とすることができました。	・国の重要無形民俗文化財である鶯宮催馬楽神楽については、今後も後継者育成に努めていく必要があります。	3	・後継者育成につながるよう、継続的に鶯宮催馬楽神楽伝承教室を開催していきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・指定文化財の情報を様々な媒体を用いて周知することができました。	・引き続き指定文化財等の情報を発信していく必要があります。	3	・引き続き「広報くき」に連載をしていきます。 ・引き続きホームページやSNSで指定文化財の情報を発信していきます。
・市指定文化財を適切に保存・活用し、周知することができました。	・指定文化財として保存を前提としながら見学者を増やしていく必要があります。	3	・指定文化財として保存を前提としながら公開を行い、見学者数が増えていくように展示替えや広報を行っていきます。
・現地で指定文化財を見学する人に必要な情報を伝えることができました。	・老朽化している説明板の更新をしていく必要があります。	3	・老朽化している説明板の更新も含めて、今後も引き続き説明板を設置していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 5 文化財の活用

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
3 「歴史文化基本構想」策定の検討	225	文化財調査などの情報整理 (継続的取組み)		文化財保護課	・合併前の市や町などが過去に刊行した調査報告書等の情報を整理しました。 ・郷土資料館や公文書館などが過去に開催した特別展等の情報を整理しました。

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用
 施策 6 郷土資料館の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 展示の実施等による所蔵資料の活用	226	特別展等の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	・特別展 ①第12回特別展「敦 中島家の系譜 ～中島敦没後八十年～」を開催しました。 開催期間:10月8日(土)～12月4日(日) 開催日数:46日 入館者数:2, 196人 ・収蔵品展 ②「ちょっとむかしの道具たちー暮らしと祭りー」、③「ちょっとむかしの道具たち」を開催しました。 開催期間:②4月1日(金)～7月6日(水)、③1月5日(木)～3月30日(木) 開催日数:②79日、③70日 入館者数:②1, 744人、③1, 602人 ・スポット展 ④「あのととき流行ったおもちゃ展」、⑤「うつりゆく鷺宮神社」を開催しました。 開催期間:④8月11日(木)～9月11日(日)、⑤2月25日(土)～3月30日(木) 開催日数:④26日、⑤28日 ・埼玉県東部地区連携展示 ⑥「明治天皇と久喜」を開催しました。 開催期間:7月20日(水)～9月4日(日) 開催日数:38日 入館者数:1, 521人
	227	久喜市立郷土資料館だよりの発行 (継続的取組み)		文化財保護課	・久喜市立郷土資料館だよりの第14号・15号を作成し、公共施設への配架や市ホームページへの掲載をしました。 (年2回発行) ・市立図書館と連携して、電子図書館に掲載しました。
2 市の歴史を紹介する講座の開催等	228	歴史講座の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	①「鷺宮神社の文化財について」 ②「鷺宮神社ゆかりの偉人について」 ③「鷺宮催馬楽神楽について」 ④「鷺宮神社の歴史について」 開催日:①3月4日(土)、②3月5日(日)、③3月12日(日)、④3月21日(火) 講師:①②郷土資料館学芸員、③矢嶋正幸氏(民俗芸能学会評議員)、④新井浩文氏(久喜市文化財保護審議委員) 参加者延べ人数:96人

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・埼玉県教育委員会が、令和2年3月に策定した『埼玉県文化財保存活用大綱』の参考資料と同種のものを整理することができました。	・本市の指定文化財に関する主な参考文献(調査報告書を含む)についても、情報を整理していく必要があります。 ・本市の未指定文化財に関して、県などが過去に刊行した調査報告書の情報を整理していく必要があります。	3	・文化財調査成果データの整理を継続的に行っていきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・ふるさと久喜市が歩んできた歴史に興味を持ていただくことにより、久喜市への愛着心を育み、関心を持ていただくことができました。 ・新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら収蔵資料等を紹介することができました。	・常設展や特別展等の展示の内容や方法、回数等について、今後も必要に応じて検討していく必要があります。	3	・今後も、本市の歴史や文化に関する調査研究を継続的に進めながら、収蔵資料を魅力的に紹介していきます。
・郷土資料館の活動や所蔵資料を、多くの市民等に周知することができました。	・内容や紙面の工夫等について、今後も必要に応じて検討していく必要があります。	3	・今後も、郷土資料館の活動や展示等では活用が難しい魅力ある収蔵資料などを紹介していきます。
・連続講座で、鷲宮神社の基礎的なところから専門的なところまで、文化財や歴史などについて講義を行うことにより、参加者は鷲宮神社について理解を深めることができました。	・市民の学習ニーズに対応した講座を開催していく必要があります。	3	・本市の歴史や文化への愛着心を醸成するため、今後も継続的に開催していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 6 歴史・文化の継承と活用

施策 6 郷土資料館の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
	229	古文書学習会の開催 (継続的取組み)		文化財保護課	・郷土資料館収蔵資料をテキストとし、年間11回の学習会を開催しました。 開催日:5月20日、6月3日、6月17日、7月1日、7月15日、9月16日、10月7日、10月21日、11月18日、12月2日、12月16日(全て金曜日開催) 講師:林貴史氏(久喜市文化財保護審議委員) 参加者延べ人数:261人

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・郷土資料館の収蔵資料を身近に感じていただくとともに、郷土の歴史や文化に関心を持っていただく機会を提供することができました。	・受講生に対し、継続的に古文書解読に取り組んでいただけるように働きかける必要があります。 ・習熟された受講生には、郷土資料館の古文書整理ボランティアとして登録していただくように働きかけていく必要があります。	3	・本市の歴史や文化への愛着心を醸成するため、今後も継続的に開催していきます。

基本目標7

生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実

基本目標の概要

市民が生涯にわたって心身とも健康で活力に満ちた生活を営めるように、久喜市スポーツ推進計画に基づいて、「する」「みる」「ささえる」といった多様なスポーツへの関わり方を推進し、地域のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる各種団体の活動の支援等、スポーツ・レクリエーションに親しむことができる環境づくりに努めます。

施策

- 1 スポーツ・レクリエーション施設の充実
- 2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実
- 3 スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民交流の促進
- 4 スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援

4つの施策における具体的施策と数値目標、取組みの件数

○具体的施策 10 ○数値目標 4 ○取組み 12

担当課

○スポーツ振興課 ○生涯学習課

各数値目標と取組みにおける達成状況

数値目標 (全4件)	達成度		件数	割合
	A	達成率100%以上	1	25.0%
	B	達成率90%以上100%未満	1	25.0%
	C	達成率80%以上90%未満	0	0.0%
	D	達成率80%未満	2	50.0%

継続的 取組み (全12件)	達成度		件数	割合
	4	業務を遂行し想定を超える成果が出た	0	0.0%
	3	予定どおりに業務を遂行できた	11	91.7%
	2	予定を下回る取組み結果となった	0	15.4%
	1	予定していた業務を遂行できなかった	0	7.7%
	—	評価できない	1	8.3%

目標年度が 設定された 取組み (全0件)	達成度		件数	割合
	A	計画を上回っている	0	0.0%
	B	概ね計画どおりである	0	0.0%
	C	計画より遅れている	0	0.0%
	D	計画倒れ・中止となった	0	0.0%

学識経験者の意見

- スポーツ・レクリエーション大会、教室等参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、前年度より実績値が大幅に増加し、目標値にも近づいた。オンラインマラソンやオンラインイベント等、参加する機会の工夫が効果を上げたと思う。
- スポーツ・レクリエーションは、健康・体力の保持・増進とともに、年齢や体力、目的などに応じた活動が行われている。健康づくりや生きがいくりのために関心が高まっている。活動への参加機会の充実に引き続き取り組んでいただきたい。
- スポーツ・レクリエーション施設の充実について、社会体育施設の運営と学校体育施設の開放により、非常に多くの市民の方が利用している。スポーツ・レクリエーション活動へ参加する市民の方が利用しやすいよう、設備等の保守・整備をお願いしたい。
- スポーツ・レクリエーションに取り組むということは、健康を自分で作るという主体的な活動に繋がる。市民の方が健康に生活できれば、その分の福祉予算を他のところに回せるということにも繋がり、最終的に市民全体が見返りを享受できることになるので、とても大切なことである。ぜひ続けていただきたい。
- スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援については、学校の部活動の地域移行も構想に入れて進めていく必要がある。外部組織で子どもたちのスポーツを指導するにあたっては、「教育をする」ということを主眼においていただきたい。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実

施策 1 スポーツ・レクリエーション施設の充実

具体的施策 1 社会体育施設の充実

数値目標名	社会体育施設利用者数	担当課	スポーツ振興課																
単位	人	達成率	75.1%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	277,422	達成度	D																
平成30年度 実績値	296,971	推移グラフ	<table><caption>社会体育施設利用者数の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度(現状値)</td><td>277,422</td></tr><tr><td>平成30年度(実績値)</td><td>296,971</td></tr><tr><td>令和元年度(実績値)</td><td>315,755</td></tr><tr><td>令和2年度(実績値)</td><td>131,650</td></tr><tr><td>令和3年度(実績値)</td><td>202,183</td></tr><tr><td>令和4年度(実績値)</td><td>210,942</td></tr><tr><td>令和4年度(目標値)</td><td>281,000</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度(現状値)	277,422	平成30年度(実績値)	296,971	令和元年度(実績値)	315,755	令和2年度(実績値)	131,650	令和3年度(実績値)	202,183	令和4年度(実績値)	210,942	令和4年度(目標値)	281,000
年度	数値																		
平成28年度(現状値)	277,422																		
平成30年度(実績値)	296,971																		
令和元年度(実績値)	315,755																		
令和2年度(実績値)	131,650																		
令和3年度(実績値)	202,183																		
令和4年度(実績値)	210,942																		
令和4年度(目標値)	281,000																		
令和元年度 実績値	315,755																		
令和2年度 実績値	※ 131,650																		
令和3年度 実績値	※ 202,183																		
令和4年度 実績値	※ 210,942																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	281,000																		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、体育施設の休館や自主事業を一部中止としたこと、また、団体の大会等が中止となったことなどから、実績値が減少しました。

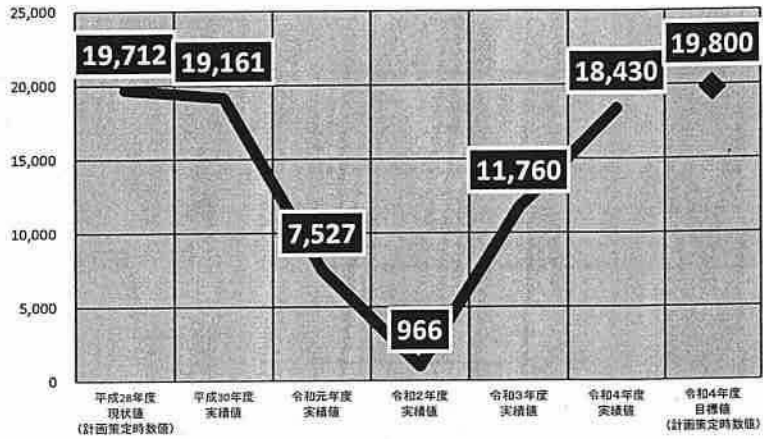
具体的施策 2 学校体育施設の利用の促進

数値目標名	学校体育施設利用者数	担当課	スポーツ振興課																
単位	人	達成率	64.1%																
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	215,514	達成度	D																
平成30年度 実績値	222,152	推移グラフ	<table><caption>学校体育施設利用者数の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>数値</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度(現状値)</td><td>215,514</td></tr><tr><td>平成30年度(実績値)</td><td>222,152</td></tr><tr><td>令和元年度(実績値)</td><td>171,956</td></tr><tr><td>令和2年度(実績値)</td><td>117,147</td></tr><tr><td>令和3年度(実績値)</td><td>125,034</td></tr><tr><td>令和4年度(実績値)</td><td>138,476</td></tr><tr><td>令和4年度(目標値)</td><td>216,000</td></tr></tbody></table>	年度	数値	平成28年度(現状値)	215,514	平成30年度(実績値)	222,152	令和元年度(実績値)	171,956	令和2年度(実績値)	117,147	令和3年度(実績値)	125,034	令和4年度(実績値)	138,476	令和4年度(目標値)	216,000
年度	数値																		
平成28年度(現状値)	215,514																		
平成30年度(実績値)	222,152																		
令和元年度(実績値)	171,956																		
令和2年度(実績値)	117,147																		
令和3年度(実績値)	125,034																		
令和4年度(実績値)	138,476																		
令和4年度(目標値)	216,000																		
令和元年度 実績値	171,956																		
令和2年度 実績値	※ 117,147																		
令和3年度 実績値	※ 125,034																		
令和4年度 実績値	138,476																		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	216,000																		

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校体育施設の利用停止や利用時間を制限したことから、実績値が減少しました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調査

基本目標	7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
施策	2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実
具体的施策	1 スポーツ・レクリエーション大会・教室等の充実

数値目標名	スポーツ・レクリエーション大会、教室等参加者数	担当課	スポーツ振興課
単位	人	達成率	93.1%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	19,712	達成度	B
平成30年度 実績値	19,161	推移グラフ	
令和元年度 実績値	※1 7,527		
令和2年度 実績値	※2 966		
令和3年度 実績値	※3 11,760		
令和4年度 実績値	18,430		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	19,800		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により久喜マラソン大会が中止となったことから、また、雨の影響により各地区の体育祭の多くが中止となったことから、実績値が減少しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ教室等が中止となり、実績値が減少しました。なお、中止とした久喜マラソン大会に替わり、オンラインマラソンを実施し、実績値の参加がありました。

※3 Zoomを活用したオンラインイベントの実施や各種教室を再開したことにより、参加者数の回復傾向が見られました。

第2期久喜市教育振興基本計画で示した数値目標における点検・評価調書

基本目標	7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
施策	4 スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援
具体的施策	2 総合型地域スポーツクラブの創設支援

数値目標名	総合型地域スポーツクラブ数	担当課	スポーツ振興課
単位	クラブ	達成率	100.0%
平成28年度 現状値 (計画策定時数値)	1	達成度	A
平成30年度 実績値	1	推移グラフ	
令和元年度 実績値	1		
令和2年度 実績値	1		
令和3年度 実績値	1		
令和4年度 実績値	2		
令和4年度 目標値 (計画策定時数値)	2		

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実

施策 1 スポーツ・レクリエーション施設の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 社会体育施設の充実	230	社会体育施設の適正な管理・運営 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・指定管理者制度により、民間事業者のノウハウを活用しながら、施設の管理運営、自主事業による各種教室等の開催、施設の不具合箇所の修繕等を実施しました。 (延べ利用者数210,942人)
2 学校体育施設の利用の促進	231	学校体育施設の開放促進 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・学校及び利用団体と調整を図りながら、市内全小・中学校(32校)の学校体育施設の開放を実施しました。 (延べ利用者数138,476人)

基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実

施策 2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 スポーツ・レクリエーション大会・教室等の充実	232	スポーツ・レクリエーション大会、教室等の開催 ※再掲(連番No.239) (継続的取組み)		スポーツ振興課	・久喜マラソン大会やくき健康ウォーク、スポーツ体験会などのスポーツ・レクリエーション大会や教室を実施しました。
	233	スポーツ体験教室等の開催 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・スポーツ体験イベントを通じて、スポーツに親しむきっかけを提供することができました。

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・市と指定管理者が連携して、社会体育施設利用者の快適な利用環境を整えることができました。	・予定していない修繕・改修が急に発生することもあり、日ごろの点検確認と、早目の準備をしておく必要があります。	3	・施設の利用者に快適な利用環境を提供するため、老朽化した施設を計画的に改修していきます。
・各小・中学校と調整を図りながら、学校体育施設を開放することで、市民に身近なスポーツ・レクリエーションの活動の場を提供することができました。	・学校体育施設の老朽化により、利用団体からの整備の要望が増えてきています。	3	・円滑に学校体育施設開放事業を推進するため、継続的に学校の行事予定や利用団体の大会予定などを把握し、調整を行っていきます。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・スポーツ・レクリエーション大会等の実施により、市民の健康増進や交流促進を図ることができました。	・スポーツ・レクリエーション活動に対する市民ニーズが多様化しているため、市民ニーズを把握、反映させて大会や教室等を企画していく必要があります。	3	・全ての市民がライフステージに応じ、あらゆる機会と場所、多様な関わりを通して、スポーツ・レクリエーションに親しむことのできる活動の場、参加機会の充実を図ります。
・運動・スポーツに関する体験イベントを実施し、運動やスポーツに関する情報を発信して健康の維持、増進に貢献することができました。	・企業やプロスポーツチーム、団体等と連携しながら、市民に向けて様々な体験イベント等を企画していく必要があります。	3	・企業やプロスポーツチーム、団体等と連携し、市民ニーズに対応した様々なスポーツ体験イベント等を実施していきます。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
 施策 2 スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
2 スポーツ・レクリエーションに関する情報収集と広報活動の充実	234	スポーツ・レクリエーションに関する情報収集 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・スポーツ・レクリエーションイベント終了後に、参加者や運営スタッフから感想や意見などを収集しました。
	235	動画・SNSなどによる運動・スポーツ情報の発信 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・スポーツ専用Instagram「くきスポ!」を利用しての情報発信を行いました。
3 地域における指導者の資質の向上	236	スポーツ推進委員への研修機会の充実 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・スポーツ推進委員における社会体育合同研修会などの各種研修へ参加しました。

基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
 施策 3 スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民交流の促進

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 久喜マラソン大会の開催	237	久喜マラソン大会の開催 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・市のスポーツ振興と市の認知度の向上を図るため、誰もが気軽に参加できるマラソン大会を実施しました。 期 日 令和5年3月26日(日) 参加者数 2,455人

点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・くき健康ウォークやスポーツ体験会などのイベント終了後に、参加者からアンケートにより感想や意見などを収集しました。	・スポーツ・レクリエーションに対する市民のニーズは多様化しており、様々な情報収集が必要です。	3	・多くの市民がスポーツ・レクリエーション大会・教室等へ参加できるよう、情報収集を実施し、市民ニーズの把握に努めます。
・スポーツ専用Instagram「くきスポ！」を活用し、市のイベントやスポーツ団体活動等のPRを含めた形でスポーツ情報を発信しました。	・市からの情報発信として、Instagramのみでは発信力が弱いため、様々な媒体を利用して情報発信する必要があります。	3	・スポーツに関する情報を市民に届けるため、スポーツ団体や事業を紹介する動画を作成し、様々な媒体で公開します。
・各種研修会に積極的に参加することで、地域におけるスポーツ・レクリエーションの指導者として中心的な役割を担うスポーツ推進委員の資質の向上を図ることができました。	・スポーツ・レクリエーション指導者として中心的な役割を担うスポーツ推進委員には、継続的に研修機会の充実を図る必要があります。	3	・地域における指導者の育成を推進するため、研修等の情報提供や研修機会の充実を図ります。

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・市内・外から多くのランナーにご参加をいただき、市のスポーツ振興と市の認知度の向上を図ることができました。	・より多くのランナーに参加いただくため、大会PRを効果的に行っていくほか、魅力ある大会運営を図る必要があります。	3	・他大会との差別化を図り、大会の魅力づくりを努めるとともに、円滑で効果的な大会運営を図ります。

久喜市教育振興基本計画実施計画で示した取組みにおける

基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
 施策 3 スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民交流の促進

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
2 地区体育祭の開催	238	地区体育祭の充実 (継続的取組み)		生涯学習課	・8地区において、市民(地区)体育祭を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により全地区において中止となりました。 (中央地区、青葉地区、江面地区、清久地区(清久小学校と合同開催)、東地区、菖蒲地区、栗橋地区、鷲宮地区)
3 多くの市民が参加できるスポーツ大会等の開催	239	スポーツ・レクリエーション大会、教室等の開催 ※再掲(連番No.232) (継続的取組み)		スポーツ振興課	・久喜マラソン大会やくき健康ウォーク、スポーツ体験会などのスポーツ・レクリエーション大会や教室を実施しました。

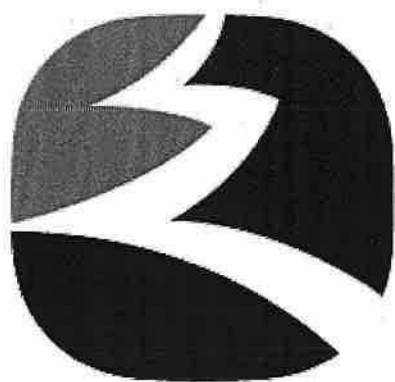
基本目標 7 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の充実
 施策 4 スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援

具体的施策	連番	取組み	新規	担当課	取組み内容
1 スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援	240	スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・スポーツ・レクリエーション団体の自主的活動の奨励及び育成・支援を図るため、各種スポーツ・レクリエーション団体に補助金を交付し、団体主催による大会、教室等の事業を支援しました。 【主な補助金交付団体】 スポーツ協会、スポーツ少年団本部、レクリエーション協会
2 総合型地域スポーツクラブの創設支援	241	総合型地域スポーツクラブの創設支援 (継続的取組み)		スポーツ振興課	・スポーツ団体との交流の場等で総合型地域スポーツクラブ創設に意欲的な団体の情報を収集しました。 ・窓口や市ホームページにて総合型地域スポーツクラブ創設に関する情報提供を行いました。

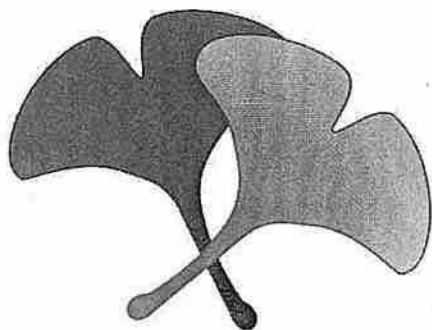
点検・評価調書

自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
—	・新型コロナウイルス感染症が終息しない中においても、参加者及び運営側の安全を確保し、安心して体育祭が実施できる方法を検討する必要があります。	—	・コミュニティセンター移行後もスポーツ・レクリエーション活動を通じた市民交流の促進を図れるよう、関係各課との調整を図ります。
・スポーツ・レクリエーション大会等の実施により、市民の健康増進や交流促進を図ることができました。	・スポーツ・レクリエーション活動に対する市民ニーズが多様化しているため、市民ニーズを把握、反映させて大会や教室等を企画していく必要があります。	3	・全ての市民がライフステージに応じ、あらゆる機会と場所、多様な関わりを通して、スポーツ・レクリエーションに親しむことのできる活動の場、参加機会の充実を図ります。

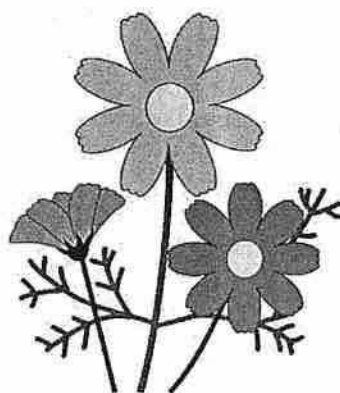
自己点検・評価		達成度	今後の方向性
成果	課題		
・各種スポーツ・レクリエーション団体へ補助金を交付することにより、事業をはじめとする団体運営を支援することができました。	・各種団体の活動は、新たにスポーツ・レクリエーション活動を始める市民のきっかけ作りや受け皿として期待されるため、継続的に支援していく必要があります。	3	・スポーツ・レクリエーション団体に補助金を交付し、団体運営を支援していきます。
・総合型地域スポーツクラブが1団体創設され、クラブの活動支援や連携を図ることができました。	・総合型地域スポーツクラブの創設について意欲的な団体や個人があった場合に、情報提供ができるよう、常に情報収集をしておく必要があります。	3	・各施設にチラシ等を配布して、創設を検討する団体等が情報を手に入れやすい環境を作ります。



久喜市



市の木「イチョウ」



市の花「コスモス」